安全上の注意

交通ルールやマナーを守って運転してください。
また、お車を安全・快適にお使いいただくため、以下の注意事項を必ずお読みください。
「警告」「注意」は特に安全のために重要です。
よくお読みの上、正しくお使いください。

■安全のために守っていただきたいこと

⚠ 警告

守らないと生命の危険又は重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

守らないと傷害又は事故につながるおそれがあります。

■お車のために守っていただきたいこと

アドバイス

守らないと車両破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。

■お車を使ううえで知っておいていただきたいこと

知識

知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

GT-R 機能・性能・しくみ

GT-Rに装備されている特別な装備や機能、GT-R特有の注意点を確認することができます。

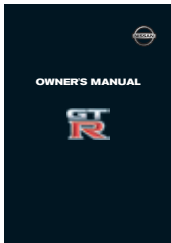
万一のときは

万一のときは「6章　万一のとき」（P.6-1）をお読みください。
緊急時にお困りのときはご購入いただいた販売会社やお近くのNHPCにご連絡ください。
連絡先については、メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

本書の説明

本書について

本書は、GT-R及びGT-R EGOISTの各装置や装備の正しい取り扱いかたや、お手入れのしかた、万一のときの応急処置について説明しています。マルチファンクションディスプレイの説明についてはMULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

GT-R OWNER'S MANUAL（本書）

車両本体の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適なドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを説明しています。

・警告
・走行する前に
・走行するとき
・室内装備の使いかた
・車との上手なつきあいかた
・万一のとき
・サービスデータ

MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUAL（別冊）

マルチファンクションディスプレイに表示される機能を説明しています。

・ナビゲーション
・マルチファンクションメータ
・地図更新
・オーディオ／ビジュアル
・電話・データ通信
・エアコン
・情報を見る
・詳細機能の設定
・音声操作
・バックビューモニター★

■日産ハイパフォーマンスセンター（SpecV取扱店含む）、NISSAN GT-R特約サービス工場又は日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。

■GT-Rの点検、整備は日産ハイパフォーマンスセンター（以下「NHPC」）、NHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。
但し、店舗別指定サービス作業一覧（P.1-6）に基づく法定点検などの一部の作業は日産販売会社でも可能です。

■NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ★部品に関するメンテナンスは、専用の設備と専門教育を受けたT/Sが常駐する、NHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。（日産販売会社及びNHPCでは、メンテナンスを実施できません。）

■点検・整備・保証については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。
その他、ご不明な点はNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場の認定テクニカルスタッフ及び認定カーライフアドバイザーにお申しつけください。

■本書とメンテナンスノートはお車の中に保管してください。

■お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。

■車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

本書のマークについて

本書で使用しているマークは以下の通りです。

マーク	説明
（参照マーク）	参照して読んで頂きたい本文のタイトル名やページ数を表示しています。
★	グレードにより異なる装備又はオプションのため、すべての車に付いていない装備は★マークで表示しています。
◎	日産ハイパフォーマンスセンター又は日産販売会社で装着する注文装備のため、すべての車には付いていない装備です。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

お客さまが知りたい内容・項目を簡単に検索できるように、色々な検索方法を用意しています。

取り付け位置から探す

名称・タイトルから探す

警告灯・警告表示・操作表示から探す

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

1. 必ずお読みください

2. 走行する前に

3. 走行するとき

4. 室内装備の使いかた

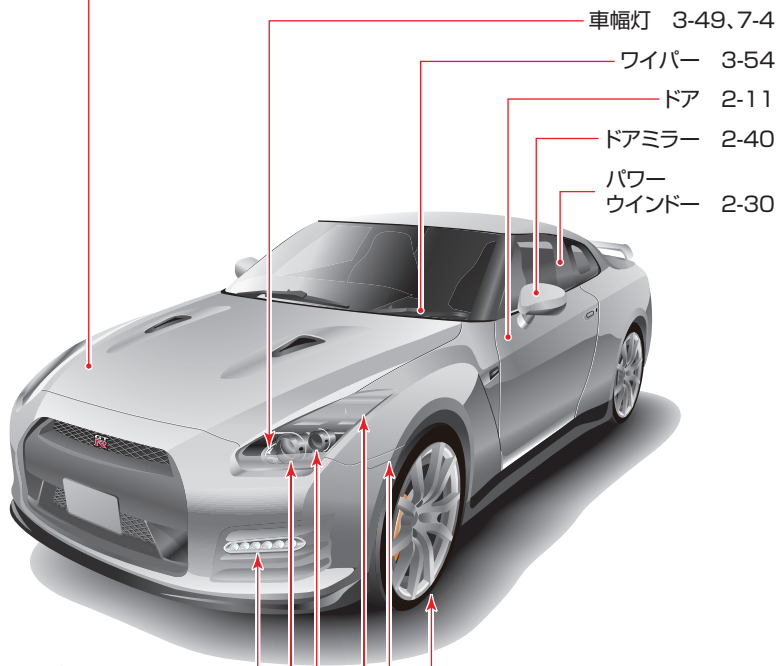
5. 車との上手なつきあいかた

6. 万一のとき

サービスデータ

さくいん

エンジンフード　2-28

項　　目	GT-R　指定油脂
エンジンオイル	Mobil 1　（0W-40）
トランスミッションオイル	ミッションオイルR35スペシャル
デファレンシャルオイル（フロント、リヤ）	デファレンシャルオイルR35 COMPETITION type 2189E
ブレーキフルード	ブレーキフルードR35スペシャルII

車幅灯　3-49、7-4

ワイパー　3-54

ドア　2-11

ドアミラー　2-40

パワー
ウインドー　2-30

LED
ハイパーデイライト　3-49、7-4

ヘッドランプ　3-49、7-4

方向指示器兼
非常点滅表示灯　3-53、7-4

タイヤ　5-20、7-5

項　　目	GT-R　指定部品
ロードホイール	GT-R専用純正ロードホイール
タイヤ※1	GT-R専用純正タイヤ
ブレーキパッド※2	GT-R専用純正ブレーキパッド
ブレーキディスクローター※2	GT-R専用純正ブレーキディスクローター

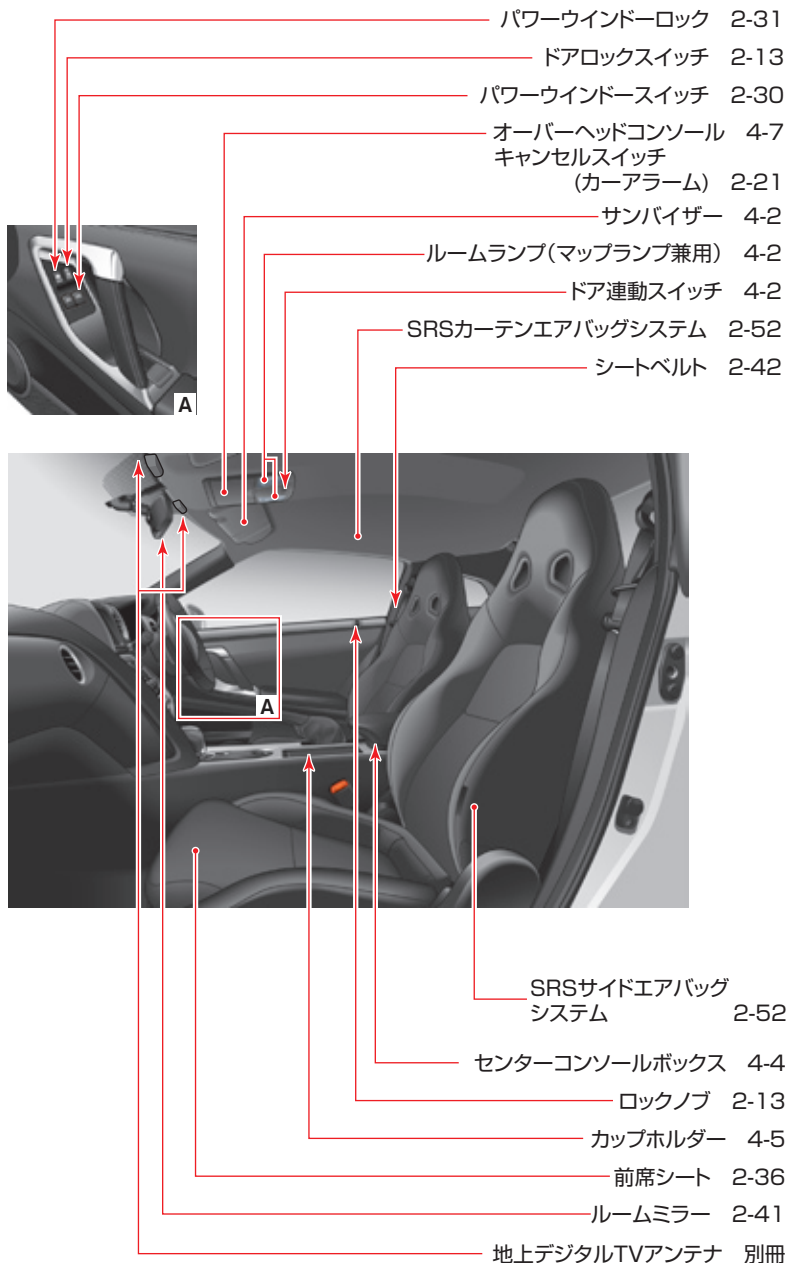
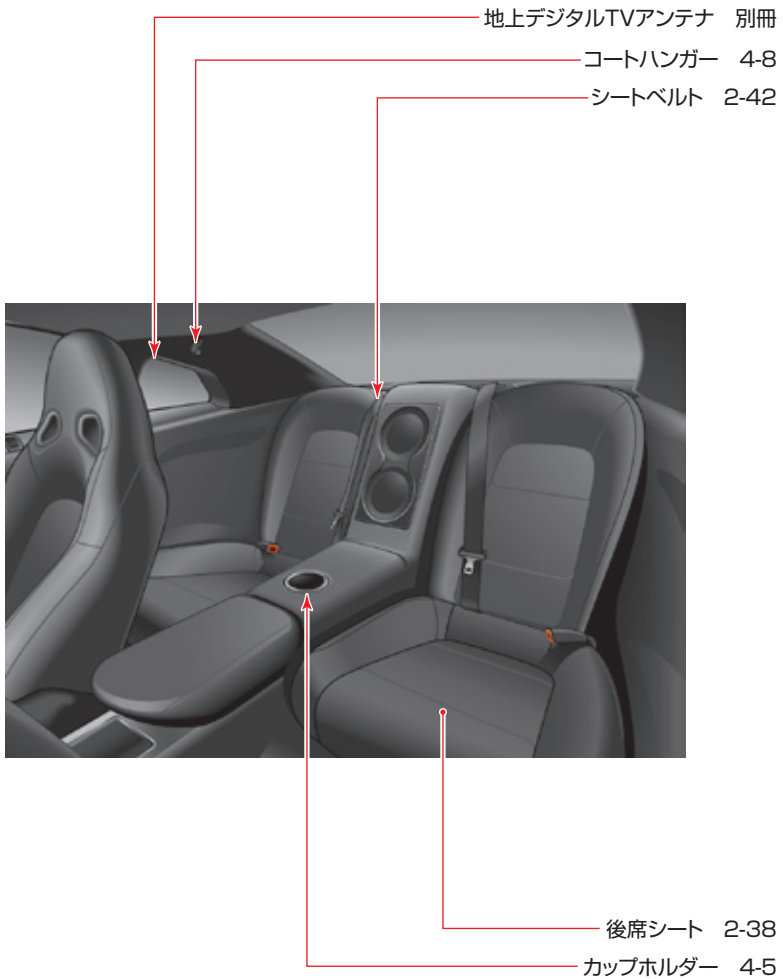
※1：タイヤ交換をするときは4輪セットで交換することをおすすめします。

※2：ブレーキパッドとブレーキディスクローターの交換については、
　GT-R特別指定部品について（P.1-12）をお読みください。

GSI0019

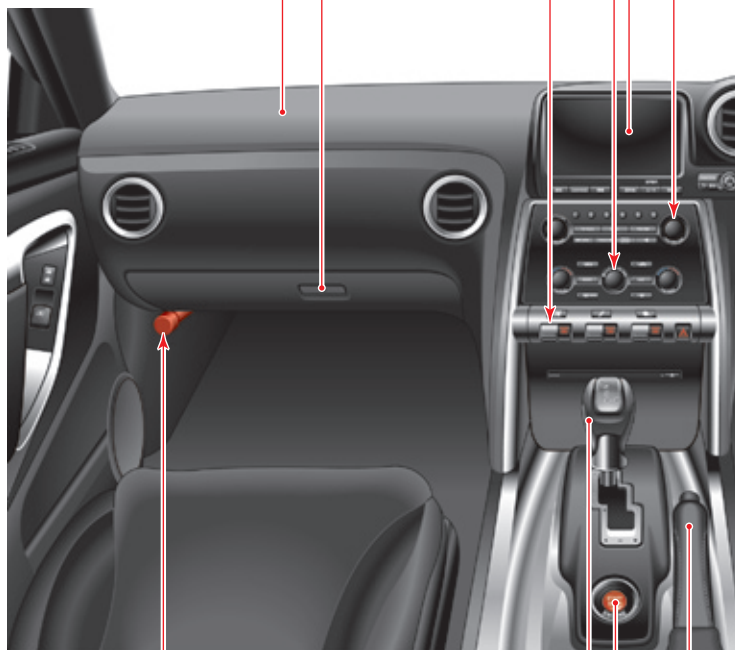
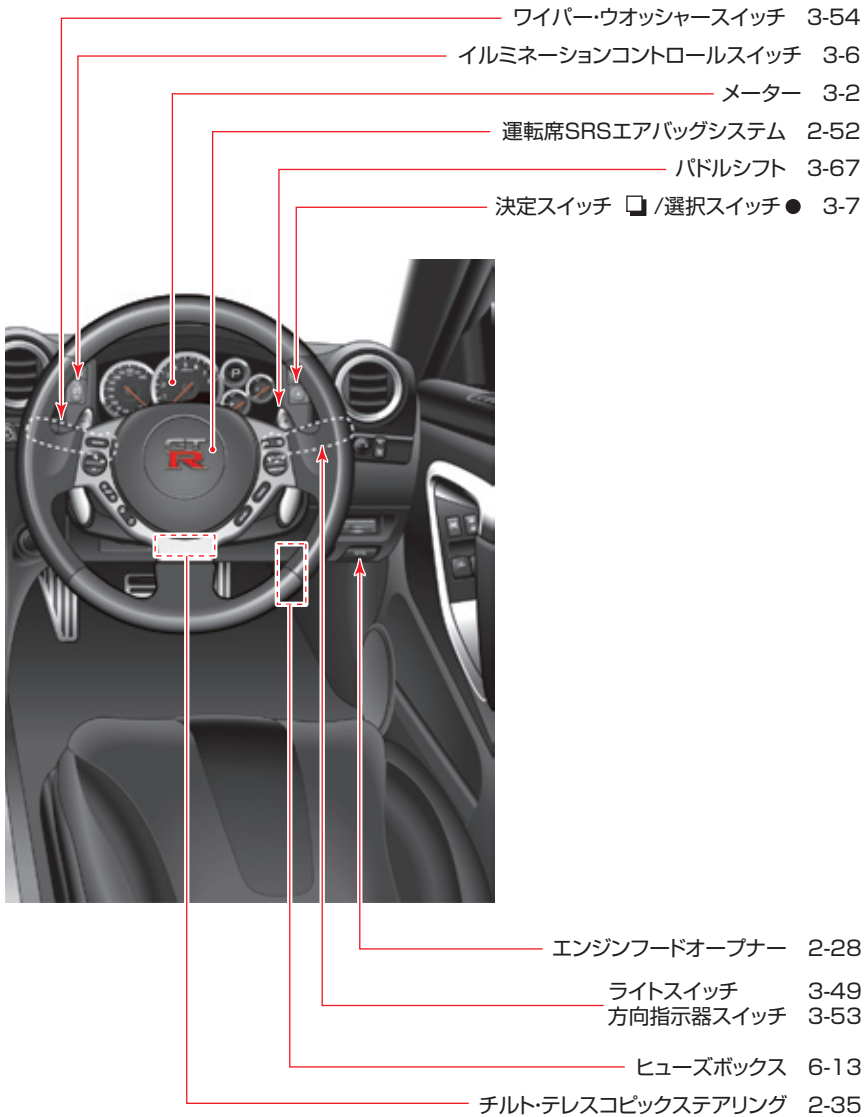
項　目	GT-R　指定燃料
燃料	無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク、オクタン価100以上）

GSI0024

※走行する前に必ずGT-R特別項目（P.1-2）をお読みください。
※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。
※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。
※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

GSI0021

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。
※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。
※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

ワイパー・ウオッシャースイッチ　3-54
イルミネーションコントロールスイッチ　3-6
メーター　3-2
運転席SRSエアバッグシステム　2-52
パドルシフト　3-67
決定スイッチ ❏ /選択スイッチ●　3-7
エンジンフードオープナー　2-28
ライトスイッチ　3-49
方向指示器スイッチ　3-53
ヒューズボックス　6-13
チルト・テレスコピックステアリング　2-35
GSI0022

※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

1 必ずお読みください

お車を安全にお使いいただくため、必ず守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
ご使用前には各章と合わせて必ずお読みください。

GT-R特別項目

GT-Rは、全世界で同一仕様、同一基準で開発された国産車初のスーパーカーカテゴリーに属する車両です。日常走行からスポーツ走行まで安心して安全にお使いいただくために、従来の車とは異なるスーパーカーとしての特別なGT-R特別指定部品を設定しています。
また、メンテナンスについても特別な整備技術と専用の機器が必要となるため、GT-R認定テクニカルスタッフ（GT-R認定T/S）が常駐する日産ハイパフォーマンスセンター（以下「NHPC」）又はNISSAN GT-R特約サービス工場でのメンテナンスを必ず実施してください。

● GT-R認定中古車制度
お客さまのお車代替えの際に、本制度を最大限有効にご活用いただけるよう、2010年7月に改定いたしました。
お車の価値を維持するためにも、指定されたGT-R特別点検の実施と、改造の禁止を必ずお守りください。

※TRACK PACKオプション★装着車、NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ★装着車については、下記を合わせてお読みください。

GT-R特別項目	参照先ページ	
	TRACK PACKオプション装着車	NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ装着車
保証条件	メンテナンスについて…P.1-7	NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ装着車のメンテナンスについて…P.1-7
GT-R特別指定部品について	TRACK PACKオプション専用純正サスペンション…P.1-11	NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）…P.1-13
NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）特別点検について	–	NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）特別点検…P.1-18
スポーツ走行する場合のメンテナンス	スポーツ走行する場合の保証条件…P.1-21 アライメント…P.1-24	NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ装着車（スポーツ走行前）…P.1-26 NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ装着車（スポーツ走行後）…P.1-28
こんなことにも注意	TRACK PACKオプション装着車…P.1-30	NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ装着車…P.1-31

※GT-R EGOISTについては必ずGT-R EGOIST特別項目（P.1-38）を合わせてお読みください。

保証条件

- この車両は一般公道で使用することを前提に開発しています。特別な条件での走行（サーキット走行やシャシダイナモ測定など）が起因となる不具合については保証の対象になりません。
- 不正改造に起因する不具合については保証の対象になりません。
  不正改造は絶対にしないでください。
- GT-R特別指定部品及び日産自動車が指定している純正部品、指定油脂以外の使用に起因する不具合については保証の対象になりません。
- 法で定められた日常点検、定期点検整備及び日産が指定・推奨する点検整備を実施しなかったことに起因する不具合は保証の対象になりません。
- 車両状態記録装置及びその記録データは不具合要因を解析したり、修復したりする際に重要な機能です。従って、作為的にデータの消去や改ざんを行った形跡があるときは保証の対象になりません。

※保証に関する詳しい内容については、メンテナンスノートをお読みください。

保証期間

NISSAN GT-R		基準車　※1	TRACK PACK オプション装着車	NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ装着車
保証条件	一般保証	3年又は60,000km		
	特別保証	5年又は100,000km		3年又は60,000km　※2 5年又は100,000km　※3

※1：　TRACK PACKオプション装着車以外及びNCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ装着車以外の車両
※2：　NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）に関する部品
※3：　※2以外の部品

保証条件

GT-Rの保証の範囲

事　例	一般＆法定整備	メーカー保証の考え方
①違法改造車（道交法、保安基準、含む国交省との説明事項）	国が認可した指定整備工場での整備はできません	違法改造車は整備できないため保証対象外
②GT-R特別指定部品項目で純正部品ではないが法規適合部品装着車（タイヤ、ブレーキ、マフラー、ホイールなど）	有償整備にて対応可能	×　車両保証対象外　注1
③ＧＴ-R特別指定部品項目以外の部位で法規適合部品装着車（シート、ステアリングなど）	有償整備にて対応可能	△　装着した部品に起因する不具合は対象外
④サーキット走行、シャシダイナモ測定など（公道以外使用） 1）上記で使用中又は使用後、NHPC点検実施前 2）NHPC点検実施後（但し、GT-R指定部品を使用の場合） 3）NHPC点検実施後（但し、指定部品以外を使用の場合）	1）有償整備にて対応可能 2）有償整備にて対応可能 3）有償整備にて対応可能	1）×　車両保証対象外　注1 2）○　車両保証対象 3）×　車両保証対象外　注1
⑤その他 1）VDC-R OFFモードでの走行（ぬかるみや深雪でのスタックからの脱出など緊急対応時を除く） 2）ＶＤＣ-Ｒ ＯＦＦモードで走行後、NHPCで点検実施後 3）走行に関わる電子制御系の改造（エンジン、トランスミッション、シャシーなど）	1）有償整備にて対応可能 2）有償整備にて対応可能 3）有償整備にて対応可能	1）×　車両保証対象外　注1 2）○　車両保証対象 3）×　車両保証対象外　注1

※1：2012年10月29日時点の一覧です。
※2：改造の有無に関しては、車両状態記録装置で確認します。
車両状態記録装置及びその記録データは不具合要因を解析したり、修復したりする際に重要な機能です。従って、作為的にデータの消去や改ざんを行った形跡があるときは保証の対象になりません。

注1：GT-R特別指定部品の改造などにより“車両保証対象外”となった場合でも、以下の全ての対応を有償整備及び有償で部品を交換した場合に限り、再度メーカー保証を適応（復帰）させることが可能になります。（有償交換の具体例…P.1-5）
・GT-R特別指定部品を使用し、正規仕様に戻す
・GT-R特別指定部品が改造されたことに起因する不具合や破損する可能性がある全ての部品を交換する

GT-Rは超高性能車であり、GT-R特別指定部品以外の使用やGT-R OWNER'S MANUALに記載してある使用方法と異なる不適切な使用については、重要な機能部品や電子制御系統にダメージを与えるケースがあるため“車両保証対象外”となります。
ただし、違法改造車を除き、一般部品の交換などで不具合と因果関係が明らかにないものについては保証対象となります。（例　シートのほつれや内装部品の剥れなど）

保証条件

有償交換の具体例

GT-R特別指定部品を改造したことが車両状態記録装置で確認された場合は、破損する可能性がある全ての部品の有償交換が必要です。また、改造に起因した不具合、破損及び破損する可能性がある全ての部品の有償交換が必要です。

【エンジン制御系の改造】

①ターボチャージャーのブースト圧を改造して変更した場合

・従来モデルに対し、高出力化しておりブースト圧や点火時期をよりシビアに制御しているため、改造は決して行わないでください。

07～10年モデルまで 車体番号：R35-000001～、R35-020001～ （OWNER'S MANUAL資料番号がR35-04以前） ※1	**11年モデル以降 車体番号：R35-030001～、R35-040001～、R35-430001～、R35-440001～ （OWNER'S MANUAL資料番号がR35-05以降） ※1**	対処方法
基準範囲＋10kPa未満のとき	**基準範囲＋5kPa未満のとき**	改造した部品を正規仕様に戻すこと以外に部品を交換する必要はありません。
基準範囲＋10kPa～30kPaのとき	**基準範囲＋5kPa～15kPaのとき**	エンジンアッセンブリーの交換が必要となります。
基準範囲＋30kPa以上のとき	**基準範囲＋15kPa以上のとき**	エンジンアッセンブリーの交換に加え、トランスミッション、ドライブシャフトの交換が必要となります。

※1：資料番号は裏表紙をご確認ください。

②空燃比（空気と燃料の重量比）を基準から変更した場合

・空燃比が12以上（※2）の場合
　⇒ターボチャージャーの交換が必要となります。
・空燃比が13以上（※2）の場合
　⇒エンジンアッセンブリーの交換が必要となります。
・上記以外に、空燃比をリーン（希薄）化した場合
　⇒排気温度が異常に高くなり、触媒の溶損、マフラー周辺の焼けや焦げなどが発生するため、エンジンアッセンブリーの交換に加え、マフラー及び周辺部品の交換が必要となります。

※2：エンジン回転数が6,000rpm以上でターボチャージャーのブースト圧が170kPa（約1.7kgf/cm^2）以上のときの測定値。

上記具体例以外の改造でも有償で部品交換が必要になる可能性があります。詳しい内容については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場へお問い合わせください。

保証条件

オプション部品について

- 日産純正オプション部品及びNISSAN GT-R特約サービス工場から発売されているスポーツオプション部品以外の取り付けに起因する不具合については保証の対象になりません。
- 日産純正オプション部品及びNISSAN GT-R特約サービス工場から発売されているスポーツオプション部品であってもNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場、NISMOエキスパートショップ以外での取り付けに起因する不具合については保証の対象になりません。

NISSAN GT-R特約サービス工場（※1）より発売されているオプション部品に関して

- NISSAN GT-R特約サービス工場から発売されているスポーツオプション部品の一部には、日産自動車の車両保証が継続適用されることを表すマークが添付されています。
  このマークが添付されている部品は、日産自動車が改造を禁止しているGT-R特別指定部品及び関連する部品が対象で、車両保証が継続して適用できるか実験確認を行っております。
  なお、スポーツオプション部品本体及び取り付けに起因する不具合は、各特約サービス工場の保証となります。詳しくは、NISSAN GT-R特約サービス工場にお問い合わせください。

GSS0034

※1 NISSAN GT-R特約サービス工場

・NISMO大森ファクトリー	東京都品川区南大井2-10-6	Tel：03-3763-3120
・ノバエンジニアリング	静岡県駿東郡小山町大御神220-1	Tel：0550-78-0329
・ノルドリンク	埼玉県入間市宮寺2723-8	Tel：04-2935-2135

保証条件

メンテナンスについて

- GT-R特別点検及びエンジン、トランスミッション、サスペンション、ブレーキなどの点検、整備には、高性能、高精度を維持するために特別な整備技術と専用の設備機器が必要になります。特別教育を受けたGT-R認定T/Sが常駐し、専用の設備機器を備えたNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。
- 特別点検を除く法定点検、車検整備については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場以外の日産サービス工場でも作業ができますが、オイルやフルードなどの油脂類やブレーキなどの消耗品は、**GT-R特別指定部品を必ず使用してください。** また、ブレーキなどの部品の交換は、**必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。**
  各店舗別のサービス作業可能な範囲は、店舗別指定サービス作業一覧で確認してください。

※**TRACK PACKオプション★装着車の点検項目及び保証条件は、従来のGT-Rと同じです。また、スポーツ走行前後の点検についても、通常の項目及び基準になります。**

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ★装着車のメンテナンスについて

- NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）の点検、整備には、高度な整備技術や知識を熟知したメカニックや専用のメンテナンス機器が必要です。
  したがって、SpecV特別研修を受けたNHPC認定テクニカルスタッフ（GT-R SpecV認定T/S）が常駐するNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場でのメンテナンスを必ず実施してください。
- NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）特別点検を除く法定点検、車検整備については、NHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場以外の日産販売会社でも作業ができます。
  NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージに関する部品の交換は、**必ずNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。**
  各店舗別のサービス作業可能な範囲は店舗別指定サービス作業一覧で確認してください。

※不具合とは「故障」「部品の損傷」「部品の摩耗」を示します。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車の上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

保証条件

店舗別　指定サービス作業一覧

作業内容	日産販売会社	NHPC	NHPC（SpecV取扱店）	NISSAN GT-R特約サービス工場
法定点検	○	○	○	
一般整備 ・汎用コンサルトを使用する整備	○　※1 ※2	○	○	○　※3
GT-R専用整備 ・GT-R特別点検 ・GT-R特別指定部品に関わる整備（オプションのチタンマフラーを含む） ・コンサルトGT-R専用キットを使用する整備 ・スポーツ走行する場合のメンテナンス（NCCBパッケージ装着車を除く）	×	○	○	
NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）専用整備 （NCCBパッケージ装着車） ・NCCB特別点検整備 ・NCCBに関わる整備　※4 ・スポーツ走行する場合のメンテナンス	×	×	○	

※1：以下の作業が可能です。
- タイヤ交換時などタイヤ空気圧センサーのリセットを必要とする整備
- バッテリーあがり又はバッテリー交換
- ナビゲーション交換及びナビゲーションシステムの更新作業
- インテリジェントキーの登録作業
- 内/外装ランプ、ワイパーなどの特別指定部品以外のメンテナンス

※2：ガラス交換作業など、建付け調整が必要な作業はできません。
※3：ナビゲーションの地図データ更新作業も可能です。
※4：NCCBに関する部品の脱着及び分解を必要とする作業です。

※GT-R特別指定部品、特別点検項目及び特別指定ボディ修理項目以外は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場、認定ボディショップ以外の日産販売会社での作業が可能です。

※GT-R EGOISTのメンテナンスは、GT-Rと同様にNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場での実施が可能です。

※NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ★部品に関するメンテナンスは、専用の設備と専門教育を受けたT/Sが常駐する、NHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。（日産販売会社及びNHPCでは、メンテナンスを実施できません。）

GT-R特別指定部品について

GT-Rは従来の指定部品及び指定油脂に加え、以下についても特別に指定しています。必ず指定された部品及び油脂類を使用してください。

指定油脂

エンジンオイル：Mobil 1（0W−40）（**100%化学合成オイル**）

エンジン各部の保護及び性能を十分に発揮させるため、エンジンオイルはサーキットなどでのハードスポーツ走行を含め、膜圧保持性、極圧性の高いMobil 1（0W−40）（**100%化学合成オイル）を必ず使用してください。**

なお、サーキット走行が多い場合や、寒冷時のエンジン始動性を気にされる場合は、MOTUL製NISMO COMPETITION OIL type 2193E(5W40)をおすすめします。

添加剤や研磨剤は絶対使用しないでください。

〈理由〉

- GT-RのエンジンVR38DETTは、新開発のライナーレス（プラズマコーティングボア）を採用しており、添加剤や研磨剤、チューニングされた高性能エンジンオイルを使用すると、バルブ周りにスラッジの蓄積や、プラズマコーティングを削りエンジン内部にダメージを与えます。

注意：

エンジンオイルのメンテナンス

- 納車時のエンジンオイルレベルは、スポーツ走行時に最適な『H-10mm』に合わせています。スポーツ走行する場合のメンテナンス…P.1-21
- 高出力化に伴いエンジンオイルへの負担が増えています。
  高性能を維持するため、**3,000kmごとのオイルレベル点検と補充を必ず実施してください。**
  エンジンオイル消費量の目安は、最大で0.5ℓ/1,000kmです。これ以下のエンジンオイル消費は異常ではありません。
  なお、通常の交換インターバルは15,000km/1年となります。
- スポーツ走行時のオイル交換インターバルは、スポーツ走行後のオイル交換インターバル（P.1-27）をご覧ください。
- MOTUL製NISMO COMPETITION OIL type 2193E（5W40）の交換は、MOTULが推奨する交換時期に従ってください。詳しくは、NISMOエキスパートショップ又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

オイルフィルターは、エンジンオイル交換時にセットで交換してください。

GT-R特別指定部品について

<u>トランスミッションオイル:ミッションオイルR35スペシャル(100%化学合成オイル)</u>

トランスミッション各部の保護及び性能を十分に発揮させるため、**ミッションオイルR35スペシャル(100%化学合成オイル)を必ず使用してください。**
添加剤は絶対に使用しないでください。

〈理由〉

- GT-Rのトランスミッションには、湿式多板クラッチを油圧で制御する新開発のデュアルクラッチトランスミッションGR6を採用しており、クラッチの締結のための高い摩擦力とギヤやベアリングの潤滑のための低い摩擦力という矛盾した機能を両立させたGT-R専用トランスミッションオイルを使用しています。添加剤や他のトランスミッションオイルを使用すると、クラッチの滑りや、油膜の保持ができなくなることによるギヤ・ベアリングの破損が発生します。

<u>デファレンシャルオイル(フロント、リヤ):デファレンシャルオイルR35 COMPETITION type 2189E</u>

デファレンシャル各部の保護及びLSD性能を十分に発揮させるため、デファレンシャルオイルは油温上昇を抑制できる**デファレンシャルオイルR35 COMPETITION type 2189Eを必ず使用してください。**
添加剤は絶対使用しないでください。

〈理由〉

- 走行環境に応じた適切な駆動力配分を可能にするため、デファレンシャルには1.5WayメカニカルLSD(リミテッドスリップデファレンシャル)を採用しています。添加剤や他のデファレンシャルオイルを使用すると、油温が上昇し、ファイナルドライブが破損する場合があります。
- LSDの摩擦特性が変化するため、振動が発生したりLSDの効き(差動制限力)が不安定となり、車両の挙動に影響を及ぼします。

<u>ブレーキフルード:ブレーキフルードR35スペシャルⅡ</u>

以下の性能を確保するため、**ブレーキフルードR35スペシャルⅡを必ず使用してください。**

〈理由〉

- ブレーキフルードR35スペシャルⅡ以外のブレーキフルードを使用すると、対ベーパーロック性の確保やVDC関連機器などを様々な状況で安定して作動させることができなくなるおそれがあります。

GT-R特別指定部品について

GT-R特別指定部品

サスペンション：GT-R専用純正サスペンション

車体の保護及び様々な路面状況下でも優れた操縦性能を十分に発揮させるため、GT-R専用の純正ショックアブソーバー、スプリング、スタビライザーを採用しています。**GT-R専用純正サスペンションを必ず使用してください。**

〈理由〉

- GT-R専用純正サスペンション以外のサスペンションを使用すると、路面から車体へ過度に衝撃が加わり破損するおそれがあります。また、GT-R本来の優れた走行安定性、耐久性を著しく悪化させるおそれがあります。

サスペンション：TRACK PACKオプション専用純正サスペンション★

よりハードな走行をお楽しみいただくために、ノルドリンクと共同で減衰力のチューニングを行ったTRACK PACKオプション専用のサスペンションです。専用のショックアブソーバーと、SpecVに標準採用していた、高バネレートの軽量線形スプリングを採用しています。（ノルドリンクブランドのショックアブソーバーとは一部仕様が異なります。）

タイヤ、ロードホイール：GT-R専用純正タイヤ、ロードホイール

以下の安全性と性能を確保及び路面から車体への過度な入力による破損を防止するため、**GT-R専用の純正タイヤ及びロードホイールを必ず使用してください。**

※詳しくはタイヤ設定一覧表（P.7-5）、ロードホイール設定一覧表（P.7-7）をお読みください。

〈理由〉

タイヤ：

GT-R専用純正タイヤは、一般に市販されているタイヤに比べて、超高速走行時やパンク時のタイヤの動半径変化が非常に少なく、安定性を確保した専用設計の特殊高剛性ランフラットタイヤです。

- GT-R専用純正タイヤ以外を使用すると、パンク時にタイヤの動半径差による4輪の回転ズレが生じ、パワートレイン系部品（※1）の破損や、安全に停止できないなどのおそれがあります。
- GT-R専用純正タイヤ以外を使用すると、スポーツ走行などのコーナーリング時に、著しく高い荷重が加わったとき、タイヤのたわみにより動半径差が生じ、パワートレイン系部品（※1）を破損するおそれがあります。
- GT-R専用純正タイヤ以外を使用すると、高速走行時にスタンディングウェーブ現象が発生するおそれがあり、また、VDC制御が保証されません。

  ※1：パワートレイン系部品
  　フロント・リヤデファレンシャル、4輪駆動のトランスファーカップリング
  　フロントプロペラシャフト　など

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

GT-R特別指定部品について

タイヤ交換について

- タイヤ交換するときは、4輪とも同時に行うことをおすすめします。
- GT-R専用純正タイヤはランフラット構造を採用しており、サイドウォールが非常に硬いため、タイヤ交換には特殊な技術と設備が必要です。タイヤ交換はNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にて実施してください。
- 一度ロードホイールから外したタイヤを再度ロードホイールに組み付ける場合、レバーレスオートマチックタイプなどのタイヤチェンジャーを使用し、且つタイヤビード部に亀裂・変形がない場合に限り再使用することができます。
  レバータイプのタイヤチェンジャーを使用すると、タイヤビード部に亀裂・変形が生じる場合があるため、再使用できません。
  外観に異常がなくても、再使用すると安全性が損なわれたり事故の原因になるおそれがあります。
  タイヤの再使用については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
- **逆輸入タイヤでもタイヤ交換は可能ですが、タイヤに起因する不具合に関しては保証の対象になりません。（右ハンドル車用と左ハンドル車用では、タイヤ特性が異なります。また、タイヤの長期在庫保存の影響で性能が劣化しているおそれがあります。）**

ホイール：

- GT-R専用純正ホイール以外ではパンク時のタイヤ外れや精度不足による振動の発生、ブレーキシステムから発生する熱による締結力低下が発生するおそれがあります。

ブレーキパッド、ディスクローター

GT-R専用純正ブレーキパッド、ディスクローター（セット交換）（NCCBパッケージ装着車を除く）

以下の安全性及び性能を十分に発揮させるため、**GT-R専用純正ブレーキパッド、ディスクローターを必ず使用してください。**

〈理由〉

- GT-Rのブレーキは、鋳物素材からフローティング構造、冷却性能まで厳密に開発され、高速からもごく短距離で止まれる強い制動力と、スポーツ走行においても700℃近い高温で使える高性能なブレーキ仕様となっております。
  又、ブレーキパッドとディスクローターの寿命を従来より向上させるために、ディスクローターは日産開発の大径・薄肉仕様とし、ブレーキ時の熱を効率よく放熱できる構造としています。
  純正品以外を使用すると、精巧なブレーキバランスが崩れ、ABS・VDCの制御機能の不具合だけでなく、ブレーキパッド、ディスクローターのかじりや破損による重大な事故につながるおそれがありますので、GT-R専用純正ブレーキパッド、ディスクローターを必ず使用してください。

注意：

- 強力な停止性能と高温での耐フェード性能向上を得るために、ほぼレーススペックのブレーキ仕様となっています。安全にご使用いただくために、部品交換については必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。

GT-R特別指定部品について

ブレーキパッドとディスクローターの交換に関して

- 原則としてブレーキパッドのみ４輪セット交換が必要になりますが、GT-R認定T/Sがブレーキパッドとディスクローターをセットで交換が必要と判断した場合は、ブレーキパッドとディスクローターを４輪セットで交換してください。

ディスクローター交換が必要な場合

・同一のディスクローターに対して2度目のブレーキパッド交換を行う場合
・ディスクローター表面に亀裂（特に冷却孔部4mm以上など）があり交換基準に達していた場合
・ディスクローター表面の反りや荒れ、深さ0.2mm以上のレコード溝などが発生し、交換基準に達していた場合
・制動時にブレーキジャダーが発生している場合など

前輪ブレーキパッドのみの交換に関して

・サーキットでの走行履歴がなく、前輪ブレーキパッドのみ著しく摩耗している場合に限り、GT-R認定T/Sの判断により前輪ブレーキパッドのみの交換が可能になる場合があります。

- 冬場の寒い時期に高負荷のブレーキを繰り返すことで、ディスクローターの内部が冷えた状態で表面が熱くなるような場合や、サーキットなどの走行にて高負荷のブレーキを繰り返すことで、ディスクローター表面の冷却穴付近に亀裂が発生する場合があります。亀裂の状態によってはディスクローターやブレーキパッドの交換が必要になる場合がありますので、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

GT-R専用純正NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）★

上質で切れのよいブレーキフィーリングと乗り心地のしなやかさをお楽しみいただくため、NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）をオプション設定しています。メンテナンスについてはブレーキならしの他、特別な整備技術や専用機器での計測·調整が必要なため、**必ずNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で行ってください。**あらゆる条件下でブレーキ性能が発揮されないばかりか、ブレーキシステムが破損し、重大な事故につながるおそれがあります。

ブレーキパッドとディスクローターの交換に関して

- ブレーキパッドとブレーキディスクローターの交換は共に4輪セットの交換を推奨します。
  但し、質量計測及び傷や割れの確認をGT-R認定T/Sが実施した結果、ブレーキディスクローターの再使用が可能と判断した場合に限り、ブレーキパッドのみの交換が可能です。

  ※ブレーキパッドのみの交換条件
  ・フロントブレーキパッド交換時：フロントブレーキパッドのみ交換可能
  ・リヤブレーキパッド交換時：フロントとリヤブレーキパッドを必ずセットで交換

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

GT-R特別指定部品について

エキゾーストマフラー：GT-R専用純正マフラー、GT-R専用純正チタンマフラー★及びトランクカーペットの取り扱い

以下の安全性と性能確保及びターボやエンジン内部の破損を防止するため、**GT-R専用純正エキゾーストマフラーを必ず使用してください。**たとえ法規適合部品であっても、純正品以外は絶対に使用しないでください。

〈理由〉

GT-R専用純正マフラー：

- GT-Rは排気抵抗が極めて低いGT-R専用純正マフラーに合わせて、エンジンのセッティングを行っているため、排圧抵抗が異なる排気系部品を取り付けた場合、エンジンのマッチングに不整合が生じ、特にターボの回転数に影響を及ぼし、ターボチャージャーのオーバーシュートを引き起こしてターボ本体やエンジン内部、トランスミッションなどのパワートレイン系部品を破損するおそれがあります。
- 高い排気温度をエキゾースト系全体で熱分散させることに加え、断熱吸音材入りのマフラーを採用しているため、純正部品以外のエキゾースト部品を使用すると放熱バランスが崩れ、マフラーや屈曲部に熱が集中し、周辺部品に熱害が生じるおそれがあります。特に、メインマフラーはアンダーカバーで覆われているため、断熱材のないマフラーを使用した場合は、トランクルームやバンパー部、アンダーカバー、リヤコンビランプなどに熱による変形などの不具合が生じるおそれがあります。

GT-R専用純正チタンマフラー★：

- 高性能エンジンで排気温度が高いため（1,000℃以上）、純正品以外を使用するとマフラーが変形し、アンダーカバーなどが損傷するおそれがあります。
- 高い排気温度に耐えうる強度・クリープ特性を確保するため、純正品には最高級チタン合金を使用しています。また、冷却フィンの追加や一部板厚薄肉化を行うことで、さらなる冷却効果を引き出しています。
- 材料にチタン合金を使用しているため、走行条件により表面色が独特の色合いに変化しますが、異常ではありません。
- GT-Rは、工場出荷前に全車エンジン・トランスミッション・クラッチの合わせ込みやブレーキ焼き入れ走行を行っているため、車両によりマフラーの表面色が異なる場合があります。

また、**トランクカーペット**はマフラーの断熱、トランスミッション系の遮音を兼ねて設計しているため、フロアカーペットと同様にスポーツ走行など、**いかなる場合でも取り外さないでください。**

GT-R特別指定部品について

車両外装部品（スポイラーなど）の改造の禁止

GT-Rは特殊ムービングベルト風洞と、国内・海外の様々なサーキットや公道での実走評価を行い開発しています。ダウンフォース及び各部冷却風のコントロール(冷却性能）を、車両各部の形状全体で行い、バランスさせせることで高性能を保証していますので、**純正品以外は絶対に使用しないでください。**

〈理由〉

フロントバンパー：

- バンパーコーナー部から後端部にかけての形状が、エンジンルームの空気をフロントホイールハウスから吸出し、ラジエーターやブレーキを冷却しています。社外製に交換すると、下記のように性能が著しく低下します。
  - ・エンジン冷却性能の悪化（オーバーヒート）
  - ・ブレーキ冷却性能の悪化
  - ・フロントダウンフォースの減少
  - ・トランスミッション冷却性能の悪化
- バンパーの材質や形状を変更すると、ポップアップエンジンフードのセンサー感度が変わり、誤作動を起こしたり正常に作動しなくなるおそれがあります。

スポイラー：

- 社外製に交換すると、前後のダウンフォースバランスが崩れ、高速走行時にアンダーステア・オーバーステアバランスが変わるだけでなく、ABSやVDCの車両制御領域から外れるおそれがあります。

カーボン製部品の取り扱い

GT-Rのカーボン製部品（内装パネル、リヤディフューザーなど）は、全てレーシングカーと同様のコンポジット製法で作られております。また、素材の感触を演出するため、特殊な塗装が施されています。したがって、GT-Rの全てのカーボン製部品にはワックスやコーティング剤、コンパウンド剤など全てのケミカル製品の使用を禁止します。

お手入れが必要な場合は台所用中性洗剤をバケツ満杯の水に洗剤キャップ1杯程度に薄め使用してください。

カーボン製部品の材質上、経年劣化により黄色く変色する場合があります。特に直射日光は変色や変質の原因になります。日よけに心がけてください。

リアルカーボン本来の質感を感じていただくため、レーシングカー同様にカーボン製部品の表面は薄くコーティングしているため、表面にざらつきや凹凸があります。

GT-R特別点検について

法で定められた日常点検、定期点検整備に加えて、GT-Rでは以下の内容についても車両の性格上、特別点検を指定しています。これらの点検整備を実施しなかったことに起因する不具合（故障、部品の損傷）については保証の対象になりません。
また、メンテナンスについては高精度かつ高度な技術が必要なため、特別教育を受けたGT-R認定T/Sが常駐し、専用の設備機器を備えたNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。

【GT-R特別点検】

下記点検時に行う特別点検については**新車3年間無償点検項目として指定しています。**
（新車2,000km・12か月・24か月·36か月）
※上記のタイミング以外での、点検・調整はすべて有償となります。
※4年目以降は推奨点検項目となり有償点検となります。

ホイールアライメントの測定・調整

サスペンションの性能を高めるために極めて剛性の高いゴムブッシュ類や反力の大きいスプリング、ショックアブソーバーを採用しています。
新車時は各部品がなじんでいないため、走行や時間経過の馴染み具合の変化に伴い、ホイールアライメントが変化する場合があります。安心して安全にお乗りいただくために、定期的なホイールアライメントの測定と必要に応じた高い精度での調整が必要です。

エンジンのセッティング（左右空気量の合わせ込み）

本車両のエンジンは右バンク左バンク完全独立作動となっています。そのため使用過程において生じる可能性のある左右の空気流量のズレを調整するために、バランス確認又は調整が必要です。

トランスミッションのセッティング

湿式多板式のデュアルクラッチトランスミッションを採用しています。
湿式多板クラッチやシンクロなどが経年変化しても、発進・変速性能を高いレベルで維持するために、定期的なクラッチクリアランスとシフトフォーク位置の調整が必要です。調整を実施しなかった場合、発進・変速時の大きな負担がトランスミッション、パワートレイン系部品にかかり、故障や破損するおそれがあります。
また、スポーツ走行など高負荷走行を繰り返した場合は、湿式多板クラッチの経時変化の進みが早いため、無償の定期点検時以外でもセッティングを行うことをおすすめいたします。

GT-R特別点検について

エキゾーストフィニッシャーとリヤバンパーとのクリアランス確認

大径化したエキゾーストフィニッシャーとリヤバンパーのクリアランスを、エキゾーストマウントラバーの高剛性化を行い、リヤマフラーの揺れを抑制することで成立させています。
走行時の振動や時間の経過、スポーツ走行時の高い排気温度によって、エキゾーストマウントラバーがなじみ、エキゾーストフィニッシャーとリヤバンパーのクリアランスが変化する場合がありますので、GT-R特別点検時及びスポーツ走行時のクリアランス点検が必要です。

ストラットサポートバーとショックアブソーバー取付部の増し締め

GT-R特別点検の初回時（2,000km走行時）には、ストラットサポートバー取付ブラケットとショックアブソーバーを共締めしているナット（左右各1箇所）の規定トルクによる増し締めを必ず実施してください。
また、ストラットサポートバー又はショックアブソーバー脱着時にも、500～1,000km走行後に同部位の規定トルクによる増し締めを必ず実施してください。

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）特別点検について★

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ装着車は、法で定められた日常点検、定期点検整備及びGT-R特別点検（P.1-16）に加えて、NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）に関する部品に対して特別な点検項目を追加しています。これらの点検整備を実施しなかったことに起因する不具合については保証の対象になりません。

また、NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）特別点検では高度な整備技術や知識を熟知したメカニックや専用のメンテナンス機器が必要です。そのため、SpecV特別研修を受けたGT-R認定T/Sが常駐するNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。

【NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）特別点検】

下記点検時に行う特別点検については**新車3年間無償点検項目として指定しています。**

〔新車2,000km又は6か月・12か月・18か月・24か月・30か月・36か月〕

※上記のタイミング以外での、点検・調整はすべて有償となります。

※初回のNCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）特別点検は登録日から6か月以内でも、走行距離が2,000kmを超える場合は2,000kmのときに受けてください。

※4年目以降は推奨点検項目となり有償点検となります。

ブレーキパッド、ブレーキディスクローターの特殊検査

特殊なカーボンセラミック製ブレーキディスクローターを採用しているため専用の機器で定期点検をする必要があります。

ならし運転について

エンジン本体やトランスミッションなどのパワートレイン系部品、サスペンション、ブレーキまわりなど、この車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
走行距離約2,000kmまでは、以下のことに注意して走行してください。
但し、走行距離が2,000kmを超えた場合でも街乗り・低速走行が中心のお客様は、トランスミッション内のデュアルクラッチにあたりがつくまで時間がかかりますので、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場でクラッチのならしを実施してください。クラッチのならしを実施したあとは、必ずトランスミッションのセッティング（P.1-16）を行ってください。セッティングを実施しなかった場合、発進・変速時の大きな負担がトランスミッション、パワートレイン系部品にかかり、故障や破損するおそれがあります。

~500kmまで

- アクセルペダルは半開までに抑えて、ゆっくりと踏み込んでください。
- エンジン回転数は3,500rpm以下に抑えて走行してください。
- 不必要な急ハンドル、急ブレーキ、悪路走行は避けてください。

500~1,000kmまで

- 低速ギヤ（1~3速）でのアクセルペダルを全開にした急加速はしないで、ゆっくりと踏み込んでください。
- 不必要な急ハンドル、急ブレーキは避けてください。
- できるだけショックアブソーバーのセットアップスイッチをCOMFモードに選択し、サスペンションがストロークしやすい状態で走行してください。

1,000~2,000kmまで

- Mレンジ（P.3-66）を使用し、エンジン回転数を比較的高めに維持して1速から4速の間でのシフト操作を繰り返してください。
- 不必要な急ハンドル、急ブレーキは避けてください。
- できるだけショックアブソーバーのセットアップスイッチをCOMFモードに選択し、サスペンションがストロークしやすい状態で走行してください。

アライメント点検・調整

- 2,000kmまでは、サスペンションが十分になじまず、車両姿勢が高い場合がありますので、アライメントは変更しないでください。
- 新車2,000km点検でアライメント点検・調整を必ず実施してください。

※ショックアブソーバーやスプリング、スプリングアッパーシート、各リンク類の足回り部品を交換したときは、交換後約2,000km走行程度までは、車両姿勢やアライメントが変化することがあります。アライメント変化を考慮したセッティングを実施してください。

VDC OFFモードでの使用について

GT-Rは超高性能車であり、走行安定性の確保及び正常なパワートレーン系の作動を保証するため、走行前に必ずVDCが作動状態である（VDCセットアップスイッチとメーター内のVDC OFF表示灯が消灯している）ことを確認してください。

VDC OFFモードは一時的にVDCの作動を停止し駆動力を確保することで、ぬかるみや深雪でのスタック時、脱出を補助するために使用する緊急対応モードです。これらの緊急対応を除き、**VDC OFFモードの使用履歴が車両状態記録装置に記録されていた場合は、走行に関連したいかなる問題も保証対象外となります。**また、万一の事故等の責任も負いません。

但し、VDC OFFモードでサーキット走行、公認競技走行及びシャシーダイナモ走行した場合は、走行後に**NHPCでスポーツ点検を行うことで再度保証を適用（復帰）させることが可能になります。**

車両状態記録装置…P.1-58

車体の板金修理について

GT-Rの車体は、スーパーカーとしての高性能と日常での高い安全性を両立するために、厳格な精度管理の下に製造され、骨格部位にアルミダイキャスト部品を採用したハイブリッド構造となっております。この車体を正しく修理するには、特別な技術、知識及び機器が必要となりますので、事故などで本車両を損傷された際は、必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。（損傷度合いを判断のうえ、必要に応じて認定ボディーショップをご案内させて頂きます。）

燃料について

アルコール含有燃料（ガソホール）やバイオ燃料は、絶対に使用しないでください。1,100℃以上の超高温燃焼となり、プラグが溶損したり、シリンダーやヘッドにダメージを与えます。また、ガソリン残量が少ない状態で水抜き剤を入れても、同様の現象が起こるので行わないでください。

スポーツ走行する場合のメンテナンス

スポーツ走行を行う場合は、スポーツ点検として、メンテナンスノートに綴じ込みの「スポーツ走行点検整備記録簿」に応じた、以下のメンテナンスが必要です。
スポーツ走行後はスポーツ点検を実施することで保証復帰となります。
実施しない場合、GT-Rが持つ本来の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障や破損の原因になります。
スポーツ点検は、高精度かつ高度な技術が必要なため、特別教育を受けたGT-R認定T/Sが常駐し、専用の設備機器を備えたNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。
NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ★装着車のスポーツ点検は、NHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場でのみ実施可能です。

NISSAN GT-R 特約サービス工場

※特にスポーツ走行を中心とした車両セットアップについては、下記NISSAN GT-R特約サービス工場へのご相談をおすすめいたします。

・NISMO大森ファクトリー	東京都品川区南大井2-10-6	Tel：03-3763-3120
・ノバエンジニアリング	静岡県駿東郡小山町大御神220-1	Tel：0550-78-0329
・ノルドリンク	埼玉県入間市宮寺2723-8	Tel：04-2935-2135

スポーツ走行する場合の保証条件

- **この車両は一般公道で使用することを前提に開発しています。特別な条件での走行（サーキット走行やシャシダイナモ測定など）が起因となる不具合については保証の対象になりません。**
- **スポーツ走行前及び走行後はすみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場でスポーツ点検を実施してください。スポーツ点検を実施しなかったことに起因する不具合は保証対象外となります。**

※TRACK PACKオプション★装着車の保証条件は、従来のGT-Rと同じです。また、スポーツ走行前後の点検についても、通常の項目及び基準になります。

スポーツ走行する場合のアドバイス

- **マルチファンクションメータでの油水温確認**

水温・油温・油圧が規定値を超えると、マルチファンクションメータ（別冊）内の表示が赤色の警告に変わります。
スポーツ走行時はナビゲーション画面をマルチファンクションメータに切り替え、水温・油温・油圧を表示してください。赤色の警告に変わったときはクールダウン走行を行ってください。
（規定値内に戻ると白色の表示に戻ります。）

〈警告表示温度〉

・エンジン冷却水温度：110℃～　※1
・エンジンオイル温度：135℃～　※2
・トランスミッションオイル温度：140℃～　※3

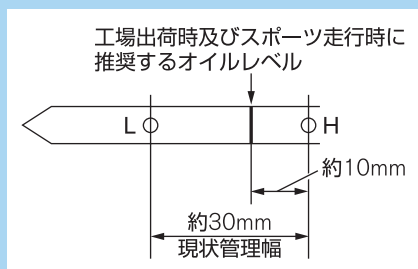
※1：エンジン出力が制限され、エンジン出力が低下します。
※2：エンジン回転数が4,000rpmに制限され、Aレンジに固定されます。
※3：146℃までは問題なく走行できますが、140℃を超えた場合はトランスミッションオイルとデファレンシャルオイルが劣化しているため、走行後に交換が必要です。

スポーツ走行する場合のメンテナンス

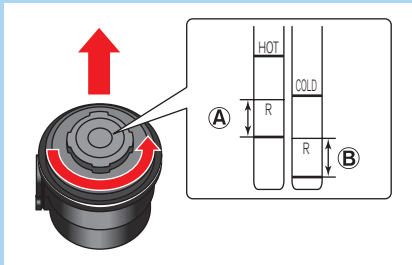
- **走行後のクールダウン走行**
  スポーツ走行直後はクールダウン走行（60〜80km/h、5〜6速で3〜5km）を行ってからエンジンを停止してください。
- **走行後の給油**
  ガソリン残量が1/2以上（特に3/4以上）の場合、ハードスポーツ走行・高速走行・真夏の渋滞走行直後などでは、ガソリンタンク内が高温高圧になっているため、給油時にキャップを開くとき“プシュー”という気流音とともにガソリン蒸気が抜けたり給油がしにくくなる場合がありますが、異常ではありません。
  ガソリンタンクの温度が下がるとこの現象はおさまります。
  このような状況では、**キャップを静かにゆっくり緩めて蒸気を抜いたあと、**キャップを開け、**少しずつ給油を行ってください。**
- **リヤフォグランプの使用**
  晴れた日はリヤフォグランプを使用しないでください。
  スポーツ走行時の熱負荷の影響で破損するおそれがあります。

スポーツ走行前の点検・調整・推奨項目

油脂類

- 油脂類が規定量であることを確認してください。
- エンジンオイルレベルの確認及び補充をしてください。
- **エンジンオイルレベルについては、エンジンオイルレベルゲージのHレベルから約10mm分（約0.5ℓ）減らした油量にしてください。エンジンオイル量の点検は、エンジンを暖機した状態でエンジンを停止し、約5分経過してから行ってください。また、オイルフィルターはエンジンオイル交換時にセットで交換してください。**
- 納車時のエンジンオイルレベルは、スポーツ走行時に最適な『H-10mm』に合わせています。
- エンジンオイル消費量の目安は、最大で0.5ℓ/1,000kmです。これ以下のエンジンオイル消費は異常ではありません。

GSS0035

スポーツ走行する場合のメンテナンス

- **パワーステアリングフルードレベルゲージのRレベルにパワーステアリングフルード量を調整してください。**
  フルード温（暖機後）50℃〜80℃：Ⓐ
  フルード温（冷機時）0℃〜30℃　：Ⓑ

GSS0032

- 冷却水の補給と濃度調整
  ⇒加圧式ラジエーターリザーバータンク内の量を確認し、MAXとMINの中間になるように調整してください。（新車納車時より0.3ℓ〜0.4ℓ追加補給してください。）
  冷却水の補給…P.5-18
  ⇒冷却水をMAX以上に入れ過ぎないでください。
  冷却水を入れ過ぎると冷却水通路の内圧が上がり、ホース抜けなどにより冷却水漏れにつながるおそれがあります。
  ⇒冷却水のエンジンクーラント濃度は30%を推奨します。凍結防止仕様車は濃度が50%になっています。冷却効率を向上させるため、濃度を30%に下げることを推奨します。

エンジン・ドライブトレイン

- エンジンやラジエーター、トランスミッション、デファレンシャル周辺やその他、下回りからオイルや冷却水の漏れやにじみがないか点検してください。
- 触媒コンバーターの周辺に熱害がないか点検してください。
- トランスミッションのセッティング
  トランスミッションのセッティング（P.1-16）を必ず行ってください。その上で、クラッチクリアランスを通常より狭くなるように調整してください。クラッチクリアランスが広いとクラッチの発熱が大きくなりトランスミッション油温の上昇につながります。またクリアランスを狭くすることで、よりダイレクト感ある変速に変更することができます。走行後は再度調整を行ってください。
- ドライブシャフトジョイントのダストブーツに亀裂や損傷がないか点検してください。

スポーツ走行する場合のメンテナンス

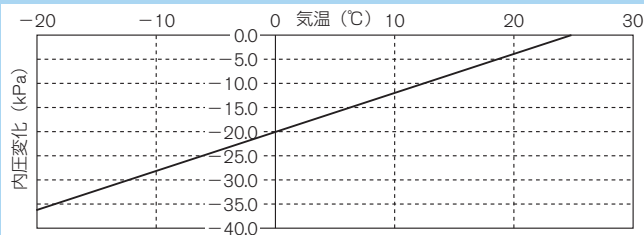
アライメント

- サスペンションやその他の各リンク部にがたつきや緩みがないか点検してください。
- ホイールアライメントの測定・調整をしてください。
- アライメント

※新車時及び走行距離やなじみの状態により推奨値にならない場合があります。
（推奨値）
⇒キャンバー角　前輪　−1°50′〜−2°00′　後輪　−1°45′〜−1°55′
⇒トーイン量　前輪　1.2mm　後輪　1.2mm
TRACK PACKオプション専用純正サスペンション★装着車
⇒キャンバー角　前輪　−1°55′〜−2°05′　後輪　−1°50′〜−2°00′
⇒トーイン量　前輪　1.2mm　後輪　1.2mm
アライメント測定推奨条件
（**乗員なし**　・車載工具搭載なし　・燃料満タン状態　・タイヤ内圧：前後輪共に250kPa）
※上記はスポーツ走行する場合の推奨値となります。
一般にキャンバー角が大きいとタイヤが偏摩耗しやすくなりますので、通常の街乗り走行はフロント及びリヤキャンバーの狙い値を−1°30′〜−1°35′に調整することを推奨します。
「街乗りからサーキットなどでのスポーツ走行」までお客様の用途に合わせたセッティングが可能ですので、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
※トーアウトの禁止
トーイン量についてはトーアウトになるとタイヤの偏摩耗や、タイヤ内側の局部発熱によるタイヤ破損が発生するおそれがあるため、必ずトーインになるように調整してください。
なお、トーイン量が多すぎても局部発熱を促進するおそれがあります。
必ず、フロントトーはイン1.5mm以下、リヤトーはイン2.0mm以下に調整してください。

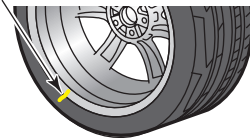
タイヤ・ホイール

- タイヤの摩耗状態、亀裂の有無などの点検をしてください。
- タイヤ内圧の測定･調整をしてください。内圧調整は、車両が冷えているときに行ってください。

※気温変化や高度変化によりタイヤの内圧は変化します。
タイヤの内圧が低い状態で走行すると、トランスミッションなどのパワートレイン系部品に悪影響を与えたり、タイヤがバースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
季節の変わり目などに定期的にタイヤ内圧を点検、調整してください。

※1　常温（25℃）で測定、調整したタイヤ内圧の外気温変化によるタイヤ内圧（窒素）変化量の一例を示しています。

スポーツ走行する場合のメンテナンス

- タイヤ内圧
  高速走行やスポーツ走行時など、タイヤ温度が高くなったときに、前後のタイヤ剛性バランスをより均等にするために、タイヤ内圧を以下のように調整してください。
  走行スタート時（タイヤが冷えている状態）
  前輪210〜220kPa、後輪200kPa
  タイヤ内圧上昇時（タイヤが温まっているとき）
  前輪270kPa、後輪260kPaを超えないように調整してください。
- タイヤ脱着時にホイールナットがなめていないか点検してください。
- ホイールとタイヤの回転方向合わせ位置にずれが生じるとタイヤバランスが狂い、車両振動が発生するおそれがあるため、合わせ位置にずれがないか点検してください。
  ⇒ホイール内側のタイヤとの合わせ目など、目立たない場所に「合わせマーク」を付けます。
  大きな走行負荷がかかると、タイヤとホイールの（回転方向の）合わせ位置がずれることがありますが、「合わせマーク」を付けておくことで、このずれを発見しやすくなります。
  （例）

ホイール部20mmに
タイヤ部に20mmかかるよう、
黄色の油性マーカーにて
ペイントする。

GSS0044

- タイヤ空気圧センサーを取り付けているナット及びセンサー内のバルブに緩みや窒素ガス漏れがないか点検してください。
- タイヤ空気圧センサーのシールゴム、コア、キャップはスポーツ走行をする場合は3年以内に交換してください。スポーツ走行をしない場合でも、5年以内に交換してください。シールゴムが汚れると、タイヤのエア漏れの原因となります。
- ホイールナット及びドライブシャフト用センターナットに緩みがないか点検してください。
- ハブのガタつきや回転方向に引っかかりがないか点検してください。
  通常はロードホイールをつけた状態での点検になりますが、エンジンオイル交換のタイミングに合わせて、ロードホイールを外した状態で点検を行ってください。
- ロードホイールのバランスウエイトが脱落しないようにアルミテープなどで保護してください。

スポーツ走行する場合のメンテナンス

ブレーキ

- ブレーキの熱劣化と摩耗、ブレーキ周辺部品の熱劣化がないか点検してください。
- 新車後に初めてスポーツ走行をする場合やブレーキフルード交換後又はハードなスポーツ走行をする場合はブレーキフルードのエア抜きを推奨します。
  ⇒ブレーキフルードのエア抜きは、しばらく走行してブレーキキャリパーが熱を帯びている状態（100℃程度：サーキット走行で5周位）でエア抜きをすることを推奨します。
- スポーツ走行時などの横Gによるブレーキパッドの動きを制限し、ブレーキペダルストロークを低減させるため、フロントキャリパーに装着されるクロススプリングを追加して片側２個装着とすることを推奨します。（工場出荷時は片側１個装着）
  ⇒クロススプリングを追加することによって、稀にブレーキからのカタカタ音やキー音が発生しやすくなる場合があります。
- ブレーキパッドのならし
  ⇒ブレーキパッド表面から1～2mm分白化（およそ600℃）するまで、ブレーキパッドの焼き入れを推奨します。
  ⇒サーキット走行で120km/hから0.6Gの制動で、20km/hまで減速させることを連続で15回程度繰り返し行い、その後必ずクールダウン走行（60～80km/h、5～6速で3～5km）を行いブレーキを冷ましてください。
  ※絶対に公道でのブレーキパッドならしはしないでください。

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ★装着車

- NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）は、従来のGT-Rに採用しているブレーキディスクローターやブレーキパッドとは特性が異なるため、お客様によるスポーツ走行時のブレーキならしは不要です。
  また、NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）のならし作業には特殊な技術が必要となりますので、ブレーキならしについては必ずGT-R認定T/Sへご相談ください。

その他

マフラーフィニッシャーとリヤバンパーのクリアランスが、上下方向6mm以上、左右方向5mm以上確保できているか点検してください。

スポーツ走行する場合のメンテナンス

スポーツ走行後の点検・調整項目

油脂類

- 車体の下周りから油脂類の漏れやにじみがないか確認してください。
- 油脂、冷却水量の確認及び補充をしてください。

スポーツ走行後のオイル交換インターバル

- 各油脂類の交換は、以下の条件に従ってください。

項　　目		交換時期
エンジンオイル	走行中の油温が110℃を超えなかったとき	15,000km又は1年毎
	走行中の油温が110℃～130℃になったとき	5,000km
	走行中の油温が130℃を超えたとき	走行後、すみやかに交換
トランスミッションオイル	走行中の油温が120℃を超えなかったとき	60,000km
	走行中の油温が120℃～140℃になったとき	5,000km
	走行中の油温が140℃を超えたとき	走行後、デファレンシャルオイルとセットですみやかに交換
デファレンシャルオイル（フロント・リヤ）※1	走行中のトランスミッション油温が120℃を超えなかったとき	60,000km
	走行中のトランスミッション油温が120℃～140℃になったとき	5,000km
	走行中のトランスミッション油温が140℃を超えたとき	走行後、トランスミッションオイルとセットですみやかに交換
ブレーキフルード		5,000km

※1：マルチファンクションメータにはデファレンシャル油温は表示されません。トランスミッション油温でご確認ください。

項　　目	指定油脂
エンジンオイル	Mobil 1（0W－40）
トランスミッションオイル	ミッションオイルR35スペシャル
デファレンシャルオイル（フロント、リヤ）	デファレンシャルオイルR35 COMPETITION type 2189E
ブレーキフルード	ブレーキフルードR35スペシャルⅡ

GT-R特別指定部品について…P.1-9

スポーツ走行する場合のメンテナンス

アライメント

- サスペンションやその他の各リンク部にがたつきや緩みがないか点検してください。
- ホイールアライメントの測定・調整をしてください。

※タイヤ内側の偏摩耗に有利な街乗り用のアライメントに調整することを推奨します。

タイヤ・ホイール

- タイヤの摩耗状態、亀裂の有無などの点検をしてください。
- タイヤ内圧の測定･調整をしてください。内圧調整は、車両が冷えているときに行ってください。
- ホイールナットがなめていないか、取り付け部の座面に変形がないか点検してください。
- ホイールナット及びドライブシャフト用センターナットに緩みがないか点検してください。
- ハブのがたつきや回転方向に引っかかりがないか点検してください。
- ホイールとタイヤの回転方向あわせ位置がずれてないか点検してください。
- タイヤ空気圧センサーを取り付けているナット及びセンサー内のバルブに緩みや窒素ガス漏れがないか点検してください。

ブレーキ

- ブレーキの熱劣化と摩耗、ブレーキ周辺部品の熱劣化がないか点検してください。
- ブレーキパッド・ディスクローターの状態を点検し、必要に応じ、基準に従って交換してください。

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）パッケージ★装着車

- NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）のブレーキディスクローターは､スポーツ走行において特殊な赤色放射熱が発生するため、走行後はブレーキ周辺部品に放射熱による影響がないか点検してください。

その他

- マフラーフィニッシャーとリヤバンパーのクリアランスが上下方向6mm以上、左右方向5mm以上確保できているか点検してください。

エンジン・ドライブトレイン

- エンジンやラジエーター、トランスミッション、デファレンシャル周辺やその他、下回りからオイルや冷却水の漏れやにじみがないか点検してください。
- 触媒コンバーターの周辺に熱害がないか点検してください。
- クラッチクリアランスとシフトフォーク位置を調整してください。
- ドライブシャフトジョイントのダストブーツに亀裂や損傷がないか点検してください。
- タイトコーナーブレーキング現象が極端に大きくなっていないかを確認してください。

こんなことにも注意

外気温が－20℃以下のときは冬用タイヤを使用する

外気温が－20℃以下のときは標準装着タイヤのトレッド面破損を防ぐため、冬用タイヤを使用してください。

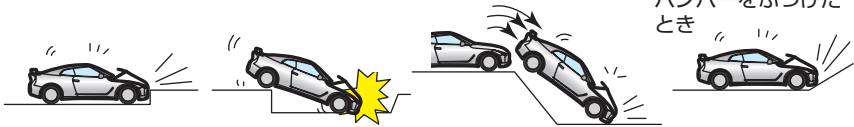
バルブキャップは工具を使わず手で確実に締める

バルブキャップを工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。

車両下部やバンパー下部に衝撃を受けそうなときは注意して走行する

①歩行者保護ポップアップエンジンフード誤作動

以下のような、車両下部やバンパー下部に衝撃を受けたときに、ポップアップエンジンフードが作動することがあります。車両下部やバンパー下部に衝撃を受けそうな路面を走行するときは速度を落として注意して走行してください。（ポップアップエンジンフード…P.2-59）

- 縁石に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ち込んだとき
- ジャンプして地面にぶつけたとき
- 駐車場のスロープや落下物などにフロントバンパーをぶつけたとき

- 踏切などのうねりのある路面でフロントバンパーをぶつけたとき

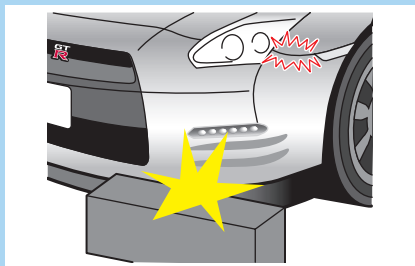
GIC0105

〈万が一作動した時〉

万が一ポップアップエンジンフードが作動した場合は、絶対にエンジンフードを開けず、直ちにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご連絡ください。
やむを得ず走行する場合は、持ち上がったエンジンフードが視界の妨げにならないことを確認し、速度を落とし十分に注意してください。

こんなことにも注意

②フロントバンパーサイド部の塗装傷つきや割れ

フロントバンパー下部付近が輪止めなどと衝突することにより、バンパー全体が変形して衝突箇所だけでなくその他の部分（バンパーサイド部）にも傷や割れが生じるおそれがあります。輪止めや縁石などに注意して走行してください。

GSS0043

③フロントダウンフォース用ディフューザーの破損

空力用にエンジンルーム下に設けているディフューザーの破損に注意してください。

ホイールにタイヤを組み付けた直後はスポーツ走行など行わない

タイヤ交換直後に急発進・急ブレーキなどを行うと、タイヤとホイールのなじみが不十分なため、回転方向合わせ位置にずれが生じることがあります。特にタイヤ交換から2日間は、スポーツ走行などのタイヤに大きな負荷がかかる走行を行わないでください。

TRACK PACKオプション★装着車の後部スペースには乗車しない　荷物を置かない

後部スペースは乗車や荷物を置くようには設計されておりません。万一の事故や急ブレーキのときに重大な傷害を受けたり、後部スペースが高温になってやけどをするおそれがあるため、後部スペースへの乗車やチャイルドシートの取り付け、荷物を置くことは絶対にしないでください。また、後部スペース足元にも荷物を置かないでください。

GT-R専用純正チタンマフラー★には皮脂や油分を付着させない

マフラー表面に皮脂や油分が付いた状態で熱せられると、その部位が周辺の部位と異なる色に変色します。皮脂や油分が付いてしまった場合は、マフラーの表面温度が下がったことを確認し、中性洗剤で洗浄したあと、ブレーキクリーナーを吹きつけたきれいな布やウエスなどでふき取りをし、乾いたウエスでたたくように乾燥させてください。このとき、ブレーキクリーナーがゴム部やバンパーなどへ飛散しないよう注意してください。

こんなことにも注意

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）★が濡れたまま長時間放置しない

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）は、従来のGT-Rに採用してるブレーキディスクローターやブレーキパッドとは材質が異なるため、鉄分が錆びて固着することはありません。
ただし、ブレーキディスクローターやブレーキパッドを長く使用していただくために、カーボンセラミックローターの材料組成への影響や、ブレーキディスクローターのフローティング締結部の劣化防止のため、ブレーキが濡れたままでの長時間駐車はしないでください。
特に冬場、凍結温度以下になる場合、ブレーキディスクローターとパッドが凍結破損することを防止するため、必ず乾かした状態で駐車してください。
（本カーボンセラミック製ブレーキは、ローター及びパッド内部にその構造上、気泡空間があるため、水を含んだままにしておくと凍結固着が発生しやすいのでご注意ください。）

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

これらの現象は異常ではありません

これらの現象は異常ではありませんが、ご不明な点があるときはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にお問い合わせください。

〈タイヤ・ロードホイール〉

現象	原因及び対応
ロードホイールからの“パキパキ”音	**〈原因〉** スポーツ走行をするときなどに必要な締結力の確保と、ブレーキシステムの発熱によるホイール自体の膨張時の逃げを両立するため、接合部から“パキパキ”音が発生する場合があります。これは熱変形を逃がすための音であり、異常ではありません。 **〈対応〉** 温度が下がると音は小さくなります。又、締結面をクリーニングすると、音は小さくなります。
タイヤの摩耗が不均一	工場出荷時は高速走行での高い直進安定性やスポーツ走行での高いコーナーリング性能を発揮するようにホイールアライメントを設定しています。 そのため、日常走行を主に使用した場合、タイヤの摩耗が不均一になることがありますが異常ではありません。 偏摩耗の兆候がある場合はNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に相談し、ホイールアライメントの確認と必要に応じてアライメントの調整を実施してください。

〈ブレーキ〉

現象	原因及び対応
ブレーキ時の“キー”音	**〈原因〉** 幅広い走行環境において高い制動力を発揮できる鉄系の摩擦材と大型のブレーキパッドを採用しています。そのため、停止寸前の緩ブレーキ時に“キー”という音が出ることがありますが、摩耗と時間経過とともに音は減少します。 **〈対応〉** クロススプリングの交換や、追加のブレーキ焼入れの実施などにより“キー”音が軽減することがありますので、ブレーキ時の“キー”音が続く場合にはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
ブレーキパッド周辺からの“カタカタ”音	**〈原因〉** この車両の高性能ブレーキシステムは超高温度領域から雪道のような低温度領域までの幅広い走行環境で安定した制動性能を確保するために、ブレーキパッドとブレーキキャリパーのすき間を通常より若干大きく設定しており、また、ブレーキパッドも大型であるため、タイヤが段差を乗り越えるときにブレーキパッド周辺から軽度の“カタカタ”音がする場合がありますが異常ではありません。 **〈対応〉** クロススプリングの追加や交換で“カタカタ”音が軽減することがありますので、“カタカタ”音が続く場合にはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
ブレーキパッド表面及び側面のひび	**〈原因〉** スポーツ走行時に発生する高温と大きな制動力を受け止めるため、ブレーキパッドの摩擦材と座金の接着を従来に比べより強固にしています。そのため、摩擦材と座金の熱膨張率の差により、ブレーキパッドの摩擦材表面及び側面に多少のひびが発生することがあります。この現象は摩擦材と座金の接着を確保している結果、摩擦材と座金の熱膨張の違いから発生する現象ですので、異常ではありません。 **〈対応〉** ひびの状態によってはブレーキパッドなどの交換が必要となりますので、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

これらの現象は異常ではありません

〈ブレーキ（NCCBパッケージ装着車を除く）〉

現象	原因及び対応
ブレーキパッドの張り付き	**〈原因〉** スポーツ走行などの超高温度領域から雪道のような低温度領域及び通常の雨天走行時の効きなど幅広い走行環境で安定した制動性能を発揮するため、鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しています。 また、ヒルスタートアシスト機能により、ブレーキペダルから足を離した状態でも停車時に約2秒間ブレーキ力を保持し、ブレーキパッドをブレーキディスクローターに押し付けた状態となります。 そのため、ブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。 **〈対応〉** ブレーキパッド新品時から約2mm減るまで（目安として約5,000～10,000km走行程度）は以下の手順で駐車してください。 （ブレーキパッド新品時の厚さ：フロント約11mm、リヤ約12mm） ①乾いたところで走行するなどしてブレーキを乾かした後、車を完全に停車させます。 ②ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。 ③シフトレバーをPに入れます。 ④ブレーキペダルから足を離します。 ⑤約20秒アイドリング後にエンジンを止めます。 ※エンジンを停止してからもブレーキペダルは踏まないでください。 万一踏んでしまった場合は、再度エンジンをかけて、④の手順からやり直してください。 注意： • 特にブレーキが濡れた状態の場合は1kmほど走行して、ブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。（特に洗車後数m走ったのみの駐車は、最も固着しやすい条件となります。） • ブレーキパッドとローターの焼入れを実施し、表面に酸化鉄の層ができるようにすると固着の低減効果があります。また、定期的に強めのブレーキをかけることで、効果を持続させることができます。（ブレーキの焼入れの実施についてはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。）
ディスクローター表面の冷却孔周りの亀裂	**〈原因〉** 寒い時期に山道などで高負荷のブレーキを繰り返すと、ディスクローターの内部が冷えた状態で表面が熱くなり、温度差によって冷却孔周りに3mm程度の亀裂が発生する場合がありますが、制動性能に対しては問題なく異常ではありません。 **〈対応〉** そのまま継続して使用が可能です。 ただし、サーキット走行時に高負荷のブレーキを繰り返した場合や継続して使用したことにより、4mm以上の亀裂が発生した場合はディスクローターを交換してください。

これらの現象は異常ではありません

〈その他〉

現象	原因及び対応
燃料補給時のふきこぼれ	スポーツ走行後の給油に関しては、『スポーツ走行する場合のメンテナンス』（P.1-21）をお読みください。
外気温度表示	スポーツ走行、高速走行までの冷却性能を保証した大型大容量のラジエーター、インタークーラーを採用しています。 そのため、エンジンルーム内の熱が走行中又は停車中に放熱されることによって、外気温度表示が実際の外気温より高めに表示される場合がありますが異常ではありません。
炎天下で駐車時にリヤスポイラーの表面に歪みが生じる	スポーツ走行や高速走行などで大きな空気の流れによるダウンフォース荷重を支えるため、リヤスポイラー内部に補強リブを設定しています。 そのため、夏の炎天下などで長時間駐車すると、リヤスポイラー中央の表面付近に若干の歪みが生じる場合がありますが、表面の温度が下がると歪みは元に戻ります。
エンジン停止後も冷却ファンが作動している	スポーツ走行などでエンジンが高温になっているときは、エンジンを停止しても各部の冷却のために約2分間冷却ファンが作動することがあります。 ファンが作動しているときは、手などを巻き込まれないように注意してください。
アイドル回転が安定しない	スポーツ走行などでエンジンルーム内が異常に高温になった状態でエンジンを始動させた場合、始動直後にアイドル回転が安定しないことがありますが異常ではありません。
エンジン回転数の制限	高性能を維持するため、以下の場合にエンジン回転数を制限します。 ● 空ぶかし時は、5,000rpm以上に上がりません。 ● エンジンオイルの油温が0℃以下又は135℃以上のときは、4,000rpm以上に上がりません。（このとき、Mレンジの場合は自動的にAレンジに切り替わります。）
エンジン出力の制限（高度の条件）	高度1,500m以上の高地では、エンジン保護のために出力を抑えています。
エンジン出力の制限（水温の条件）	エンジン冷却水の温度が約70℃以下及び110℃以上では、エンジン保護のため出力を低下させる制御が作動しますが、異常ではありません。 約70℃以下のときはウォームアップ走行を行い、110℃以上のときはクールダウン走行を行ってください。エンジン冷却水が約70℃から110℃未満で本来の出力となります。
マフラーの表面色が変化する	GT-R専用純正チタンマフラー★には、材料にチタン合金を使用しているため、走行条件により表面色が変化します。また、工場出荷前にエンジン・トランスミッション・クラッチの合わせ込みやブレーキの焼き入れ走行を行っているため、車両によりマフラー表面色が異なります。

これらの現象は異常ではありません

〈その他〉

現象	原因及び対応
エンジン停止後にマフラー付近から音がする	エンジン停止（急冷）後、GT-R専用純正チタンマフラー★部インナーパイプとアウターパイプの熱膨張差により、金属がこすれるような音や、“チチチ”という音が発生する場合があります。温度が下がれば音は小さくなります。
カーボン製部品表面の凹凸やざらつき、繊維のよれ	リアルカーボン本来の質感を感じていただくため、レーシングカー同様にカーボン製部品の表面は薄くコーティングしているため、表面にざらつきや凹凸がありますが、異常ではありません。

新開発トランスミッションの狙いとメリット

GT-R専用のトランスミッションとして、「Mレンジ（手動変速）は、マニュアルトランスミッションの運転感覚そのままに」、「Aレンジ（自動変速）は、マニュアルトランスミッションの運転感覚をイージーに」楽しめることを狙いとして、高効率マニュアルトランスミッションをベースに湿式多板クラッチ及びシフト機構の油圧を電子制御して発進及び変速を行う新開発のシステムとしました。

従来のトルクコンバーター式オートマチックトランスミッションでは実現できない、強力な加速やエンジンブレーキを、アクセルペダルでコントロールでき、「ダイレクトでリニアな走行」、「F1感覚のすばやい変速」、「燃費の良さ」、「クリーンな排気」を実現しています。

使用条件及び制約条件

従来のトルクコンバーター式オートマチックトランスミッションとシステムが異なるため、下記に記載する使用条件及び制約条件が従来と異なることをご理解いただき、マルチパフォーマンスをお楽しみください。

機　　構	使用条件及び制約条件　－下記のような現象は異常ではありません。－
マニュアルトランスミッションベース	● マニュアルトランスミッションと同様に、平行軸歯車を採用しているため、ギヤの衝突音が発生し、下記の理由により、従来のトルクコンバーター式オートマチックトランスミッションに比べ音が大きくなります。 ・スポーツ走行時でもギア歯面の潤滑能力を維持するための大きめのバックラッシュ量を確保しているため。 ・スポーツ走行時でも安定したオイル供給が可能なドライサンプ潤滑方式を採用しているため。 ・アクセルレスポンスを高めるために軽量フライホイールを採用しているため。 特にスポーツ走行直後などは“ガラガラ”“カラカラ”“ジャー”という音がでる場合があります。 ⇒トランスミッションオイルの温度が下がると音は小さくなります。 ● 変速作動時に“カチャ”という音が出る場合があります。 ● 車両が停止する前にRからA↔M又はA↔MからRにシフトレバーを切り替えると、変速が遅れたり変速できない場合があります。必ずブレーキペダルを踏んで車両が確実に停止していることを確認してから操作してください。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

これらの現象は異常ではありません

機　　構	使用条件及び制約条件　－下記のような現象は異常ではありません。－
湿式多板クラッチ	● 停車中A↔M、Rにシフトレバーがあるときは、ブレーキペダルを離すと、発進準備のため、マニュアル車の半クラッチ時のような状態となり、車両がゆっくりと動き出します。（状況によっては動かない場合もあります。） ⇒停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。 ● ブレーキペダルとアクセルペダルを同時に踏み込むと、クラッチが加熱状態となり、摩耗や劣化の進行が早まります。 ⇒ブレーキペダルとアクセルペダルを同時に踏みこむ操作は控えてください。 ●「坂道でのアクセルペダルでの調節による停止」を行うと、マニュアル車と同じようにクラッチが過熱状態となり、トランスミッションの損傷やエンストが発生する場合があります。また、坂道で停止するときは確実にブレーキペダルを踏んで停止し、アクセルペダルでの調節による停止操作を行わないでください。
電制油圧コントロール	温度変化によるオイル粘性抵抗変化などにより以下の現象が発生します。 ● トランスミッション油温がスポーツ走行後などの高温時や冬場の温度が非常に低い場合など、油圧応答特性変化による発進・変速時の滑り感やショックが出る場合があります。 ⇒トランスミッションオイルが通常の温度に戻れば、滑り感やショックは減少します。 ● トランスミッション油温が冬場などの温度が非常に低い場合は、油圧応答特性変化によりシステムチェックの時間が長くなる場合があります。 ⇒システムチェック中はシフトレバーがPから抜けません。システムチェック表示が消灯後にシフトレバーを操作してください。 また、システムチェック中に“ガシャ”という作動音が聞こえたり、エンジン回転数が低くなることがあります。
モード切り替え	● Mレンジは変速スピードを速くしているため、発進・変速時にショックやギクシャク感が出る場合があります。 ● MレンジのRモードでは、スポーツ走行時に変速スピードが最速になるようにしているため、日常走行時では変速スピードが遅くなる場合があります。
メカニカルLSD	● 低温時に車庫入れなど、ハンドルを大きく切った状態で発進すると、タイヤスリップによる振動や差動音が発生する場合があります。これは低温時にはデファレンシャルオイルの粘性が高くなりLSDの作動力が強くなることが原因です。ハンドルを直進状態に戻すかデファレンシャルオイルの温度が上がれば解消します。

これらの現象は異常ではありません

機　構	使用条件及び制約条件　－下記のような現象は異常ではありません。－
電子制御4WD	● 低温時の車庫入れなど、ハンドルを大きく切った状態で発進すると、アクセルペダルを踏んでも車が前後に動きづらい場合があります。 これは前輪と後輪に回転差が生じるために起きる4WD車特有の現象であり、異常ではありません。 ハンドルを直進状態に戻せば解消します。また、トランスミッションのセットアップスイッチの操作（※1）で、低速時にハンドルを大きく切ったときのみ2WD状態とすることで本現象を緩和することができます。 （※1　本機能使用時でも、常に2WD状態となるわけではありません。） タイトコーナーブレーキング現象…P.3-81 タイトコーナーブレーキング現象緩和機能…P.3-82
軽量フライホイール	● アクセルペダル操作に対するエンジンレスポンスを高めるため、軽量フライホイールを採用しています。そのため、従来の車に比べエンジン回転数の変動が大きくなり、アイドリング時や低速走行時に“ガラガラ”“カラカラ”“ジャー”という音が出る場合があります。 ● エンジン始動時や停止時に“ガラガラ”という音が出る場合があります。

GT-R EGOIST 特別項目

ここでは、GT-R EGOIST特有の特別項目について記載しています。
必ずGT-R特別項目と合わせてお読みください。

GT-R EGOIST 特別指定部品について

GT-R EGOIST専用純正チタンマフラーの取り扱い

GT-R EGOISTには、GT-R EGOIST専用純正チタンマフラーを必ず使用してください。

たとえ法規適合部品であっても、純正品以外は絶対に使用しないでください。

- 高性能エンジンで排気温度が高いため（1,000℃以上）、純正品以外を使用するとマフラーが変形しアンダーカバーなどが損傷するおそれがあります。
- 高い排気温度に耐えうる強度・クリープ特性を確保するため、純正品には最高級チタン合金を使用しています。また、冷却フィンの追加や一部板厚薄肉化を行うことで、さらなる冷却効果を引き出しています。
- 材料にチタン合金を使用しているため、走行条件により表面色が独特の色合いに変化します。工場出荷前にエンジン、トランスミッション、クラッチの合わせ込みやブレーキ焼き入れ走行を行っているため、車両により表面色が異なる場合があります。

GT-R EGOIST車両外装部品（カーボン製リヤスポイラー）の改造の禁止

GT-Rは特殊ムービングベルト風洞と、国内・海外の様々なサーキットや公道での実走評価を行い開発しています。ダウンフォース及び各部冷却風のコントロール（冷却性能）を、車両各部の形状全体で行い、バランスさせることで高性能を保証していますので、純正品以外のリヤスポイラーは絶対に使用しないでください。素材の感触を演出するために特殊な塗装が施されているため、ワックスやコーティング剤、コンパウンド剤など全てのケミカル製品の使用を禁止します。

お手入れ方法については、GT-R EGOIST専用カーボン製部品のお手入れ（P.1-41）をお読みください。

GT-R EGOIST 本革部品修理について

GT-R EGOISTの部品に使用される本革は、南ドイツで特別に飼育された牛から作られた天然の厳選された本革を使用しています。

本革部品は一つ一つドイツで手作りし、その後、日産栃木工場の専用工房で定置組み立てするため、修理に3か月以上の納期が必要となります。

本革部品の修理はNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご依頼ください。

GT-R EGOIST こんなことにも注意

GT-R EGOIST専用純正チタンマフラーには皮脂や油分を付着させせない

マフラー表面に皮脂や油分が付いた状態で熱せられると、その部位が周辺の部位と異なる色に変色します。皮脂や油分が付いてしまった場合は、マフラーの表面温度が下がったことを確認し、中性洗剤で洗浄したあと、ブレーキクリーナーを吹きつけたきれいな布やウエスなどでふき取りをし、乾いたウエスでたたくように乾燥させてください。このとき、ブレーキクリーナーがゴム部やバンパーなどへ飛散しないよう注意してください。

GT-R EGOIST これらの現象は異常ではありません

現象	原因及び対応
マフラーの表面色が変化する	GT-R EGOIST専用純正チタンマフラーには材料にチタン合金を使用しているため､走行条件により表面色が変化します｡また､工場出荷前にエンジン、トランスミッション、クラッチの合わせ込み走行やブレーキ焼き入れ走行を行っているため、車両によりマフラー表面色が異なります。
エンジン停止後にマフラー付近から音がする	GT-R EGOISTではエンジン停止（急冷）後にチタンマフラー部インナーパイプとアウターパイプの熱膨張差により金属がこすれるような音や、“チチチ”という音が発生する場合がありますが、温度が下がれば音は小さくなります。
カーボン製部品表面の凹凸やざらつき、繊維のよれ	リアルカーボン本来の質感を感じていただくため、レーシングカー同様にカーボン製部品の表面は薄くコーティングしているため、表面にざらつきや凹凸があります。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

GT-R EGOISTのお手入れ

GT-R EGOISTの内装には、世界最高級の天然素材の本革を使用しております。
一般の高級本革製品と同様に、長時間にわたる日光の直射や高温環境での保管は、極力お控えください。
専用クリーナーには、汚れを落とす成分と革の風合いを保護する成分が含まれています。本革固有の風合いを長い期間お楽しみいただくために、12か月点検以降の点検時を目安にお手入れすることをおすすめします。
本革の色や使い方により、3か月程度で汚れが目立ってくる場合があります。本革のきれいな状態を保つために、汚れが気になったときはできるだけ早くお手入れをしてください。
また、専用レザークリーナーとワイピングクロスの使用を前提に開発しております。市販のクリーナーを使用したことに起因する不具合は保証対象外となります。

GT-R EGOIST専用本革部品の汚れ取り

GT-R EGOIST専用の本革部品は、トランクに収納されている専用のレザークリーナーとワイピングクロスを使って汚れを落としてください。専用レザークリーナー、ワイピングクロス以外のご使用は、革の劣化（ひび割れや色あせ、色落ちなど）の原因となります。

GSD0014

❶車載の専用クリーナーをワイピングクロスの塗布面（ホワイト色面）に適量吹きつけます。
❷軽くなでるように汚れを移し取ります。
❸ワイピングクロスのふき取り面（グレー色面）で、残った汚れやレザークリーナーをふき取ります。
❹汚れがひどい場合は、❶～❸を繰り返してください。
❺乾いた柔らかい布を当てて水気を取り、風通しの良い日陰で乾燥させます。

※ワイピングクロスが汚れた場合は、水洗いを行い清潔に保ってください。
※専用レザークリーナー及びワイピングクロスのご購入については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

GT-R EGOISTのお手入れ

GT-R EGOIST専用カーボン製部品のお手入れ

GT-R EGOISTのカーボン製部品は全てレーシングカーと同様なコンポジット製法で作られております。また、素材の感触を演出するため、特殊な塗装が施されています。したがって、GT-R EGOISTの全てのカーボン製部品にはワックスやコーティング剤、コンパウンド剤など全てのケミカル製品の使用を禁止します。
お手入れが必要な場合は台所用中性洗剤をバケツ満杯の水に洗剤キャップ1杯程度に薄め使用してください。
カーボン製部品の材質上、経年劣化により黄色く変色する場合があります。特に直射日光は変色や変質の原因になります。日よけに心がけてください。
リアルカーボン本来の質感を感じていただくため、レーシングカー同様にカーボン製部品の表面は薄くコーティングしているため、表面にざらつきや凹凸があります。

GT-R EGOIST輪島蒔絵エンブレムのお手入れ

この車のステアリングパッド部に使用しているGT-Rのオーナメントには、匠が手作業で作りあげた「輪島蒔絵」と呼ばれる上質な漆工芸の技法を施しております。時間とともに変化していく漆独特の風合いと色合いをお楽しみください。お手入れ方法は、一般の漆器と同様に、汚れがついた場合は柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどいときには濡れた布で汚れをふき取り、もう一度乾いた布でふいてください。硬めの布で強くこすると傷の原因になります。
漆塗り部品については十分な乾燥期間を取っており、肌がかぶれるおそれはありませんが、体質などにより万一発症されたときは医師にご相談ください。

GT-R EGOIST専用織物調フロアの汚れ取り

GT-R EGOISTでは、専用の織物調フロアを採用しております。お手入れのときは、電気掃除機などでほこりを取り除き、トランクに収納されている専用のレザークリーナーとワイピングクロスを使用して汚れを落としてください。

GT-R EGOIST専用織物調カーペット◎の汚れ取り

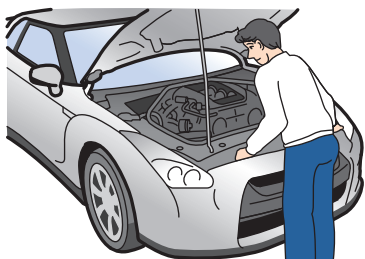
ディーラーオプション設定のGT-R EGOIST専用の織物調フロアカーペットのお手入れもフロアのお手入れと同様ですが、詳しくはフロアカーペットに同梱される取扱説明書をお読みください。
フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。
フロアカーペット…P.4-9

⚠重要です。しっかりお読みください。

お出かけまえには

日常点検は必ず実施

●車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
メンテナンスノートをお読みください。

●いつもと違うことに気がついたらNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。
（音、振動、臭い、水・油漏れなど）

GSS0036

タイヤの内圧を点検する

●気温変化や高度変化によりタイヤの内圧は変化します。
タイヤの内圧が低い状態で走行すると、トランスミッションなどのパワートレイン系部品に悪影響を与えたり、タイヤがバースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検で、タイヤ内圧を点検してください。
タイヤ内圧の点検…P.5-22

●この車両は、窒素ガスが充填されています。内圧が低い場合は、窒素ガスを充填してください。窒素ガスの充填についてはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
タイヤについて…P.5-20

バッテリーの液量を点検する

●バッテリーの液量が下限（LOWER LEVEL）以下になったまま使用、又は充電すると、バッテリーが爆発するおそれがあります。日常点検でバッテリーの液量を点検してください。
メンテナンスノートをお読みください。

車にあった燃料を補給

●指定以外の燃料は補給しないでください。
超高性能エンジンのため、オクタン価100以上の無鉛プレミアムガソリンを必ずお使いください。
オクタン価96以下のガソリンや軽油、有鉛ガソリン、粗悪な燃料（高濃度アルコール含有燃料など）を使用するとエンジンを破損するおそれがあります。（レギュラーガソリンのオクタン価は91程度です。）

●指定以外の燃料の使用に起因する不具合については保証の対象外となります。

エンジン型式	指定燃料
VR38	無鉛プレミアムガソリン （無鉛ハイオク、オクタン価100以上）

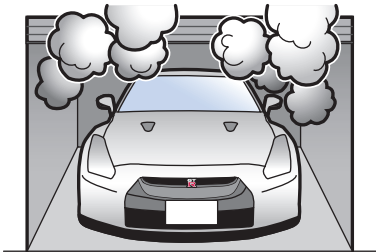
●アルコール含有燃料（ガソホール）やバイオ燃料は、絶対に使用しないでください。
1,100℃以上の超高温燃焼となり、プラグが溶損したり、シリンダーやヘッドにダメージを与えます。また、ガソリン残量が少ない状態で水抜き剤を入れても、同様の現象が起こるので行わないでください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

お出かけまえには

車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしない

●車庫や屋内など換気が悪い所では、排気ガスが充満しやすいため、エンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

●排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。

GSS0037

正しい運転姿勢に調節

●走行前にシート、ハンドルの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

正しい運転姿勢…P.2-34

シートベルトは正しく着用

●走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。

●シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。

GSS0003

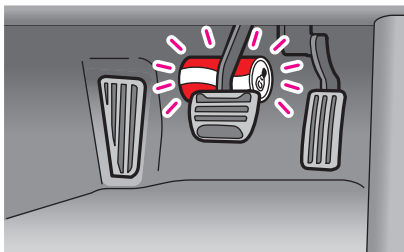
シートベルトの正しい着用…P.2-42

⚠重要です。しっかりお読みください。

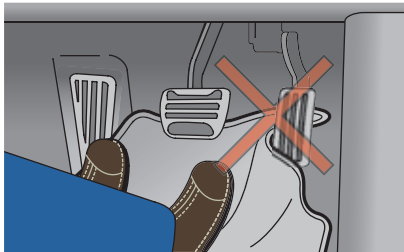
お出かけまえには

運転席足元には物を置かない

●足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。

●ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まると、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

GSS0004

車に合わないフロアカーペットは使わない

●この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

GSS0005

フロアカーペット…P.4-9

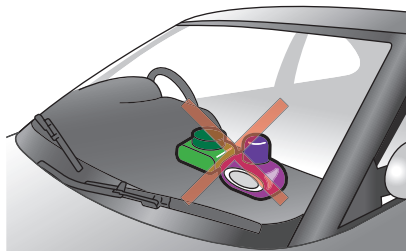
燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

●ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。

GSS0006

インストルメントパネルの上に物を置かない

●アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。SRSエアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

GSS0007

⚠重要です。しっかりお読みください。

お出かけまえには

荷物を積みすぎない

- 助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

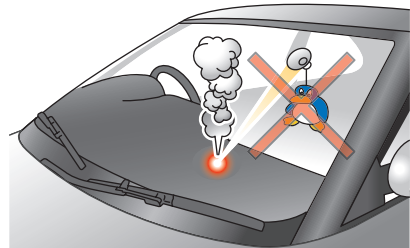
GSS0008

後部スペースには乗車しない　荷物を置かない(TRACK PACKオプション装着車)

- この車両の後部スペースには乗車しないでください。また､荷物も置かないでください。
- 後部スペースの足元にも荷物を置かないでください。

後部スペースについて…P.2-38

アクセサリーの取り付けに注意

- ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

GSS0009

⚠重要です。しっかりお読みください。

お子さまを乗せるときは

お子さまは後席に（TRACK PACKオプション装着車を除く）

●助手席に乗せるのは避けてください。お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用

●お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず重大な傷害を受けるおそれがあります。
シートベルトの着用のしかた･･･P.2-42

チャイルドシートは後席に（TRACK PACKオプション装着車を除く）

●チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。
本車両には、チャイルドシートをシートベルトで取り付けることができません。チャイルドシートを取り付けるときは、必ずISO FIX対応チャイルドセーフティシートを使用してください。
固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
●チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、荷室などに収納してください。室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。

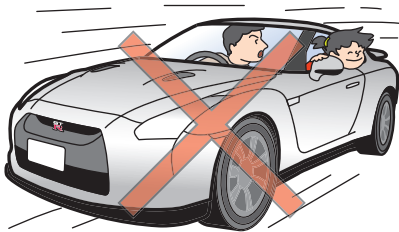
⚠重要です。しっかりお読みください。

お子さまを乗せるときは

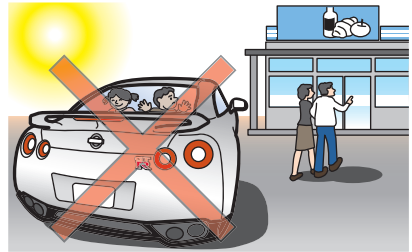
ドア、ウインドーなどは大人が操作

- ドア、ウインドー、トランクなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- パワーウインドーロックスイッチ（P.2-31）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。
- お子さまがトランクで遊んで、自らが閉じ込められてしまうと、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまが車のまわりにいるときは、トランクに入り込まないように注意してください。

窓から手や顔を出さない

- お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

GSS0038

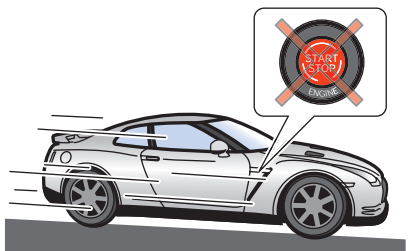
車内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまを一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

GSS0012

⚠重要です。しっかりお読みください。

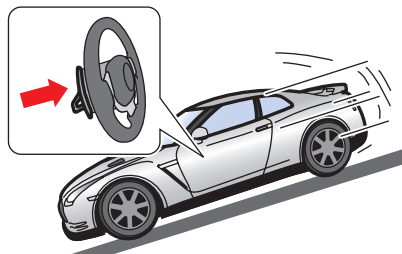
走行するときは

走行中はエンジンを止めない

- エンジンが止まると、極度にハンドル操作力が重くなったり、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、極度にブレーキの効きが悪かったり、ハンドル操作力が重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

GSS0014

長い下り坂ではエンジンブレーキを併用

- ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。（エンジンブレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）
- 坂の勾配に合わせてMレンジで適切なエンジンブレーキが得られるギヤを選択します。

下り坂の走行…P.3-70
Mレンジの使いかた…P.3-66

GSS0015

⚠重要です。しっかりお読みください。

走行するときは

雨天時の走行は速度を落とす

●路面がぬれると滑りやすくなります。
通常より注意して安全運転に心がけてください。

●わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。

●冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。

GSS0039

タイヤを傷つける運転をしない

●道路の縁石などにタイヤの側面を接触させたり、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけたり、タイヤ空気圧センサーを破損させるおそれがあります。
タイヤについて…P.5-20

水たまり走行後はブレーキの効きを確認

●水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。

●効きが悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。

GSS0017

滑りやすい路面を走行するときは慎重に

●ぬれた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。

●急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。
タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。

GSS0040

⚠重要です。しっかりお読みください。

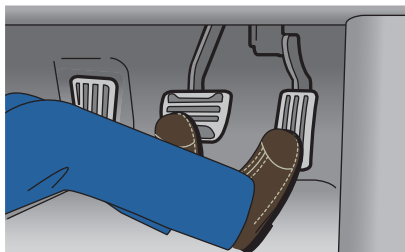
走行するときは

横風が強いときは

●横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落としてください。

●トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。

ペダルに足をのせたままにしない

●ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

GSS0019

走行中は電話をしない

●運転しながらのハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

GSS0013

走行中に異常があったら

●警告灯（P.3-18、3-19）が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、あわてずにハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。
この車両にはランフラットタイヤが装備されており、パンク時も応急用として一時的に走行することができますが、急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくなり危険です。

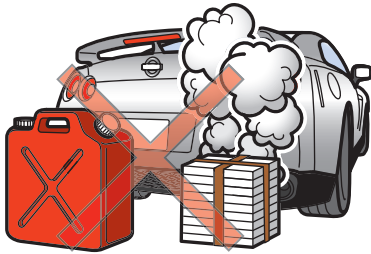
パンクしたときは…P.6-29
タイヤについて…P.5-20

●床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に連絡してください。
また、タイヤやサスペンションに強い衝撃を受けたとき、損傷がない場合でもアライメントが規定値から外れている可能性があるため、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場へ連絡してください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

駐・停車するときは

燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない

●枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。

GSS0020

車から離れるときは必ずエンジンを止め施錠する

●無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPに入れてからエンジンを止めて施錠してください。

●お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしたり、貴重品を置いたままにしないでください。

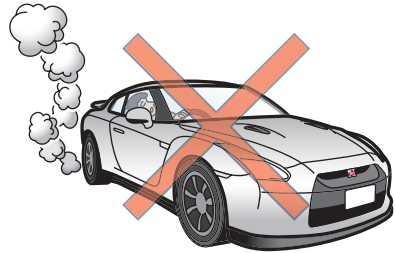
●坂道駐車はパーキングブレーキを確実にかけ、シフトレバーをPに入れてください。さらにタイヤに輪止めをすると効果があります。

●ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。
ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合については以下をお読みください。
NCCBパッケージ装着車…P.1-31
NCCBパッケージ装着車を除く…P.1-33

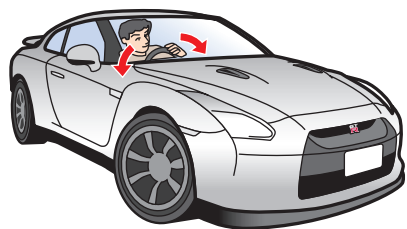
仮眠や長時間駐車するときは必ずエンジンを止める

●無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

●以下の状況ではエンジンをかけたままにしないでください。一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
・雪が積もった場所や降雪時
・壁などに囲まれた換気の悪い場所
・他車の排気口が近くにあるとき

●この車両はエンジン回転中、エンジンからトランスミッションに動力を伝えるプロペラシャフトが常時回転しています。車両の下にもぐりこむなどした場合、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

GSS0041

ハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けない

●車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

GSS0042

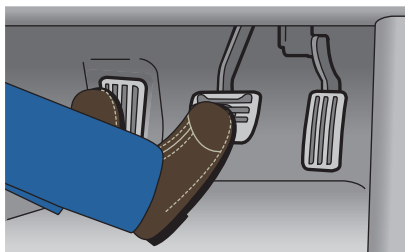
⚠重要です。しっかりお読みください。

運転するときは

この車両にはデュアルクラッチトランスミッションを搭載しており、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

詳しくは、「GT-R特別項目（P.1-2）」及び「運転のしかた（P.3-68）」も合わせてお読みください。

この車両の特徴

●マニュアルトランスミッションのクラッチ操作と変速操作を自動制御するデュアルクラッチトランスミッションを搭載しているため、シフトレバーがP又はN以外のときはブレーキペダルを離すと、発進準備のためマニュアル車の半クラッチのような状態となり、車両がゆっくりと動き出します。（状況によっては動かない場合もあります。）停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

GSS0023

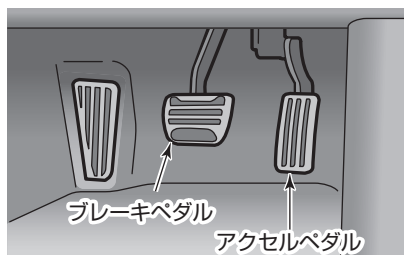
キックダウンは適切に

●Aレンジで走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、エンジン回転数が上がって、自動的に1段ずつ低速ギヤに切り替わり急加速します。（これをキックダウンといいます。）

●滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペダルの位置を確認

●ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。エンジンをかける前に必ずペダルの位置を確認してください。

●アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。

GSS0024

シフトレバーの操作は正しく確実に

●発進時はブレーキペダルを踏んでシフトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。

●後退したあとは、すぐシフトレバーをRからP又はNに戻す習慣をつけてください。

シフトレバーの使いかた…P.3-62

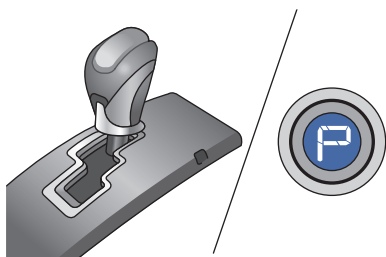
●始動直後に、車両情報ディスプレイに「トランスミッションシステムチェック中」と表示されているときは、Pからシフトレバーが動かせません。
これはトランスミッションシステムの正常作動を確認している状態であり、異常ではありません。
車両情報ディスプレイの表示が消えてから操作してください。

●車両が停止する前にRからA↔M又はA↔MからRにシフトレバーを切り替えると、変速が遅れたり変速できない場合があります。必ずブレーキペダルを踏んで車両が確実に停止していることを確認してから操作してください。

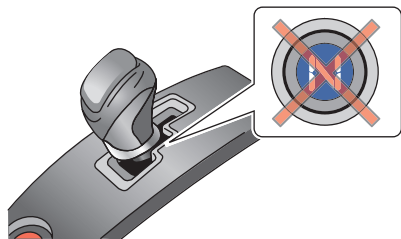
⚠重要です。しっかりお読みください。

運転するときは

シフトレバー位置は目で確認

●エンジンをかけるときはP、前進するときはA↔M、後退させるときはRにあることを目で確認してください。また、メーター内のポジションインジケーターも合わせて確認してください。

GSS0025

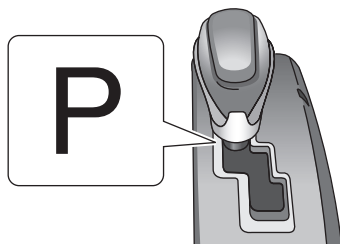
走行中はNにしない

●走行中にシフトレバーをNにすると、エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。

GSS0026

無用な空吹かしはしない

●万一、シフトレバーがP、N以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときはPにする

●エンジンがかかったまま、シフトレバーがP、N以外に入っていると、誤ってアクセルペダルを踏み込むなどしたときに、急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

GSS0027

シフトロックシステム

よく理解して正しく操作してください。

●電源ポジションがONでブレーキペダルを踏んでいないとロック装置が作動し、Pからシフトレバーを動かすことができません。

●シフトレバーをPに入れないと、電源ポジションがLOCKになりません。

●シフトレバーのボタンを押した後にブレーキペダルを踏むと、シフトレバーを動かすことができません。
必ずブレーキペダルを先に踏んでから、シフトレバーのボタンを押してシフトレバーを動かしてください。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

⚠重要です。しっかりお読みください。

こんなことにも注意

環境保護のために経済的な運転を

自然環境保護に配慮して運転してください。

●**長時間停車するときはエンジンを止める**

人待ちや荷降ろしなどで駐·停車するときは、エンジンのかけっぱなしをやめましょう。

●**経済速度で走行する**

一般道路なら時速40km程度、高速道路なら時速80km程度が経済的です。

●**SAVEモードを上手に使用する**

スポーツ走行以外では、燃費向上や運転時の疲労を低減できるSAVEモードでの走行を推奨します。

セットアップスイッチ…P.3-73

●**点検・整備をきちんとし、タイヤの内圧を適正にする**

●**無駄な荷物を積まない**

車のエンジンは荷物の重さに敏感です。

●**無駄な空吹かしをやめる**

●**急発進、急加速、急ブレーキをやめ、適切な車間距離をとる**

●**エアコンの使用を控えめにする**

エアコン使用時はエンジンの回転数が高くなるため、結果として燃料の使用量が増加します。まめに適正な温度に調節することが重要です。

●**使用済部品は適切に処理する**

使用済みのバッテリーやタイヤなどの部品を廃棄するときは、購入した販売店に処分を依頼してください。

エンジンオイルなどの廃液やエアコンの冷媒（フロンガス）も必ず適切な処理をしてください。

炎天下で駐車するときは

●炎天下で駐車するときは車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ガスライターにも注意

●操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

工具や布などの置き忘れに注意

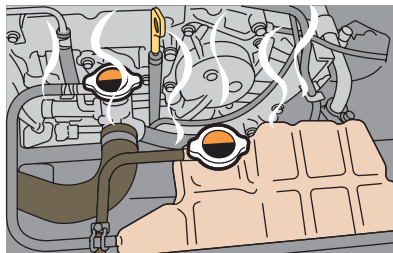
●点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

●ラジエーターや加圧式ラジエーターリザーバータンクが熱いときはキャップを外さないでください。

蒸気や熱湯が噴き出し危険です。

●冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。

GSS0028

⚠重要です。しっかりお読みください。

こんなことにも注意

路面の干渉に注意

●この車両は路面との間隔が狭いため、段差の大きい場所や縁石などに特に注意してください。フロントスポイラーが路面や縁石に干渉してフロントバンパーが変形し、フェンダー部と擦れることにより、塗装が削れる場合があります。また、ディフューザーが路面と干渉して破損するおそれがあります。

違法改造はしない

●車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。正常な性能を発揮できなかったり、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

●日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。

GSS0029

●次のような場合にはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

・**タイヤ、ロードホイールの交換**
指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。

・**電装品、無線機などの取り付け**
適切でない電装品や無線機などを取り付けないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼしたり、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。
（詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場へご相談ください。）

・**ハンドルの取り外しや交換**
ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

冷却水に添加剤などを入れない

●冷却水には、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤を入れないでください。冷却装置に悪影響を及ぼし、車両故障につながるおそれがあります。

●冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

⚠重要です。しっかりお読みください。

こんなときは異常ではありません

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる

●ヘッドランプ、制動灯などの外装ランプは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。これはランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露するためで、冬場に窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。
また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。
ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

エンジン停止後も冷却ファンが回る

●スポーツ走行後などで、エンジンを停止した後も約2分間冷却ファンが作動することがあります。これはエンジンルーム各部の冷却のためで、異常ではありません。
エンジンの停止のしかた…P.3-59

⚠重要です。しっかりお読みください。

イベントデータレコーダ

車両データの記録・蓄積について

●この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはEDR（イベントデータレコーダ）機能を備えています。
以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、EDRで車両が衝突したときや、ある一定の期間の車両データを記録・蓄積しています。

SRSエアバッグシステム

●SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。
・エアバッグシステムの作動に関する情報
・エアバッグシステムの故障診断情報

ポップアップエンジンフード

●ポップアップエンジンフードが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。
・車両速度
・ポップアップエンジンフードの作動に関する情報
・ポップアップエンジンフードの故障診断情報

データの扱いについて

●日産自動車及び日産自動車が委託した第三者は、EDRに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。
なお、日産自動車及び日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。
・車両の使用者の同意がある場合
・裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

⚠重要です。しっかりお読みください。

車両状態記録装置

車両状態の記録・蓄積について

●車両状態記録装置は、走行中、下記車両データを一定期間、記録・蓄積します。
- ・前、後輪の車輪速度などの車両走行情報
- ・エンジン回転数、過給圧などのエンジン制御情報

GT-R 機能・性能・しくみ

車両状態記録装置

●車両状態記録装置は高性能車としての品質維持、定期点検でのメンテナンス性向上を目的として、車両の運行状態を常に記録・蓄積しています。
車両状態記録装置から得られたデータを元に的確なサービスをご提供することができます。

知識

●車両状態記録装置は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの扱いについて

●日産自動車及び日産自動車が委託した第三者は、車両状態記録装置に記録されたデータを、部品交換履歴などの確認や、日産自動車の車両品質向上を目的として、取得・利用することがあります。
なお、日産自動車及び日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。
- ・車両の使用者の同意がある場合
- ・裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- ・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

2 走行する前に

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

インテリジェントキー

インテリジェントキー機能とは、インテリジェントキーを携帯することにより、キーを取り出すことなくドアの施錠・解錠やエンジンの始動が可能になる大変便利なシステムです。従来通り、リモートトコントロールエントリー機能も使えます。

⚠ 注意

インテリジェントキーは運転者が必ず携帯してください。

- エンジンの始動やドアの施錠・解錠など、車を操作するためにはなくてはならないものです。大切に保管してください。

アドバイス

- インテリジェントキーは微弱な電波を使用しています。
  次のような使用環境では機能に障害が起こるため、インテリジェントキー機能やリモートトコントロールエントリー機能が正常に作動しない場合があります。その場合には、メカニカルキーを使って操作を行ってください。
  - ・近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき。
  - ・無線機や携帯電話などの無線通信機器を一緒に携帯しているとき。
  - ・インテリジェントキーが金属性のものに接したり、覆われたりしているとき。
  - ・近くで電波式リモートコントロールエントリーを使用しているとき。
  - ・インテリジェントキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき。
  - ・コインパーキングに駐車したとき。（車両検出用の電波の影響があるため）
  - ・近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき。
  - ・極端に気温が低いとき。（電池の性能が低下するため）
- インテリジェントキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。（P. 2-10）
- インテリジェントキーをテレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。
  電池を著しく消耗することがあります。
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、インテリジェントキーをキースロットに挿入し、エンジンを始動してください。（P.3-60）
- この車両は電気的にステアリングロックを制御しているため、電源ポジションがLOCKのときにバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除が行えなくなります。（キースロットにインテリジェントキーを挿入してもステアリングロックは解除できません。）バッテリーあがりには特に注意してください。
- 万一バッテリーがあがったときは、すみやかにバッテリーを充電してください。（P.6-10）

インテリジェントキー機能について

アドバイス

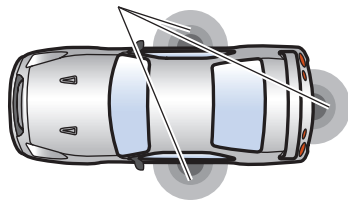
カーアラーム★（侵入センサー・傾斜センサー付車）

- 車内に人やペットがいるときにインテリジェントキー機能（P.2-3）又はリモートコントロールエントリー機能（P.2-8）で施錠すると、侵入センサーが異常を検知しアラームが作動します。
人やペットが車内にいる状態で施錠したい場合は、侵入センサー、傾斜センサー機能をキャンセル（P.2-21）してください。

車内及び車外の作動範囲内でインテリジェントキーを携帯しているときに操作できます。

■ドア施錠・解錠、及びトランク解錠の作動範囲

- 作動範囲は、各リクエストスイッチから周囲約80cm以内です。
ドアの施錠・解錠…P.2-12
トランクの解錠…P.2-22

作動範囲（各リクエストスイッチから周囲約80cm以内）

GIC0001

アドバイス

- 車両（窓ガラスやドアハンドル、リヤバンパーなど）に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 作動範囲は各リクエストスイッチを中心に約80cmの球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。
- インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

知識

- ドアを施錠・解錠すると、燃料補給口も連動して施錠・解錠されます。

キー連動室内照明システム

- 運転席ドアを解錠すると、ルームランプが約15秒間点灯します。（P.4-3）

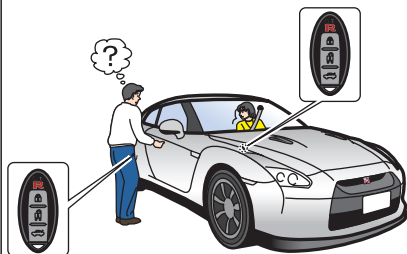
アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
- トランク解錠時に、作動確認のためのブザーが作動します。（解錠時4回）
- アンサーバック機能を停止することができます。NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

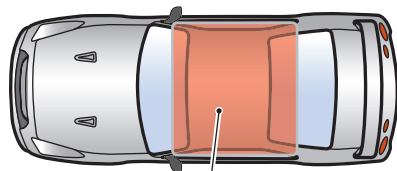
オートロック機能

- リクエストスイッチ（又はインテリジェントキーのドア解錠スイッチ）を押して、解錠後約30秒以内に以下のいずれの操作も行わなかった場合は、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
（施錠されるまでの間に、再度インテリジェントキーの解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）
・ドアを開ける。
・エンジンスイッチを押す。
・インテリジェントキーをキースロットに挿入する。

知識

- インテリジェントキーが作動範囲内にあれば、インテリジェントキーを携帯している人以外でもリクエストスイッチを押して施錠、解錠ができます。
- 自車のインテリジェントキーが車内又はトランク内にあるときは、キー封じ込み防止のため、リクエストスイッチによるドアの施錠はできません。
  施錠したいときは、以下のことを行ってください。
  ・車内又はトランク内にあるインテリジェントキーを取り出し、リクエストスイッチを押す。
  ・リモートコントロールエントリー機能（P.2-8）又はメカニカルキー機能（P.2-9）で施錠する。

GIC0106

■エンジン始動の作動範囲

作動範囲は、車両室内です。（トランク内は除きます。）

GIC0003

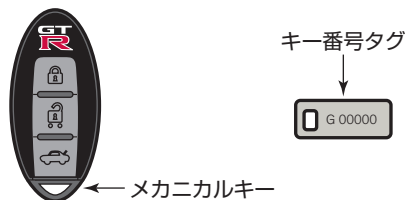
アドバイス

- インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

知識

- トランク内は作動範囲ではありませんが、エンジンの始動が可能になることがあります。
- 車内でもインストルメントパネル上、グローブボックス内、ドアポケット内、リヤパーセル上、カップホルダー、コンソールボックス内などにインテリジェントキーがあるときは、エンジンの始動ができないことがあります。
  そのときは、インテリジェントキーを運転者が携帯し、再度エンジンを始動してください。
- 車外でもドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがあります。

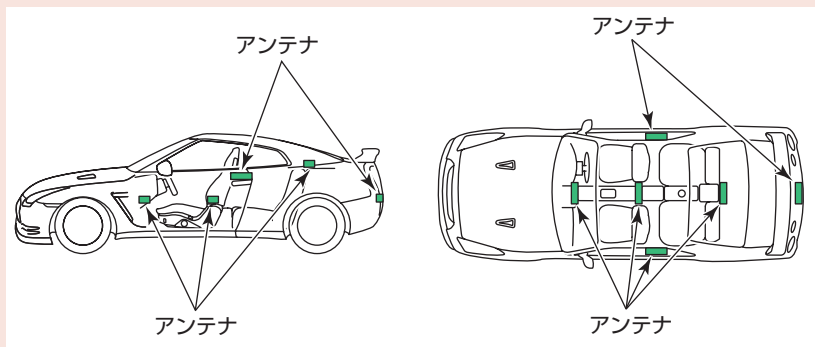
キーについて

●インテリジェントキー（メカニカルキー内蔵）が2個ついています。

GIC0004

インテリジェントキーには以下の機能があります。

・インテリジェントキー機能（P.2-3）
・リモートコントロールエントリー機能（P.2-8）
・メカニカルキー機能（P.2-9）

⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）を使用している方は、アンテナから約22cm以内の範囲に装着部位が近づかないようにしてください。ドア開閉時、トランク開閉時、各リクエストスイッチ操作時、エンジン始動時などにインテリジェントキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。

GIC0005

- 植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用している方は、インテリジェントキーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があるため、医療電気製造業者などへ影響を確認してからご使用ください。
- 詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にお問い合わせください。
- 航空機内ではインテリジェントキーのスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

アドバイス

- インテリジェントキーは送信機を内蔵している精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
  - ・長時間高温になる場所に置かない。
  - ・分解しない。
  - ・無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
  - ・水にぬらさない。
  - ・超音波洗浄器などにかけない。
  - ・磁気を帯びたキーホルダーなどを付けない。
  - ・テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない。
- インテリジェントキーはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるとき衝撃により破損するおそれがあります。またドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車内に封じ込めるおそれがあります。

知識

- インテリジェントキーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。インテリジェントキーの追加や登録は日産販売会社でもご依頼いただけます。
- インテリジェントキーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
- キー番号を打刻したタグは大切に保管してください。キー番号をNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に連絡すると購入できます。
- インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗又は故障が考えられます。NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。（電池の交換のしかた…P.2-10）

リモートコントロールエントリー機能について

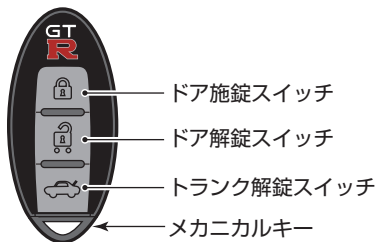
アドバイス

カーアラーム★（侵入センサー・傾斜センサー付車）

- 車内に人やペットがいるときにインテリジェントキー機能（P.2-3）又はリモートコントロールエントリー機能（P.2-8）で施錠すると、侵入センサーが異常を検知しアラームが作動します。人やペットが車内にいる状態で施錠したい場合は、侵入センサー、傾斜センサー機能をキャンセル（P.2-21）してください。

離れたところ（約1m）から全ドア及び燃料補給口の施錠･解錠、トランクの解錠ができます。

■使いかた

- 車に近づき、インテリジェントキーのスイッチを押します。
- リモートコントロールエントリー機能で施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。

GIC0006

スイッチ	作　　動
ドア施錠スイッチ	全ドア及び燃料補給口を施錠します。
ドア解錠スイッチ	全ドア及び燃料補給口を解錠します。
トランク解錠スイッチ	約1秒間押し続けるとトランクが解錠します。

知識

- ドアの施錠・解錠時にはキー連動室内照明システム、アンサーバック機能、オートロック機能が作動します。（P.2-3）
- ドア施錠スイッチを押したときに車外警報ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ったときは、ドアが施錠されていません。以下を確認し、再度施錠してください。
  - ・いずれかのドアが半ドアになっていないか。
  - ・ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していないか。

■作動しないとき

- 次のような場合は、インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しません。
  - ・電源ポジションがAcc、ONのとき。
  - ・インテリジェントキーをキースロットに挿入しているとき。
  - ・ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。（解錠のみできます。）
  - ・車から離れすぎているとき。
  - ・インテリジェントキーの電池が切れているとき。

アドバイス

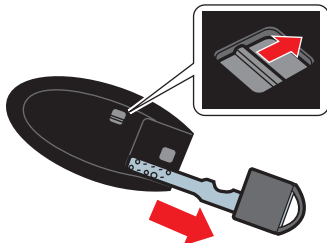
- 周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

メカニカルキー機能について

インテリジェントキーの電池が切れたときや、車両のバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。

■メカニカルキーの取り外しかた

●インテリジェントキー裏側のロックを外しながらメカニカルキーを引き抜きます。

GIC0007

※元に戻すときは、ロックが戻るまで確実に差し込みます。

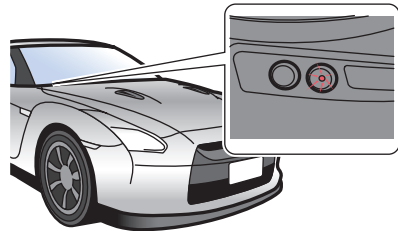
注意

- インテリジェントキーは必ずメカニカルキーを内蔵した状態で携帯してください。

メカニカルキーによる施錠・解錠…P.2-14

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、インテリジェントキーに送信機を内蔵し、あらかじめ登録されているインテリジェントキー以外でのエンジンの始動を禁止するシステムです。

●エンジンイモビライザーが働いているときは、セキュリティーインジケーターが点滅します。

GIC0107

アドバイス

- 電源ポジションをONにしたときセキュリティーインジケーターが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

知識

- インテリジェントキーに登録された信号は、インテリジェントキーごとに異なります。
- エンジンが始動できない場合は、一度電源ポジションをOFFにして、5秒以上経過してから再始動してください。
- 上記の操作を行ってもエンジンが始動できない場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

目次 警告 走行する前に 走行するとき 室内装備の使いかた 車との上手なつきあいかた 万一のとき サービスデータ さくいん

電池の交換のしかた

⚠ 警告

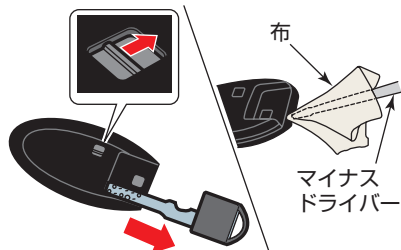
- 電池及び取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。

アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場での交換をおすすめします。

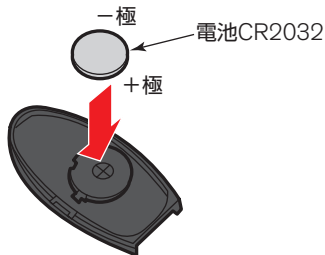
使用電池：リチウム電池CR2032

❶インテリジェントキー裏側のロックを外しながら、メカニカルキーを引き抜きます。

❷スリットにマイナスの精密ドライバーを差し込み、ひねって上下に分解させます。

GIC0008

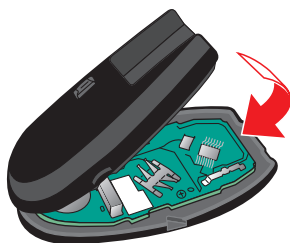
アドバイス

- 本体に傷をつけるおそれがあるため、ドライバーに布などをあてて外してください。ドライバーを奥に差し込みすぎると内部の基板を傷つけるおそれがあります。

❸古い電池を取り外し、新しい電池の＋極を下側にしてはめ込みます。

GIC0009

アドバイス

- 電池の＋極と－極は必ず正しい向きにしてはめ込んでください。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。

❹上下を組み付けます。

GIC0010

アドバイス

- 電池交換後は、インテリジェントキーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。

各部の開閉のしかた

ドア

⚠ 警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を十分確認してください。後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉めてください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずエンジンを止め施錠してください。
- ドアを開けるとパワーウインドーが少し開き、ドアを閉めると閉まります。指などを挟まないように注意してください。

アドバイス

- バッテリーがあがるとドアを閉めるときに車体と窓ガラスが干渉するおそれがあります。その場合には、ガラスを内側に倒すように力を加えながらゆっくりと閉め、車体とガラスが当たらないように注意してください。

カーアラーム★（侵入センサー・傾斜センサー付車）

- 車内に人やペットがいるときにインテリジェントキー機能（P.2-3）又はリモートコントロールエントリー機能（P.2-8）で施錠すると、侵入センサーが異常を検知しアラームが作動します。人やペットが車内にいる状態で施錠したい場合は、侵入センサー、傾斜センサー機能をキャンセル（P.2-21）してください。

知識

- この車両は、通常の車両よりもドアが若干閉まりにくいことがあります。（特に新車時）これは高速走行などで車内の密閉性向上を目的として窓ガラスが当たる部分のゴムの反力を強めているためで、異常ではありません。
- ドアハンドルを引きながら解錠しようとすると、ドアが解錠できないことがあります。一度ドアハンドルを戻すと自動的に解錠し、再度ドアハンドルを引くとドアを開けることができます。
- 運転席ドアを施錠・解錠すると、燃料補給口も連動して施錠・解錠されます。
- ドアの開閉に合わせて窓ガラスが少し下降し、ドアを閉めた後には上昇させる機構が付いています。これはドアとガラスとの密閉性を向上させるための機構で異常ではありません。

キー連動室内照明システム

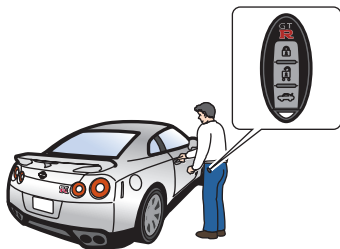
- 運転席ドアを解錠すると、ルームランプが約15秒間点灯します。（P.4-3）

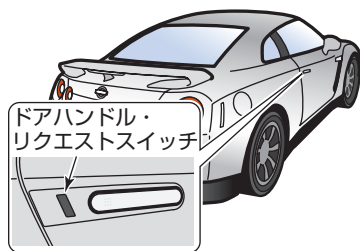
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

ドアの施錠・解錠

■インテリジェントキー機能による施錠・解錠

キーを取り出すことなく施錠や解錠ができます。

GIC0013

- インテリジェントキーを携帯しているとき、運転席ドア又は助手席ドアの施錠・解錠作動範囲内でドアハンドル・リクエストスイッチを押すと全ドアが施錠又は解錠します。
- 施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。

GIC0014

知識

- インテリジェントキーを検知しているドアハンドル・リクエストスイッチでのみ施錠・解錠を行うことができます。
- ドアの施錠・解錠時にはアンサーバック機能、オートロック機能が作動します。（P.2-3）

作動しないとき

- 次のような場合は作動しません。
  - ・電源ポジションがAcc、ONのとき。
  - ・インテリジェントキーをキースロットに挿入しているとき。
  - ・ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。
  - ・インテリジェントキーが施錠・解錠作動範囲内（P.2-3）にないとき。
  - ・携帯しているインテリジェントキー以外に自車のインテリジェントキーが車内又はトランク内にあるとき。（解錠のみできます。）
  - ・インテリジェントキーの電池が切れているとき。（P.2-10）

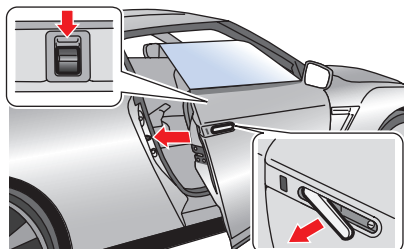
■リモートコントロールエントリー機能による施錠・解錠

- 車に近づき、インテリジェントキーのスイッチを押します。

リモートコントロールエントリー機能について…P.2-8

■キーを使わない施錠

バッテリーがあがったときや、インテリジェントキーの電池が切れたときに使います。

- 車内のロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。

GIC0017

アドバイス

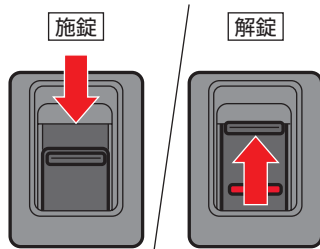
- キー封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。

キー封じ込み防止機能…P.2-26

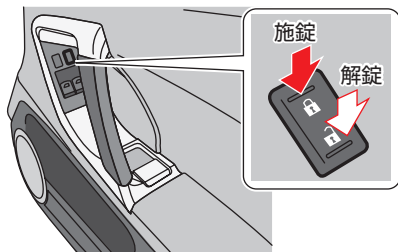
知識

- インテリジェントキーが車内にあるとき、運転席ロックノブ又はドアロックスイッチで施錠できません。
- キーを使わない施錠をすると、カーアラームはセットされません。
- キーを使わない施錠をしたときに半ドア状態になると、ドアハンドルでの開閉ができなくなる場合があります。このときはドアを押し込んで確実に閉めるか、一度解錠し、ドアを確実に閉めてから施錠し直してください。

■ロックノブによる施錠・解錠

- 車内のロックノブを押し込むと施錠し、押し上げると解錠します。
- 運転席のロックノブで施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠・解錠します。
- ドアを開けるときは、解錠後ドアハンドルを引き上げます。

GIC0018

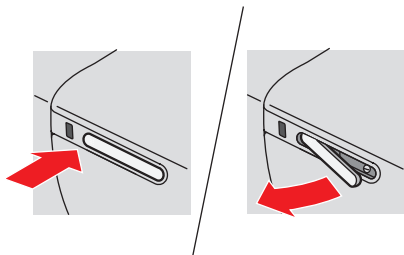
■ドアロックスイッチによる施錠・解錠

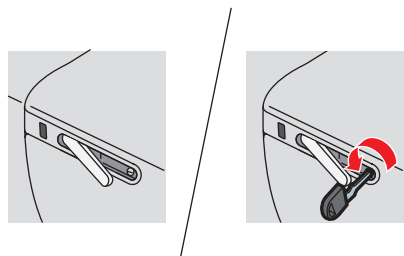
- 運転席又は助手席のドアロックスイッチを押すと、運転席及び助手席ドアの施錠・解錠ができます。

GIC0019

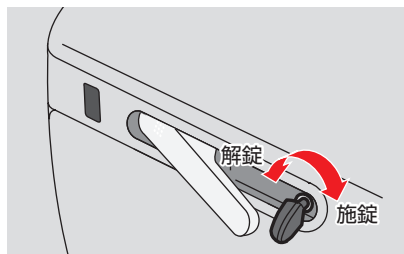
※イラストは、運転席です。

■メカニカルキーによる施錠・解錠

インテリジェントキーの電池が切れたときや、車両のバッテリーがあがったときなどのドアの施錠・解錠に使います。

❶ドアハンドルの車両後方側を押して浮かせます。

GIC0011

❷ドアハンドルを浮かせたまま、メカニカルキーでキャップを反時計まわりに回して外します。

GIC0015

❸メカニカルキーを差し込み車両前方に回すと施錠し、車両後方に回すと解錠します。

GIC0016

❹取り外したときと逆の手順でキャップを取り付けます。

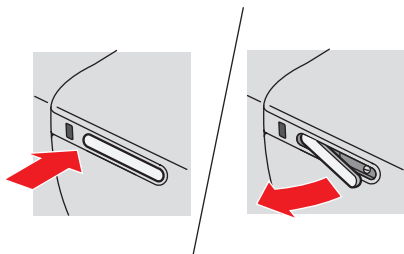
アドバイス

- キャップを外したまま走行しないでください。キー穴から水が入り故障につながるおそれがあります。
- 施錠・解錠時にドアハンドルを引きすぎないでください。引きすぎるとメカニカルキーが回せず施錠･解錠ができません。

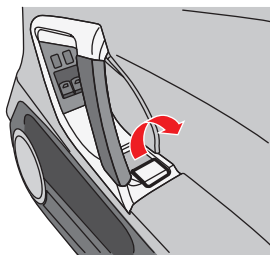
ドアの開けかた

■車外からの開けかた

❶解錠後、ドアハンドルの車両後方側を押して浮かせます。

❷ドアハンドルを手前に引きます。

GIC0011

■車内からの開けかた

●解錠後、ドアハンドルを引き上げます。

GIC0012

アドバイス

● ドアを開閉するときは、ドアポケットを持って開閉しないでください。

スーパーロック

ドアを施錠するとロックノブとドアロックの間のリンクを切り離すことによりロックノブでは解錠できなくする機構です。窓ガラスと車体とのすき間から針金などを使った不正なドアロックの解錠を防ぎます。

■施錠・解錠のしかた

●全ドアが閉まっている状態でインテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能で施錠、解錠します。

リモートコントロールエントリー機能…P.2-8

インテリジェントキー機能…P.2-3

⚠ 警告

● ドアの施錠をすると、車内からは一切ロックを解錠することができません。必ず車内に人がいないことを確認してから施錠してください。

知識

● 施錠又は解錠すると、ドアから“ガチャガチャ”と2回作動音がします。これはロックノブとドアロックの間のリンクを切り離す音でスーパーロック特有の作動音です。

● 以下の方法で施錠したときは、スーパーロック機能は作動しません。
- ・車内のロックノブ又はドアロックスイッチによる施錠。
- ・車外からのメカニカルキーによる施錠。

カーアラーム

アドバイス

カーアラーム★（侵入センサー・傾斜センサー付車）

- 車内に人やペットがいるときにインテリジェントキー機能（P.2-3）又はリモートコントロールエントリー機能（P.2-8）で施錠すると、侵入センサーが異常を検知しアラームが作動します。
人やペットが車内にいる状態で施錠したい場合は、侵入センサー、傾斜センサー機能をキャンセル（P.2-21）してください。

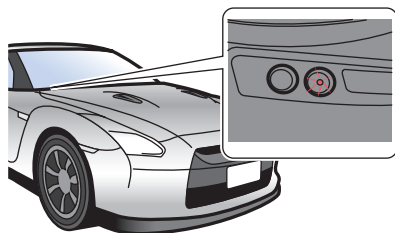
カーアラーム★（侵入センサー・傾斜センサー無車）

ドア、トランクが不正な方法で解錠されたり、エンジンフードを開けられたときに周囲に異常を知らせるシステムです。

■セットのしかた

1. 全ての窓ガラスを閉めた後、電源ポジションをLOCKにし、全ドア、トランク、エンジンフードを閉めます。
2. インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能で施錠します。
   - ・準備状態になりセキュリティーインジケーターが点滅から点灯に変わります。

GIC0107

知識

- メカニカルキーで施錠した場合、カーアラームはセットされません。

- 約30秒経過すると、自動的にセット状態になります。
  - ・セキュリティーインジケーターが点灯から点滅に変わります。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態や、窓ガラスが開いた状態でもシステムは作動します。システム本来の目的以外の作動はまわりの迷惑となりますので作動させないでください。

知識

- 準備状態のときに以下の操作を行うと、準備状態を解除します。
  - ・インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能でドア又はトランクを解錠したとき。
  - ・ドアを開けたとき。
  - ・電源ポジションをAcc又はONにしたとき。
- セット状態のときに以下の操作を行うと、セット状態を解除します。
  - ・ドア又はトランクをインテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能で解錠したとき。
  - ・電源ポジションをAcc又はONにしたとき。

■アラームの作動

- 不正な行為が行われると、30秒間ホーンを鳴らすとともに非常点滅表示灯を点滅させ、周囲に異常を知らせます。
- 以下の不正な行為が行われると、盗難のおそれがあると判断し作動します。
  - ・インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能以外の方法でドア又はトランクを解錠する。
  - ・エンジンフードを開ける。
  - ・バッテリーを外し、再度取り付ける。

知識

- メカニカルキーでドアを解錠した場合は、約6秒後にカーアラームが作動します。

■アラームを停止するには

- アラーム作動中に以下の操作を行うと、停止します。
  - ・インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能で解錠する。
  - ・電源ポジションをAcc又はONにする。

知識

- インテリジェントキーの電池が切れているときは、キースロットにインテリジェントキーを挿入して電源ポジションを切り替えてください。

- 約30秒経過し、アラーム作動が終了すると、再びセット状態になります。

カーアラーム★（侵入センサー・傾斜センサー付車）

カーアラームがセットされているときに、以下の異常を検知した場合に周囲に異常を知らせるシステムです。

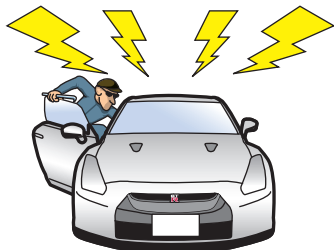
- ・ドア又はトランクを不正な方法で解錠されたとき。
- ・エンジンフードを開けたとき。
- ・侵入センサーにより、車内への侵入を検知したとき。
- ・傾斜センサーにより、車両の傾きを検知したとき。

知識

- 侵入センサーと傾斜センサーの機能をキャンセルしてカーアラームをセットすることができます。

侵入センサー、傾斜センサー機能のキャンセルのしかた…P.2-21

侵入センサー

車内への不正な侵入を超音波によって監視します。

GIC0108

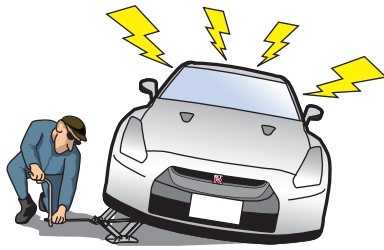
アドバイス

- センサー部を触ったり押したりしないでください。故障するおそれがあります。
- センサーを覆い隠さないでください。異常を検知できなくなります。

知識

- ペットなどでもセンサーが異常を検知します。

傾斜センサー

車両の傾きをセンサーで検知し、車両の盗難を監視します。

GIC0109

知識

- カーフェリーや機械式駐車場などに駐車すると、カーアラームが作動する場合があります。その場合は、機能をキャンセルしてカーアラームをセットしてください。

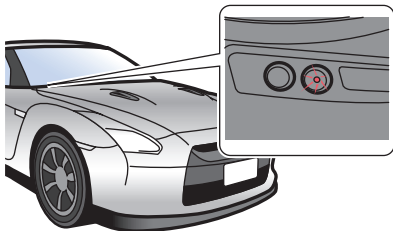
侵入センサー、傾斜センサーのキャンセルのしかた…P.2-21

■セットのしかた

侵入センサーと傾斜センサーの機能をキャンセルしてカーアラームをセットする場合は、侵入センサー、傾斜センサーのキャンセルのしかた（P.2-21）をお読みください。

1. 全ての窓ガラスを閉めた後、電源ポジションをLOCKにし、全ドア、トランク、エンジンフードを閉めます。
2. インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能で施錠します。
   ・準備状態になりセキュリティーインジケーターが点滅から速い点滅に変わります。

GIC0107

知識

- メカニカルキーで施錠した場合、カーアラームはセットされません。
- 準備状態のときにインテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能でトランクを開けると、速い点滅からやや速い点滅（1秒間に3回）に変わります。トランクを閉めるとアラームがセットされます。
- インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能でドアを施錠したときにトランク又はエンジンフードが開いていると、セキュリティーインジケーターがやや速い点滅（1秒間に3回）を開始します。トランク又はエンジンフードを閉めるとアラームがセットされます。
- システム異常時は、施錠後、約2秒後に警報音が5回鳴ります。
  異常がある場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

- 約20秒経過すると、自動的にセット状態になります。
  ・セキュリティーインジケーターが速い点滅から点滅に変わります。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態や、窓ガラスが開いた状態でもシステムは作動します。システム本来の目的以外の作動はまわりの迷惑となりますので作動させないでください。

知識

- 準備状態のときに以下の操作を行うと、準備状態を解除します。
  ・ドア又はトランクをリモートコントロールエントリー機能で解錠したとき。
  ・エンジンフードを開けたとき。
  ・電源ポジションをAcc又はONにしたとき。
- トランク又はエンジンフードを開けて準備状態が解除されても再度閉めると、準備状態に戻ります。
- メカニカルキーで解錠しドアを開けても準備状態は解除されません。
- セット状態のときに以下の操作を行うと、セット状態を解除します。
  ・ドアをインテリジェントキー機能又はリモートコントロール機能で解錠する。
  ・電源ポジションをAcc又はONにする。
- セット状態のときにトランクをインテリジェントキー機能又はリモートコントロール機能で解錠すると、一時的にセット状態を解除しますがトランクを閉めると再びセット状態になります。

■アラームの作動

- 不正な行為が行われると、約30秒間サイレンを鳴らすとともに非常点滅表示灯を点滅させ、周囲に異常を知らせます。
- 以下の不正な行為が行われると、盗難のおそれがあると判断し作動します。
  - ・インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能以外の方法でドア又はトランクを解錠する。
  - ・エンジンフードを開ける。
  - ・バッテリーを外す。
  - ・車内へ侵入する。（キャンセル時を除く）
  - ・車両を傾ける。（キャンセル時を除く）

知識

- カーフェリーや機械式駐車場などに駐車すると、カーアラームが作動する場合があります。その場合は、機能をキャンセルしてカーアラームをセットしてください。

侵入センサー、傾斜センサーのキャンセルのしかた…P.2-21

■カーアラームの作動を停止するには

- 作動中に以下の操作を行うと、作動を停止します。
  - ・インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能でドアを解錠する。
  - ・電源ポジションをAcc又はONにする。

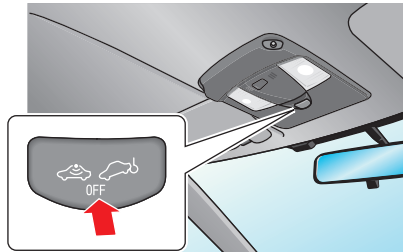
知識

- インテリジェントキーの電池が切れているときは、キースロットにインテリジェントキーを挿入して電源ポジションを切り替えてください。

- 約30秒経過し、カーアラーム作動が終了すると、再びセット状態になります。

■侵入センサー、傾斜センサー機能のキャンセルのしかた

●カーフェリーや機械式駐車場などで誤作動させたくないときに使います。

❶全ての窓ガラスを閉めた後、電源ポジションをLOCKにし、キャンセルスイッチを押します。
・セキュリティーインジケーターがやや速い点滅（1秒間に3回）に変わります。

GIC0110

❷全ドア、トランク、エンジンフードを閉めます。

❸インテリジェントキー機能又はリモートコントロールエントリー機能で施錠します。
・準備状態になりセキュリティーインジケーターがやや速い点滅（1秒間に約3回）から速い点滅に変わり、キャンセルを知らせるサイレンが1回鳴ります。

●約20秒経過すると、自動的にセット状態になります。
・セキュリティーインジケーターが速い点滅から点滅に変わります。

知識

- ❸までの操作を5分以内に操作しないとキャンセルされません。
- メカニカルキーで施錠した場合は、カーアラームがセットされません。
- カーアラームのセットを解除すると、侵入センサー及び傾斜センサーの機能のキャンセル設定も解除されます。
- 侵入センサー又は傾斜センサーは別々に常時設定をキャンセルすることができます。詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

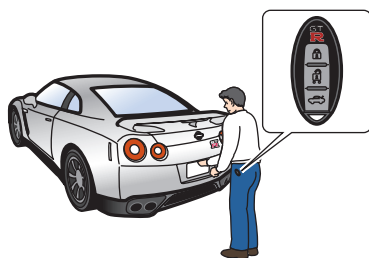
トランク

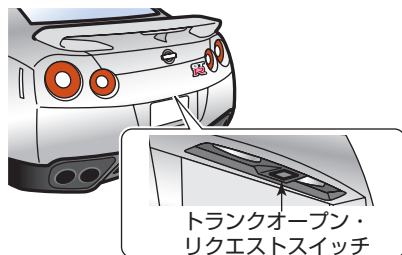
⚠ 警告

- トランクの中に人は乗らないでください。閉じ込められると、中から開けられません。お子さまが入らないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 走行前に、トランクが確実に閉まっていることを必ず確認してください。トランクを開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

解錠のしかた

■インテリジェントキー機能による解錠

キーを取り出すことなくトランクの解錠ができます。

GIC0021

- 作動範囲内でトランクオープン・リクエストスイッチを押すとトランクが解錠します。

GIC0022

作動しないとき

- 次のような場合は作動しません。
  - ・インテリジェントキーが解錠作動範囲内（P.2-3）にないとき。
  - ・インテリジェントキーの電池が切れているとき。（P.2-10）

アドバイス

- インテリジェントキーの車内封じ込み防止のため、トランクを閉めるときは必ずインテリジェントキーを携帯していることを確認してください。
  キー封じ込み防止機能…P.2-26

知識

- トランクの解錠作動範囲内にインテリジェントキーがあるときのみ、トランクを解錠することができます。
- トランクの解錠時にはアンサーバック機能（P.2-3）が作動します。
- インテリジェントキーをトランク内に封じ込めてしまった場合、トランクは施錠されずに開きます。
  キー封じ込み防止機能…P.2-26
- インテリジェントキーがトランクに近づきすぎている場合は、トランクの解錠ができないことがあります。

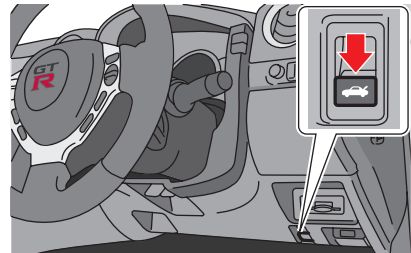
■リモートコントロールエントリー機能による解錠

- トランクに近づき、インテリジェントキーのスイッチを約1秒間押し続けます。
  リモートコントロールエントリー機能について…P.2-8

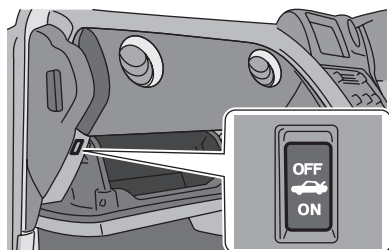
■トランクオープナースイッチによる解錠

- トランクオープナースイッチを下方に押すと解錠します。

GIC0023

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

■トランクオープナーのキャンセルのしかた

●グローブボックス内にあるスイッチのOFF側を押すと、インテリジェントキー機能及びリモートコントロールエントリー機能、トランクオープナースイッチでは解錠できなくなります。

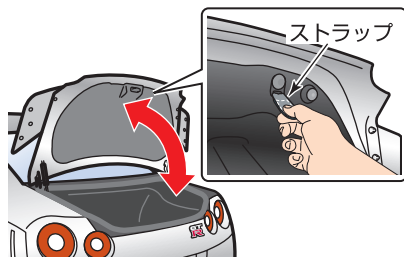
●ON側を押すと、インテリジェントキー機能及びリモートコントロールエントリー機能、トランクオープナースイッチが使えます。

GIC0024

知識

- 駐車場などで車を預けるときは、スイッチをOFFにし、グローブボックスを施錠してメカニカルキーを抜いた状態のインテリジェントキーを預けます。

開閉のしかた

●開けるときは、解錠後トランクリッドを持ち上げ、全開にします。

●閉めるときは、トランクリッドが確実にロックするまで押し付けます。トランクリッドが汚れているときはストラップをご利用ください。

GIC0111

注意

- トランクリッドは必ず全開してください。途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときに開けると、風にあおられ急に閉まることがありますので特に注意してください。
- トランクを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。
- トランクの開閉をするときは、リヤスポイラーを持たずに開閉をしてください。リヤスポイラーを破損するおそれがあります。

アドバイス

- キーをトランク内に置き忘れないでください。

知識

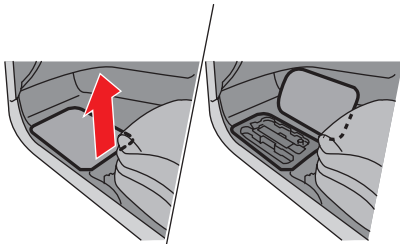
- この車両のトランクは通常の車両よりも若干閉まりにくくなっています。(特に新車時) これはスポーツ走行時などにリヤスポイラーにかかる高荷重に対応するためにトランクの剛性をあげているためで、異常ではありません。確実にロックしていることを確認してください。

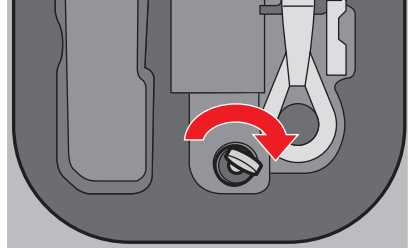
トランクが開けられなくなったとき

- バッテリーあがりなどによりトランクを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。助手席足元にある緊急用オープナーで開けることができます。

❶ドアが施錠されている場合は、ドアを解錠します。

メカニカルキーによる施錠・解錠…P.2-14

❷助手席足元のボードを取り外します。

GIC0026

❸メカニカルキーを緊急オープナーに差し込み、時計まわりに止まる位置まで回します。

GIC0027

知識

- スポーツ走行時などにリヤスポイラーにかかる高荷重に対応するためにトランクの剛性をあげているため、メカニカルキーでの操作力が重くなっています。(特に新車時) 時計まわりに止まる位置まで確実に回してください。

キー封じ込み防止機能

インテリジェントキーを車内又はトランク内に入れたまま施錠することを防ぐ機能です。

アドバイス

- 次のような場所に置いているときは、キー封じ込み防止機能が作動しないことがあります。
  - ・インストルメントパネル上
  - ・グローブボックス内
  - ・ドアポケット内
  - ・リヤパーセルの上
  - ・トランク内側の端
  - ・金属製のバッグの中
  - ・金属製のものの近く
- 周囲の電波環境によってはキー封じ込み防止機能が作動しないことがあります。
- インテリジェントキーが車外にあっても、車両（ドアや窓ガラス、トランク、リヤバンパーなど)に近づけすぎた場合、キー封じ込み防止機能が作動することがあります。

- インテリジェントキーが車内又はトランク内にあるとき
  ⇒運転席ドアを開けた状態での運転席のロックノブ又はドアロックスイッチによる施錠ができません。（施錠後、すぐに全ドアが解錠されます。）

- ドアを開けた状態で運転席のロックノブ又はドアロックスイッチにより全ドアを施錠し、インテリジェントキーを車内又はトランク内に入れてしまったとき
  ⇒全ドアを閉めると、車外警報ブザーが“ピピピピ…”と鳴り、全ドアが解錠されます。

知識

- 車外警報ブザーは約3秒後に停止します。

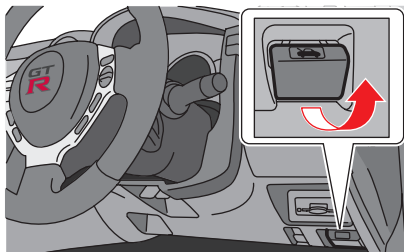
●全ドアが施錠されているときに、インテリジェントキーをトランク内又は車内に入れてしまったとき
⇒トランクを閉めると、車外警報ブザーが“ピー”と鳴り、トランクが解錠されます。

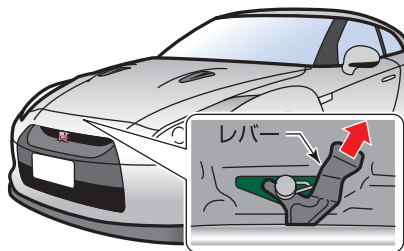
知識

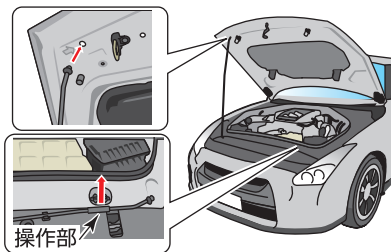
- オートロック機能が作動しているときに、インテリジェントキーをトランク内又は車内に入れ、トランクを閉めた場合でも封じ込み防止機能は作動します。
- 車外警報ブザーは約10秒後に停止します。
- 車外警報ブザーが鳴っているときに以下の操作を行うと車外警報ブザーは停止します。
  - ・トランク内に封じ込めたインテリジェントキーを取り出し、再度トランクを閉めたとき。
  - ・いずれかのドアを開けたとき。
  - ・インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押してドアを施錠したとき。
  - ・インテリジェントキーのドア解錠スイッチを押してドアを解錠したとき。
  - ・リクエストスイッチを押してドアを解錠したとき。

エンジンフード

■開けかた

❶運転席右下にあるオープナーを引きます。
ロックが外れ、エンジンフードの先端が少し浮き上がります。

GIC0028

❷エンジンフード先端のすき間に手を入れ、レバーを押し上げながらエンジンフードを持ち上げます。

GIC0112

❸ステーの操作部を持ってフックから外し、エンジンフードの穴に確実に差し込みます。

GIC0113

⚠ 警告

- ポップアップエンジンフードが作動したときは、フードオープナーを引かないでください。
また、フード後端を無理に押し戻さないでください。作動したフードは手動では下げることができないため、フードが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。
ポップアップエンジンフードが作動したときは、必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

⚠ 注意

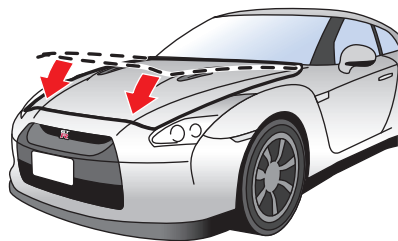
- 風が強いときに開けると、風にあおられますので、しっかり持ってゆっくり開けてください。
- ステーを持つときは、必ず操作部を持ってください。エンジン停止後は、ステーが高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- エンジンフードを開けたときは、フードに頭などをぶつけないように注意してください。
- エンジンがかかっているとき、エンジンルーム内に手、衣服、工具などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。
- エンジン停止直後は、排気系部品、ラジエーターなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままエンジンフードを開けないでください。エンジンフードやワイパーを損傷します。

■閉めかた

❶エンジンフードを支えながらステーを持って穴から外し、フックに固定します。

❷エンジンフードをゆっくり降ろして30cm以上の高さからエンジンフードを落とし、フード両側を確実にロックさせます。

GIC0114

⚠ 警告

- 走行前に、エンジンフードが確実に閉まっていることを必ず確認してください。両側ともロックされていないと、走行中エンジンフードが開いて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンフードを閉めるときは、手などを挟まないようにゆっくり降ろしてください。

アドバイス

- この車両は、従来の車に比べ、フードを閉め付ける力を強めているため、下に降ろしてから押し付ける方法では閉めにくくなっています。必ず30cm以上の高さからフードを落としてフード両側を確実にロックさせてください。

パワーウインドー

電源ポジションがONのとき操作できます。

警告

- 走行中は顔や手、物などを車外に出さないでください。車外のものに当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 窓ガラスを閉めるときは、手や首などを挟まないよう注意してください。
- お子さまを乗せているときは、パワーウインドーロックスイッチを押し込み、操作させないようにしてください。重大な傷害につながるおそれがあります。

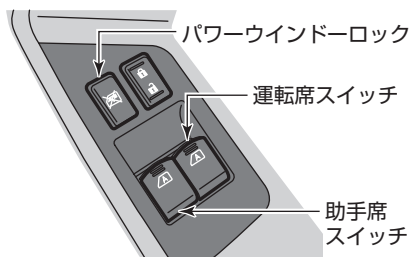
知識

- 運転席のパワーウインドーロックスイッチが押し込まれているときは、助手席窓ガラスの操作ができません。
- ドアの開閉に合わせて窓ガラスが少し下降し、ドアを閉めたあとには上昇させる機構が付いています。これはドアとガラスとの密閉性を向上させるための機構で異常ではありません。

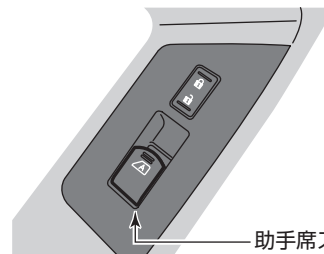
キーOFF後作動機構

- 窓ガラスは電源ポジションをAcc又はOFFにしたあとでも、約45秒間は開閉することができます。ただし、ドアが開いてるとき、又はドアを開けると、窓ガラスの開閉はできなくなります。

運転席

運転席のスイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。

GIC0104

助手席

助手席のスイッチで助手席窓ガラスの開閉ができます。

GIC0032

■開閉のしかた

- スイッチを押している間、開きます。
- スイッチを引き上げている間、閉まります。

■ワンタッチ開閉のしかた

ワンタッチで開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。

■挟み込み防止機構

- 窓ガラスを自動で閉めているときやキーOFF後作動機構で閉めているときに、車体と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると作動することがあります。

⚠注意

- 窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないよう注意してください。

アドバイス

- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

■パワーウインドーのロックのしかた

- パワーウインドーロックスイッチを押し込むと、助手席窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すと開閉できます。

スイッチ位置	作　　動
ON	ロックされます。
OFF	ロックが解除されます。

■正常に作動しないとき

バッテリーを外すと、窓ガラスの自動開閉操作、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないことがあります。
以下の操作を行い、運転席と助手席のパワーウインドーをそれぞれ初期設定してください。

※ドアを閉めて操作します。

1. 電源ポジションをONにします。
2. 運転席スイッチを押し、運転席窓ガラスを全開にします。（すでに全開しているときは、操作する必要はありません。）
3. 運転席スイッチを引き上げ続け、運転席窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
4. 助手席スイッチで❷、❸と同様の操作を行います。（運転席、助手席どちらでも操作できます。）
5. 正常に作動することを確認します。

・正常に作動しないときは、再度上記の操作を行ってください。

アドバイス

- 上記の操作で作動できない場合は、早めにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

燃料補給口

燃料補給口は運転席側の車両後方にあります。

警告

- 燃料補給時は、以下のことを必ずお守りください。
  - ・エンジンを止める。
  - ・車のドアや窓を閉める。
  - ・タバコなどの火気を近づけない。
  - ・気化した燃料を吸わない。
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。放電による火花で燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行ってください。作業中に車内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

■燃料の補給

- 燃料タンクの容量は、約74ℓです。

エンジン型式	指定燃料
VR38	無鉛プレミアムガソリン (無鉛ハイオク、オクタン価100以上)

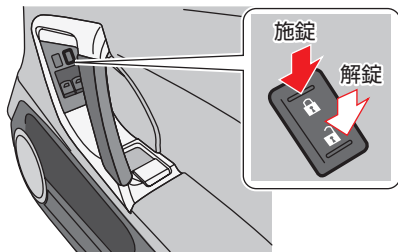
アドバイス

- 指定以外の燃料は補給しないでください。
  超高性能エンジンのため、オクタン価100以上の無鉛プレミアムガソリンを必ずお使いください。
  オクタン価96以下のガソリンや軽油、有鉛ガソリン、粗悪な燃料（高濃度アルコール含有燃料など）を使用するとエンジンを破損するおそれがあります。(レギュラーガソリンのオクタン価は91程度です。)
  1,100℃以上の超高温燃焼となり、プラグが溶損したり、シリンダーやヘッドにダメージを与えます。また、ガソリン残量が少ない状態で水抜き剤を入れても、同様の現象が起こるので行わないでください。
- 指定以外の燃料の使用に起因する不具合については保証の対象外となります。

知識

- ガソリン残量が1/2以上（特に3/4以上）の場合、ハードスポーツ走行·高速走行·真夏の渋滞走行直後などでは、ガソリンタンク内が高温高圧になっているため、給油時にキャップを開くとき“プシュー”という気流音とともにガソリン蒸気が抜けたり給油がしにくくなる場合がありますが、異常ではありません。
  ガソリンタンクの温度が下がるとこの現象はおさまります。
  このような状況では、**キャップを静かにゆっくり緩めて蒸気を抜いたあと、**キャップを開け、**少しずつ給油を行ってください。**

■開けかた

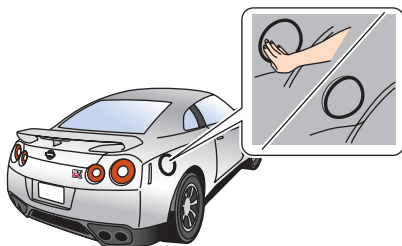
❶運転席又は助手席のドアロックスイッチを押して解錠します。

GIC0019

※イラストは、運転席です。

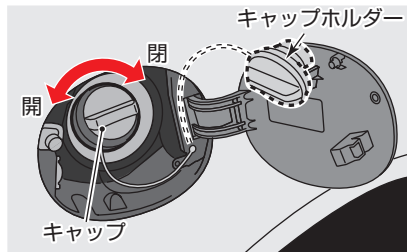
知識

- 燃料補給口のリッドロックは、リクエストスイッチ又はリモートコントロールエントリー機能での施錠・解錠にも連動します。

インテリジェントキー機能…P.2-3
リモートコントロールエントリー機能… P.2-8

❷リッドの車両後方側を押し、リッドのロックを解除して開けます。

GIC0033

❸キャップを左にゆっくり回して開けます。

・補給時、キャップはリッドの裏側に置きます。

GIC0103

■閉めかた

❶キャップを“カチッ”と音がするまで右に回して閉めます。
（キャップ閉めた後に手を離すと、少し戻りますが、故障ではありません。）

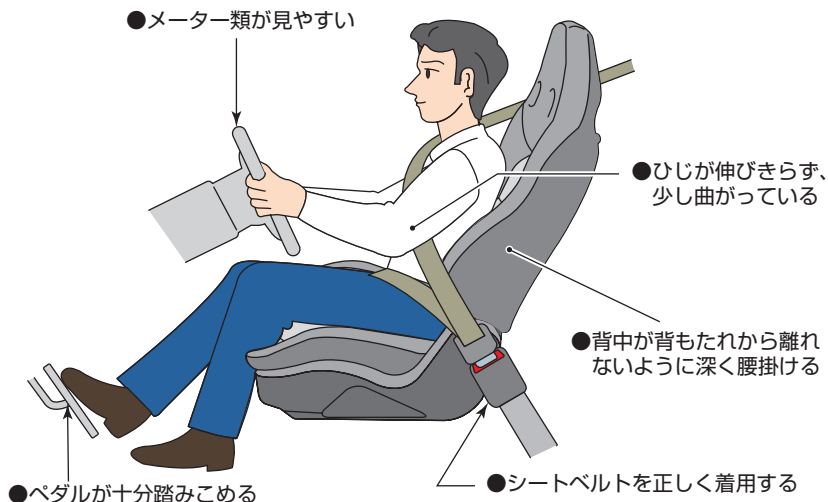
❷リッドを閉めます。

⚠ 警告

- キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しないでください。

ハンドル・シート・ミラーの調節について

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調節してください。

⚠ 警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節をすると前方不注意となり危険です。
- 調節したあとは確実に固定されたことを確認してください。ハンドルやシートが固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

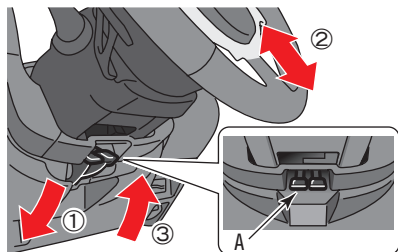
- 調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 室内を清掃するときやシートの下に落とした物を拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分に注意してください。シートレールやシートフレームに当たりケガをするおそれがあります。

ハンドル

■チルト・テレスコピックステアリング

チルト操作

●ハンドルの上下位置を調節できます。

❶レバーAを押し下げます。
❷ハンドルを上下に動かし、適切な位置で止めます。
❸レバーAを引き上げ固定します。

GIC0092

テレスコピック操作

●ハンドルの前後位置を調節できます。

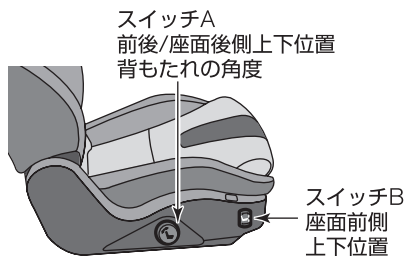
❶レバーBを押し下げます。
❷ハンドルを前後に動かし、適切な位置で止めます。
❸レバーBを引き上げ固定します。

GIC0093

シート

パワーシートの調節

スイッチA
前後/座面後側上下位置
背もたれの角度

スイッチB
座面前側
上下位置

GIC0118

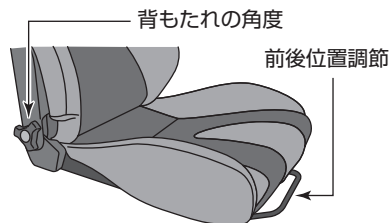
調節箇所	スイッチ	操　作	装　備	
			運転席	助手席
前後調節	スイッチA GIC0120	調節したい方向にスイッチAを動かします。	有	有
上下調節	スイッチA　スイッチB GIC0121	●シート座面後側を上下調節するときは、スイッチAを上下に動かします。 ●シート座面前側を上下調節するときは、スイッチBの調節する側を押します。	有	無
背もたれの角度	スイッチA GIC0122	調節したい方向にスイッチAを動かします。	有	有

※表内のイラストは運転席側のスイッチです。

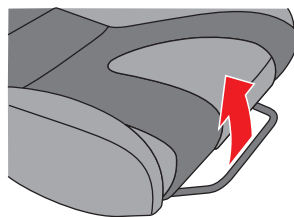
目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

⚠ 注意

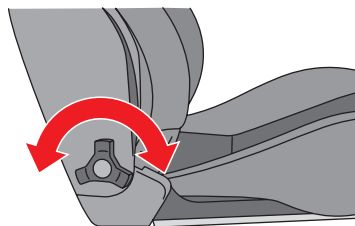
- この車両の後席シート★は補助的な用途を想定して設定しています。前席シートをスライド又はリクライニングするときは、後席周辺の安全を十分に確認してからシートを調整してください。
  前席シートが後席に置いた荷物などを挟み込んだり、後席に干渉してしわが発生するおそれがあります。

マニュアルシートの調節★

GIC0099

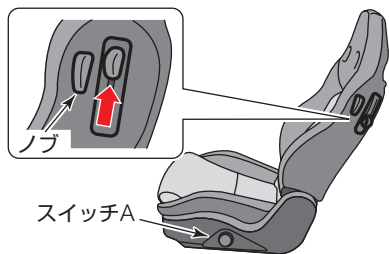
■前後調節（スライド）

レバーを引いたまま調節したいシートを動かします。

GIC0100

■背もたれの角度（リクライニング）

調節したい方向にダイヤルを回して調節します。

GIC0101

後席への乗り降り★

❶レバーを引き上げ、ノブを持ってシート背もたれを前側に倒します。
❷シートの調節スイッチAで、乗り降りしやすい位置までシートを前方へスライドさせます。

GIC0131

※元に戻すときは、ノブを持って背もたれを起こし、シートの調節スイッチAで元の位置に戻します。

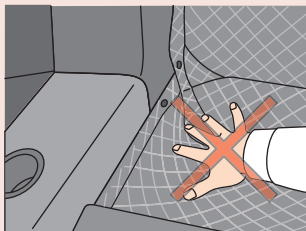
⚠ 注意

- 後席へ乗り降りをするときは、前席シートベルトに足を引っ掛けないように気をつけてください。
  また、足元や車体に頭などをぶつけないように注意してください。
- ノブを持って背もたれを起こすときは、手や腕を車体にぶつけないように注意してください。特にシート位置を後ろ側にスライドさせた状態のときは、シートと車体の隙間が狭くなるので注意してください。

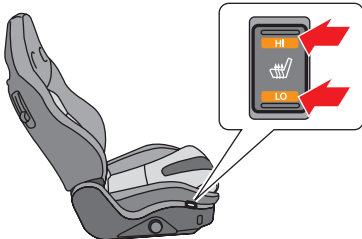
後部スペースについて（TRACK PACKオプション装着車）

- 本車両の後部スペースは座席ではありません。

⚠ 警告

- 後部スペースへの乗車やチャイルドシートの取り付け、荷物を置くことは絶対にしないでください。後部スペース足元にも荷物を置かないでください。
  後部スペースは乗車や荷物を置くようには設計されておりません。
  万一の事故や急ブレーキのときに重大な傷害を受けたり、後部スペースが高温となってやけどをするおそれがあります。

GIC0102

ヒーターシート★

電源ポジションがONのとき使えます。
前席シートを温めます。

GIC0115

■作動させるとき

●スイッチ上面の“HI”、“LO”部分を押すと作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）

スイッチ位置	働　き
HI	早く温めたいとき。
LO	保温したいとき。

■止めるとき

スイッチを中立位置にします。
（スイッチの表示灯が消灯）

注意

- 長時間の連続使用は低温やけどの原因となります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意して使ってください。
- シートに毛皮や座布団を載せたり、シートカバーを使わないでください。過熱するおそれがあります。
- 固くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートをつきさしたりしないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。

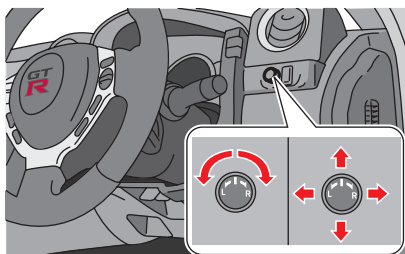
アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態で使ってください。また、アイドリング状態での連続使用は避けてください。

ドアミラー

電源ポジションがAcc又はONのとき操作できます。

■角度調節のしかた

❶調節するドアミラー側にスイッチを回します。
（左側はL、右側はR）
❷スイッチを動かして、鏡面角度を調節します。

GIC0044

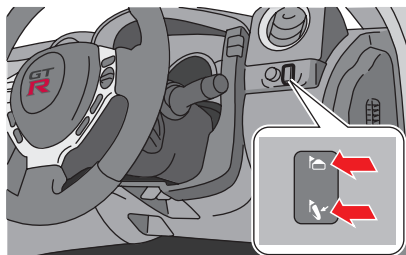
警告

- 鏡面の調節は走行前に行ってください。走行中の調節は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

■格納するとき

- スイッチの下側を押すと、左右のミラー本体が格納されます。
- スイッチの上側を押すと、元に戻ります。

GIC0045

注意

- ミラーが動いているときは手を触れないでください。手を挟んだり、ミラーが故障する原因になるおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。
- 手動で開閉すると走行中ミラーが前方又は後方に倒れるおそれがあります。手動で開閉したあとは、走行前に電動で開閉操作を行ってください。

アドバイス

- スイッチ操作を連続して行うと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから再度操作してください。
- 手動で開閉した場合、格納スイッチの位置により、電源ポジションをAcc又はONにしたときにミラーが動き出すことがあります。

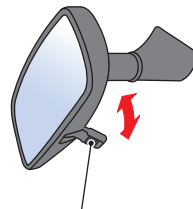
知識

ヒーター付ドアミラー

- 電源ポジションがONのときにリヤウインドーデフォッガースイッチ（P.3-55）を押すと、リヤウインドーガラスのくもりを取るのと同時にドアミラーの霜やくもりを取ります。

ルームミラー

通常は防眩切り替えレバーを前方に押した状態で使います。

- ミラー本体を持って、後方視界が十分確認できる位置に高さと角度を調節します。
- 後続車のヘッドライトがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。

⚠ 警告

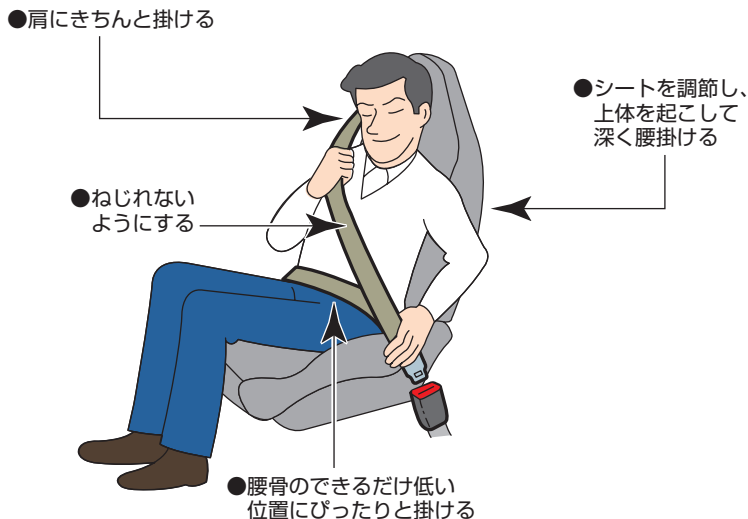
- ミラーの調節は走行前に行ってください。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ルームミラーのまわりに無線機やアクセサリーなどを取り付けたり、配線から電源をとったりしないでください。インテリジェントキーの電波受信機が内蔵されているため、ドアの施錠・解錠やトランクの解錠、エンジン始動などができなくなるおそれがあります。

シートベルトの着用のしかた

シートベルトの正しい着用

- 走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトは正しい姿勢で正しく着用しないと、シートベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガなどをするおそれがあります。
- 次の使用方法、警告にしたがって正しく着用してください。

GIC0047

⚠ 警告

- 走行する前に全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。着用するときは以下のことを必ずお守りください。
  - ・運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
  - ・ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使わないでください。
  - ・ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
  - ・腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腹部に強い圧迫を受けることがあります。
  - ・肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
  - ・シートベルトをクリップなどで故意にたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。

警告

- シートの背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

GIC0048

- バックルや巻き取り装置の中に異物を入れないでください。シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは、確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

GIC0049

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
- 一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり傷がついた場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に点検を依頼してください。

警告

- シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

注意

- チャイルドシートは年齢や体格にあった、適切なチャイルドシートをお選びください。

知識

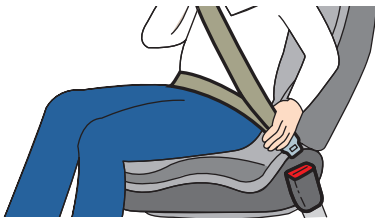
- 運転者がシートベルトを着用していないと、警告灯（P.3-20）や警報（P.3-47）が作動します。

シートベルトの着用のしかた

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト

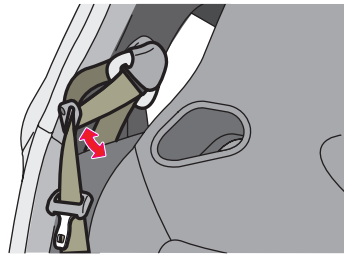
通常は身体の動きに合わせて伸縮しますが、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

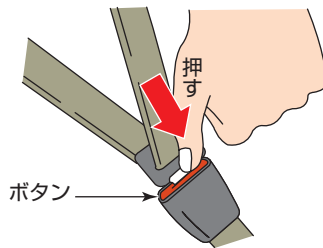
❶タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。
・ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

❷ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。

GIC0050

❸ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。

GIC0051

❹前席はシートベルト着用時、ベルトアームを“カチッ”と音がするロック位置まで引き上げてください。
・ベルトが肩にきちんと掛かるロック位置に、ベルトアームを調整します。
・ベルトアームを押し下げると、後席への乗り降りがしやすくなります。

GIC0052

❺外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。

GIC0053

> ⚠ **警告**
>
> - 肩ベルトは確実に肩に掛かるように調整してください。
> - ベルトが肩から外れたり固定されていないと、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。
> - ベルトアームはロック位置まで引き上げて使用してください。

前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト

正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが付いています。

- 運転席・助手席SRSエアバッグシステムと同時に作動します。

SRSエアバッグが作動するとき・しないとき…P.2-57

GIC0054

警告

- 使用方法は通常のシートベルトと同じです。正しく着用しないと、プリテンショナー及びロードリミッターの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

- 電源ポジションをON後約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーは作動しません。SRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

■プリテンショナーシートベルト付車の取り扱いについて

警告

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

注意

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

チャイルドシート

チャイルドシートについて

乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。
チャイルドシートの固定機構★を使ってチャイルドシートを固定することができます。

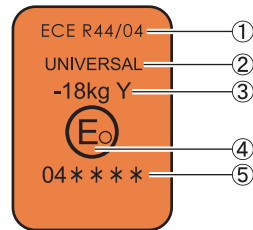
注意

- お子さまの年齢や体格にあった、適切なチャイルドシートをお選びください。
- 固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

知識

- この車は2006年10月1日施行の新保安基準に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーを標準装備しています。(TRACK PACKオプション装着車を除く)

新保安基準適合マークについて

新保安基準適合品の汎用(ユニバーサル)チャイルドシートには、下記の認証マークが表示されています。新保安基準適合品をお使いください。

GIC0125

①法規番号
②チャイルドシートのカテゴリー
(UNIVERSALは汎用品の認可であることを表します。)
③対象となるお子さまの体重範囲
④当該装置を認可した国番号
⑤当該装置認可番号

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

チャイルドシートの質量グループ

■質量グループについて

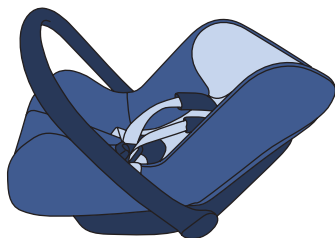
ECE R44※の基準に適合するチャイルドシートはお子さまの体重により以下のように分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0+	13kgまで
グループⅠ	9～18kgまで
グループⅡ	15～25kgまで
グループⅢ	22～36kgまで

※ECE R44はチャイルドシートに関する国際法です。

チャイルドシートの種類

■乳児用チャイルドシート

●ECE R44基準のグループ0、0+に相当します。

GIC0126

■チャイルドシート

●ECE R44基準のグループ0+、Ⅰに相当します。

GIC0127

■ジュニアチャイルドシート

●ECE R44基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。

GIC0128

チャイルドシート適合表

チャイルドシートの固定方法には、シートベルトで取り付ける方法と、ISO FIXチャイルドシート固定専用アンカー★で取り付ける方法があります。次の表から各着席位置でどのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

シートベルトで取り付けるチャイルドシートについて

■選択の目安

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

質量グループ	着席位置	
	前席（助手席）	後席左右
0（10kgまで）	×	×
0+（13kgまで）	×	×
Ⅰ（9～18kg）	×	×
Ⅱ（15～25kg）	×	×
Ⅲ（22～36kg）	×	×

× ：チャイルドシートを取り付けることはできません。

※本車両には、チャイルドシートをシートベルトのみで取り付けることができません。

ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーで取り付けるチャイルドシートについて（TRACK PACKオプション装着車を除く）

■選択の目安

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	着座位置	
			前席（助手席）	後席左右
キャリーコット	F	ISO/L1	−	×
	G	ISO/L2	−	×
0（10kgまで）	E	ISO/R1	−	×
0^{+}（13kgまで）	E	ISO/R1	−	×
	D	ISO/R2	−	×
	C	ISO/R3	−	×
Ⅰ（9〜18kg）	D	ISO/R2	−	×
	C	ISO/R3	−	×
	B	ISO/F2	−	IUF
	B1	ISO/F2X	−	IUF
	A	ISO/F3	−	×
Ⅱ（15〜25kg）	−	−	−	×
Ⅲ（22〜36kg）	−	−	−	×

凡例

IUF　：この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISO FIX対応前向きチャイルドシートに適合しています。

×　　：チャイルドシートを取り付けることはできません。

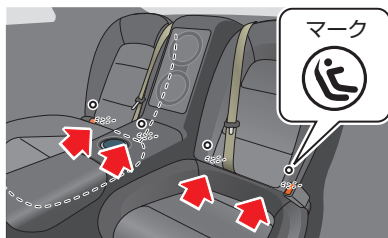
⚠ 注意

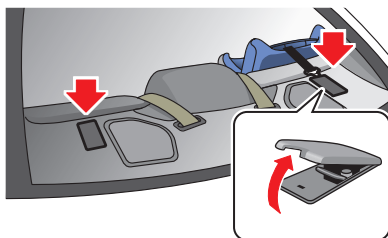
- ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前に2006年10月1日施行の新保安基準に適合していることを確認してください。新保安基準に適合していないチャイルドシートは取り付けられません。詳しくはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーについて★

後席シート左右にはISO FIX対応チャイルドセーフティシートを取り付けるためのアンカー（固定装置）が装備されています。

■アンカーの場所

●ISO FIX対応チャイルドシート用ロアアンカーは、マーク下側にあります。

GIC0129

●テザーアンカーは、リヤパーセルにあります。

GIC0130

●取り付けかた及び取り外しかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

⚠ 警告

- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカー部周辺に異物がないことや、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシートベルトなどをかみ込むとチャイルドシートが固定されず、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートは確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、シートベルトと併用することで安全性を高めます。シートベルトは必ず着用してください。

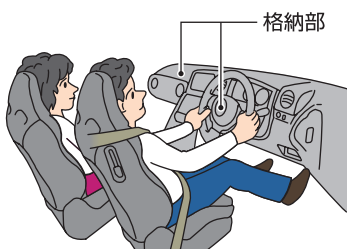
※SRSとは、Supplemental Restraint Systemの略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

●電源ポジションがONのとき作動可能です。

■運転席・助手席SRSエアバッグシステム

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

●運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。

●助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。乗員がいなくても運転席と同時に作動します。

GIC0116

■運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム★

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

●SRSサイドエアバッグは、シート背もたれ側面（外側）に格納されています。助手席は乗員がいなくても作動します。

GIC0117

■運転席・助手席SRSカーテンエアバッグシステム★

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

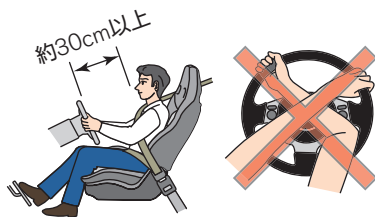
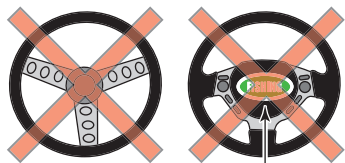
●SRSカーテンエアバッグは左右のルーフサイドに格納されています。助手席側は乗員がいなくても作動します。

GIC0059

⚠ 警告

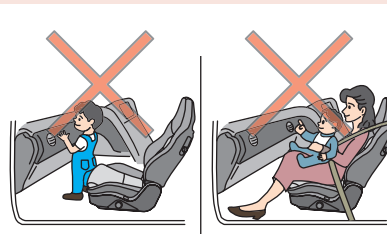
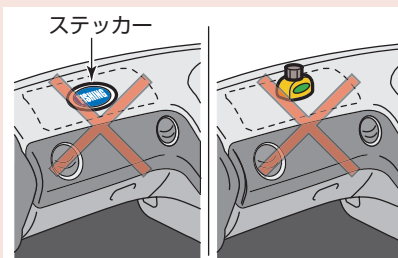
- SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。SRSエアバッグの効果を発揮させるため、必ずシートベルトを正しい姿勢で正しく着用してください。
- 乗車するときは必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ハンドルまわり、車両前部、インストルメントパネルまわり、前席シートまわり、センターピラー（ロックピラー）まわり、センターコンソールまわり、ルーフサイド部などのSRSエアバッグ格納部を修理するときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で交換してください。
  - ・SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
  - ・電気テスターを使ってSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
  - ・サスペンションは改造しないでください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。
    オプション部品については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

運転席SRSエアバッグシステム

- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなどSRSエアバッグ格納部に手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。また、内がけでのハンドル操作はしないでください。
  - ・不適正なハンドルに交換したり、センターパッド部（SRSエアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。
  - ・前面ガラスにアクセサリーなどを付けないでください。

GIC0060

GIC0061

⚠ 警告

助手席SRSエアバッグシステム

- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・インストルメントパネル（SRSエアバッグ格納部）に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたりひざの上に抱いたりせず、後席（TRACK PACKオプション装着車を除く）に乗せてください。
  - ・チャイルドシートは後席シートに取り付けてください。
  - ・チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認してください。固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
  - ・インストルメントパネル上面にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。

GIC0062

GIC0064

⚠ 警告

<u>運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム及び運転席・助手席SRSカーテンエアバッグシステム</u>

- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ドアにもたれるなど、前席シート背もたれ側面（外側）のSRSサイドエアバッグ格納部及びSRSカーテンエアバッグ格納部に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、前席シートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。
  - ・前席ドアをガラスが割れるほど強く閉めないでください。SRSエアバッグが誤作動するおそれがあります。
  - ・前席シートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かないでください。また、センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けないでください。
  - ・シートカバーは前席シート背もたれ側面を覆わないものをお使いください。

GIC0065

GIC0066

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

注意

- 電源ポジションをONにしたあと約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。
- SRSエアバッグは膨らんだあと高温になるため、30分以内はさわらないでください。やけどをするおそれがあります。
- SRSエアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグが膨らむとき､作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。ただし、SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。
- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。SRSエアバッグの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で交換してください。

知識

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃で前面ガラスが割れることがあります。
- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

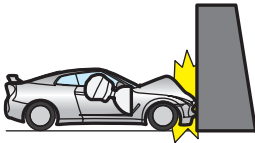
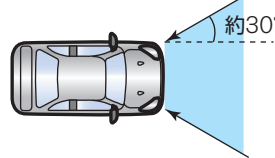
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき

正面衝突時や側面衝突時において、乗員がシートベルトを正しく着用していても重大な傷害を受けるおそれのあるような衝撃を受けた場合に作動します。しかし衝撃が車体で吸収又は分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くならない場合には、必ずしも作動するとはかぎりません。

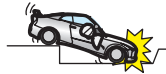
■作動するとき

運転席・助手席SRSエアバッグシステム

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき

- 車両前方左右、約30度以内の方向から強い衝撃（左図と同等）を受けたとき

次のような、車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。（車両の損傷は少なくても乗員への衝撃は強いとき）

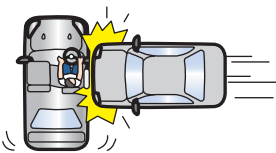
- 高速で縁石などに衝突したとき

- 深い穴や溝に落ち込んだとき

- ジャンプして地面にぶつけたとき

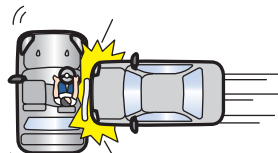
GIC0067

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム、運転席・助手席SRSカーテンエアバッグシステム

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

<SRSサイドエアバッグシステム>

GIC0072

<SRSカーテンエアバッグシステム>

GIC0073

■作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。
衝突したものが変形したり移動したときや、衝突したものの形状や衝突の状態によって衝突時の衝撃が緩められたときは、作動しにくくなります。

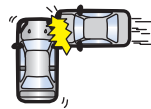
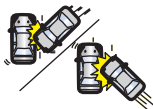
運転席・助手席SRSエアバッグシステム

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

GIC0074

GIC0076

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム、運転席・助手席SRSカーテンエアバッグシステム

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（トランク）に衝突されたとき

- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

GIC0078

■作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

運転席・助手席SRSエアバッグシステム

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

GIC0084

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム、運転席・助手席SRSカーテンエアバッグシステム

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

GIC0086

ポップアップエンジンフード

ポップアップエンジンフードの作動

歩行者と衝突し、ある一定のレベルを超えた衝撃が車両前部に加わったとき、エンジンフードの後端が瞬時に持ち上がり、エンジンフード下の部品との空間を広く保つことで歩行者の頭部がエンジンフードへ衝突したときの衝撃を緩和します。

● 電源ポジションがONのとき作動します。

警告

- ポップアップエンジンフードの部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 日産自動車が指定している純正部品以外のエンジンフード及びフロントバンパーに交換しないでください。補修や修理などで日産純正品への交換を行うときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
- エンジンフード及びフロントバンパーに不適正な改造をしないでください。正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ポップアップエンジンフードが作動したときは、フードオープナーを引かないでください。
  また、フード後端を無理に押し戻さないでください。作動したフードは手動では下げることができないため、フードが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。
  ポップアップエンジンフードが作動したときは、必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
- フロントバンパーに衝撃が加わったときは、ポップアップエンジンフードが作動しなくてもセンサーが故障している可能性があるため、必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

注意

- 電源ポジションをON後、約7秒間はメーター内のポップアップエンジンフード警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、ポップアップエンジンフードは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。
- 廃車にするときやポップアップエンジンフードのアクチュエータを廃棄するときは、必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。アクチュエータの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- ポップアップエンジンフードは、一度作動すると再使用できません。NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で交換してください。

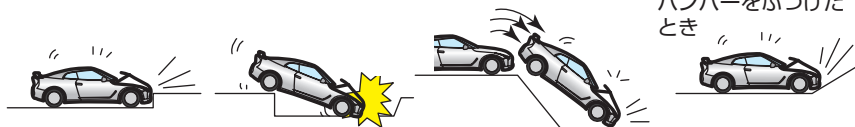
ポップアップエンジンフードが作動するとき・しないとき

■作動するとき

次のような衝撃を受けたときに作動します。

- 走行中、フロントバンパーに歩行者と同等、もしくはそれ以上の衝撃を受けたとき（衝突したときにフロントバンパーに痕跡が残らないような場合でも、ある一定のレベルを超えた衝撃が加われば作動します。）

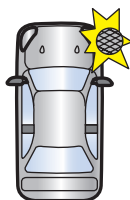
次のような車両下部やバンパー下部に衝撃を受けたときも作動することがありますので、車両下部やバンパー下部に衝撃を受けそうな路面を走行するときは速度を落として注意して走行してください。

- 縁石に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ち込んだとき
- ジャンプして地面にぶつけたとき
- 駐車場のスロープや落下物などにフロントバンパーをぶつけたとき

- 踏切などのうねりのある路面でフロントバンパーをぶつけたとき

GIC0105

■作動しにくいとき

次のような場所に衝突したときは衝撃を感知しにくいため、作動しないことがあります。

- 走行中、フロントバンパーの左右の角や側面に歩行者がぶつかったとき

GIC0090

■作動しないとき

一度、ポップアップエンジンフードが作動したあとに衝突しても作動しません。
また、次のようなときにも作動しません。

- 低い速度で走行中フロントバンパーに衝撃を受けたとき
- 横方向や後ろから衝撃を受けたとき
- 横転、転覆したとき（作動するときの車の速度は車種によって異なる場合があります。）

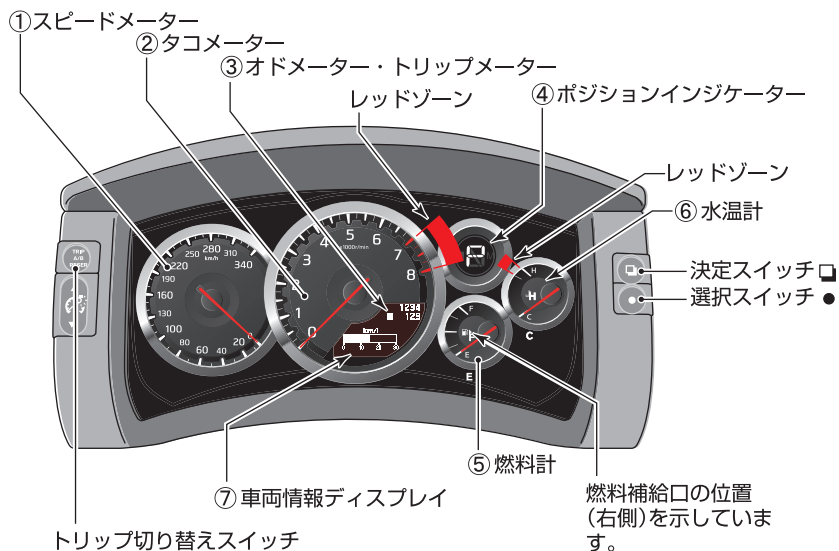
GIC0091

3 走行するとき

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

メーター・表示灯・警告灯の見かた

メーター

電源ポジションをONにすると表示します。

知識

- 電源ポジションをLOCKにしてからしばらくして指針が振れることがありますが故障ではありません。

①スピードメーター（速度計）

走行車速を表示します。

②タコメーター（エンジン回転計）

１分あたりのエンジン回転数を表示します。

⚠ 注意

- レッドゾーン（赤色表示部）に入らないように運転してください。レッドゾーンではエンジンが過回転となり故障の原因になります。

③オドメーター・トリップメーター

1234 ← オドメーター
A　123 ← トリップメーター

GPA0153

オドメーター（積算距離計）

●総走行距離をkmで表示します。

トリップメーター（区間走行距離）

AとBで2種類の区間走行距離をkmで表示します。

●トリップ切り替えスイッチを押すごとにAとBが切り替わります。

●リセットするときは0にしたいほうを表示させ、トリップ切り替えスイッチを約1秒以上押します。

知識

- バッテリーを外したときは、AとBの記憶が消去され0に戻ります。

④ポジションインジケーター

Aレンジのときは“A”の表示とギヤポジション位置、Mレンジのときは“M”の表示とギヤポジション位置を表示します。

また、エンジンの過回転防止検知などにより、変速できない場合は、ポジションインジケーターが点滅します。

GPA0005

⑤燃料計

燃料の残量を表示します。

●燃料タンクの容量は約74ℓです。

知識

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、指針が振れることがあります。

⑥水温計

エンジン冷却水の温度を表示します。

⚠ 警告

- オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。
  オーバーヒートしたときは…P.6-8

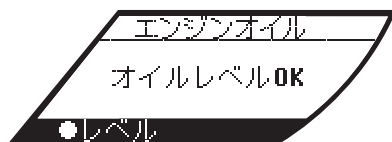
⑦車両情報ディスプレイ

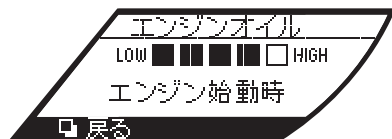
車両情報ディスプレイは、以下の情報を表示することができます。

- エンジンオイルレベル表示
- トランスミッションシステムチェック表示
- イルミネーションコントロールレベル表示…P.3-6
- ドライブコンピューター…P.3-7
- 警告表示…P.3-24
- 操作表示…P.3-35
- ASCD表示…P.3-88

エンジンオイルレベル表示

電源ポジションをONにすると、エンジン始動前のエンジンオイルの状態を以下の表示で知らせます。

オイルレベルが正常な場合

GPA0154

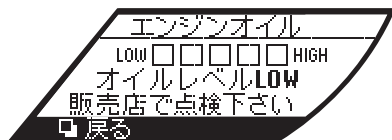
- 「オイルレベルOK」と表示中に選択スイッチ●を押すと、オイルレベルを確認することができます。

GPA0155

知識

- 「オイルレベルOK」の表示が消えた後やエンジン回転中でもエンジンオイルレベルを確認することができます。
  メンテナンス…P.3-11

オイルレベルが低下、レベルセンサーが異常な場合

●以下の表示をした場合は、オイルレベルが低下又はレベルセンサーが異常です。適切な処置をしてください。

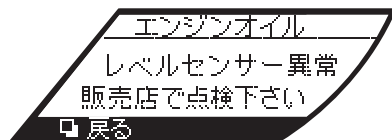
〈オイルレベル低下〉

GPA0156

➡ 処置

- エンジンを暖機した後、水平な場所でエンジンを停止し、5分以上経過してからエンジンオイルレベルゲージでオイル量を点検してください。
- オイル量が少ない場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場でエンジンオイルの補給又は、交換をしてください。

アドバイス

- 傾斜した場所では、正確にオイル量を測定できない場合があります。
「オイルレベルLOW」と表示したときにオイルレベルゲージでの量が正常な場合は、水平な場所に移動してエンジンを停止し、5分以上経過してから運転席ドアを開け、再度エンジンスイッチをONにします。それでも「オイルレベルLOW」と表示する場合は、エンジンオイルを補給又は交換してください。

〈レベルセンサー異常〉

GPA0157

➡ 処置

- ただちにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に連絡してください。

トランスミッションシステムチェック表示

トランスミッション
システムチェック中

GPA0158

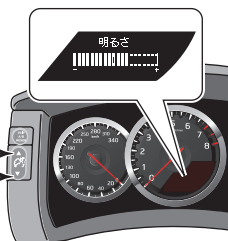
エンジン始動後、トランスミッションシステムの正常作動を確認しているときに表示し、数秒間表示後に消灯します。

知識

- システムチェック中は、シフトレバーがPから動かせません。システムチェック表示が消えてからシフトレバーを操作してください。
- システムチェック中にシフトレバーのボタンを押し込むと、システムチェック終了後もそのままシフトレバーを操作することができません。一旦ボタンを離してから再度ボタンを押し込んで操作してください。
- 冬場などの温度が非常に低い場合は、油圧応答特性変化によりシステムチェックの時間が長くなる場合があります。
  また、システムチェック中に“ガシャ”という作動音が聞こえたり、エンジン回転数が低くなることがありますが異常ではありません。

イルミネーションコントロール

メーター内照明の明るさを調節します。
電源ポジションがONのとき調節できます。

- スイッチを押して調節します。
  明るさのレベル表示は、車両情報ディスプレイに表示されます。
- ライト点灯時は、車内の各スイッチの明るさも連動して調整されます。

GPA0159

※調節する位置により表示が異なります。

知識

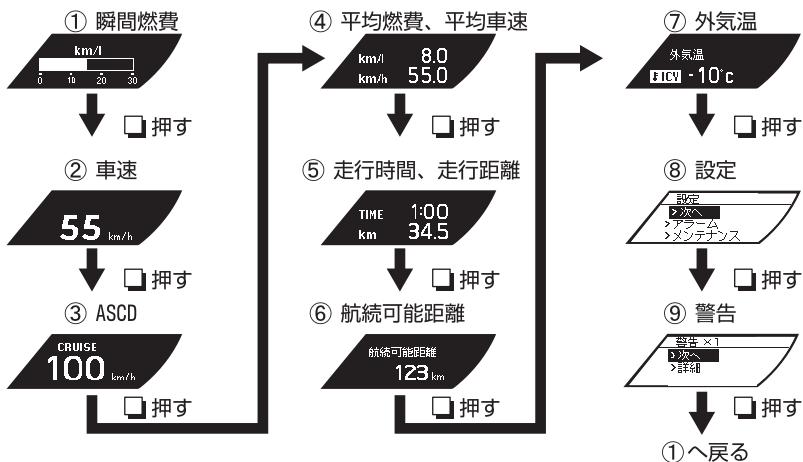
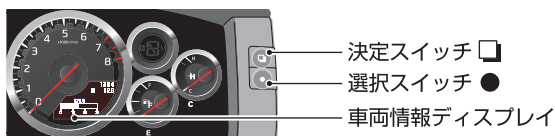
- メーター照明の明るさを、明るいときと暗いときそれぞれに調節できます。調節した内容は自動的に記憶します。
- バッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。バッテリーを接続後、調節し直してください。

ドライブコンピューター

ドライブコンピューターは、燃費情報や車速、外気温など様々な情報を表示する機能です。

■切り替えかた

電源スイッチがONのときに切り替えることができます。

●決定スイッチ❏を押すごとに表示が切り替わります。

GPA0160

知識

- ③ASCDの表示は、ASCD（P.3-86）が設定されているときに表示します。
- ⑦外気温の表示は、外気温によって表示が一部異なります。
- ⑨警告の表示は、警告表示（P.3-24）する条件がない場合は表示されません。

■表示について

知識

- 表示される数値は、走行状況などにより実際の数値と異なる場合があります。
- メーターの針の位置と車両情報ディスプレイに表示される速度が若干異なる場合があります。

①瞬間燃費

- 走行中の瞬間燃費を表示します。

②車速

- 走行中の車速を表示します。

③ASCD（オートスピードコントロール）

- ASCD（オートスピードコントロール）の設定状態を表示します。

知識

- ASCDが設定されていないときは、表示しません。

ASCD（オートスピードコントロール）…P.3-86

④平均燃費、平均車速

- リセットしてから次にリセットするまでの平均燃費、平均車速を表示します。
- リセットするときは、選択スイッチ●を1秒以上押します。（平均燃費と平均車速を同時にリセットします。）

知識

- バッテリー接続後やリセット後は「----」と表示します。
- 数値は約30秒ごとに更新します。

⑤走行時間、走行距離

- リセットしてから次にリセットするまでの走行時間、走行距離を表示します。
- リセットするときは、選択スイッチ●を約1秒以上押します。（走行時間、走行距離を同時にリセットします。）

⑥航続可能距離

- 現在の燃料残量と平均燃費から航続可能な距離を表示します。
- 燃料残量警告（P.3-32）が表示されると、航続可能距離の距離表示が点滅します。
- 燃料残量警告表示後も燃料を補給しないと「----」と表示します。

アドバイス

- 数値は約30秒ごとに算出しています。

⑦外気温

●外気温を表示します。

知識

- 次の場合には、正しく外気温が表示されないことがあります。
  - ・外気温が－30℃以下、又は55℃以上のとき。
  - ・停車又は低速走行（約20km/h以下）しているとき。
  - ・スポーツ走行などでエンジンルーム内が高温のとき。

  外気温度表示…P.1-34
- 外気温が3℃以下になると「ICY」と表示します。

⑧設定

アラームとメンテナンスを設定することができます。

知識

- 以下の場合は、設定することができません。
  - ・走行しているとき。
  - ・警告表示しているとき。
  - ・イルミネーションコントロールレベル表示しているとき。
  - ・ASCDの状態を表示しているとき。

アラーム

シフトアップインジケーター、走行時間、凍結注意の設定ができます。

シフトアップインジケーターについては、P.3-39をお読みください。

●走行時間

・設定した時間まで連続走行したことを知らせます。

GPA0161

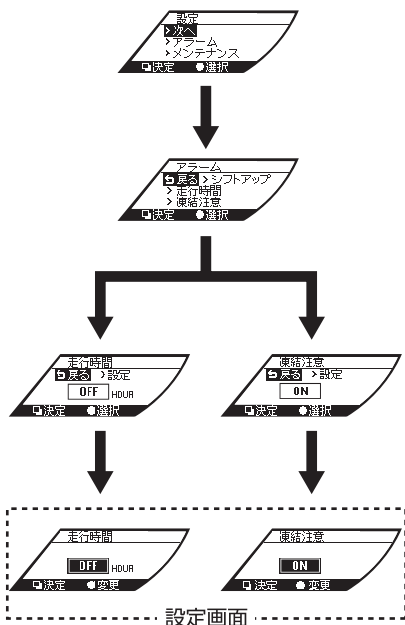
●凍結注意

・外気温が3℃以下になったことを知らせます。

GPA0162

設定のしかた

- 選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ❏で決定して各設定画面にします。
- 設定の最初の画面に戻るときは、決定スイッチを約1秒以上押します。

GPA0163

〈走行時間の設定〉

- 最大6時間まで設定できます。
- 走行時間設定画面で選択スイッチ●を押して時間を切り替えます。

  短く押す：

  0.5h（30分）単位で切り替わる

  長く（約1秒以上）押す：

  1.0h（60分）単位で切り替わる
- 設定しないときは、「OFF」に設定します。

〈凍結注意表示の設定〉

- 凍結注意の設定画面で選択スイッチ●を押してON／OFFを切り替えます。

  ON：アラーム設定

  OFF：アラーム解除

知識

- バッテリーを外したときは、設定の記憶が消去され初期設定に戻ります。

メンテナンス

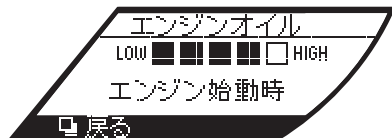
各種交換時期の設定や、エンジンオイルレベルを確認することができます。
以下の表示で交換時期を知らせます。

知識

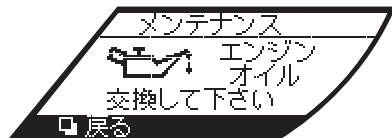
- 走行距離を元にお知らせしているもので、実際の車両状態を示したものではありません。目安としてお使いください。

●エンジンオイル

・エンジン回転中にエンジン始動前のオイルレベルを確認することができます。

オイルレベルの確認のしかた…P.3-13

GPA0155

・設定した距離に近づくと、一定の間隔で残り距離数を表示します。

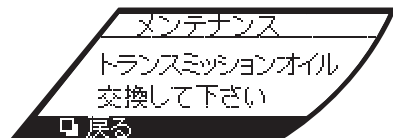
設定のしかた…P.3-13

GPA0164

●エンジンオイルフィルタ

・設定した距離を超えると表示します。

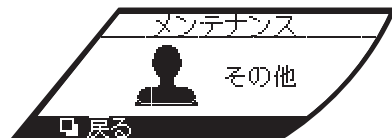
設定のしかた…P.3-13

GPA0165

●トランスミッションオイル
・設定した距離を超えると表示します。
設定のしかた…P.3-13

GPA0166

●タイヤ
・設定した距離を超えると表示します。
設定のしかた…P.3-13

GPA0167

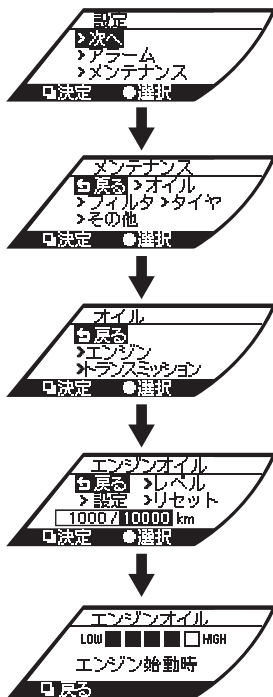
●その他の部品
・設定した距離を超えると表示します。
設定のしかた…P.3-13

GPA0168

知識

●「その他」には、お好みの部品の交換時期を設定してください。

エンジンオイルレベルの確認のしかた

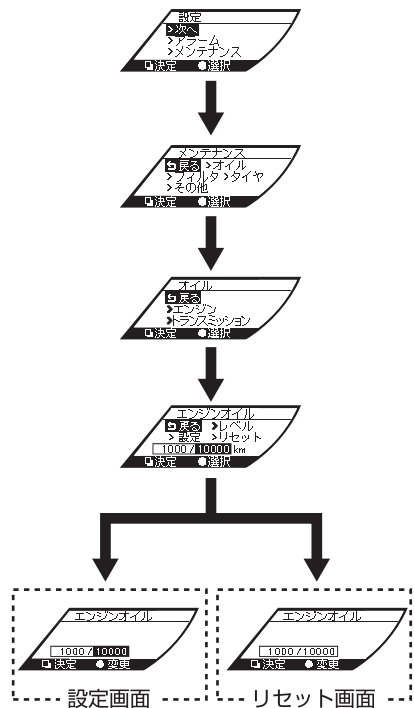
●選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ❏で決定します。
●設定の最初の画面に戻るときは、決定スイッチ❏を約1秒以上押します。

❶「設定」を選び決定します。
❷「メンテナンス」を選び決定します。
❸「オイル」を選び決定します。
❹「エンジン」を選び決定します。
❺「レベル」を選択します。

GPA0169

メンテナンス距離の設定のしかた

●選択スイッチ●で項目を選び、決定スイッチ❏で決定して各設定画面、リセット画面にします。
●設定の最初の画面に戻るときは、決定スイッチ❏を約1秒以上押します。

GPA0170

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

〈距離の設定〉

●以下の距離まで設定できます。

15,000km：エンジンオイル
　　　　　オイルフィルタ
90,000km：トランスミッション
　　　　　オイル

●各設定画面で選択スイッチ●を押して距離を切り替えます。

短く押す：
500km単位で切り替わる
長く（約1秒以上）押す：
1,000km単位で切り替わる

●設定しないときは、「－」に設定します。

〈距離のリセット〉

●走行した距離をリセットできます。

●リセット画面で選択スイッチ●を押して決定スイッチ❏で決定します。

知識

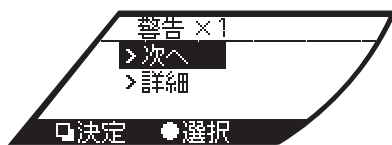
- リセット後にもう一度選択スイッチ●を押すと、積算距離が元に戻ります。
- バッテリーを外したときは、設定した距離の記憶が消去され初期設定に戻ります。

⑨警告

車両情報ディスプレイに警告内容を表示します。

・警告表示中に決定スイッチ❏を押すと、元の表示に戻すことができます。
また、処置されていない警告を確認することができます。
警告表示…P.3-24

警告の確認のしかた

●選択スイッチ●で詳細を選び、決定スイッチ❏で決定します。

GPA0171

●警告が複数ある場合は、決定スイッチ❏を押して表示を切り替えます。

●警告の最初の画面に戻るときは、決定スイッチ❏を約1秒以上押します。

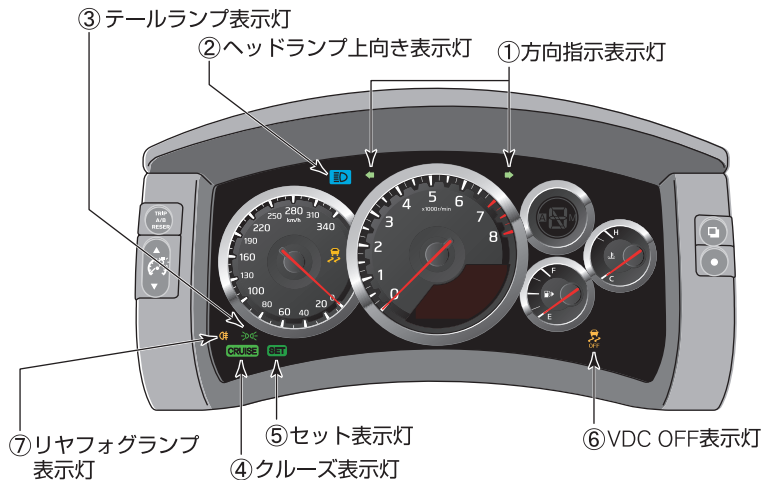
知識

- 設定の最初の画面に「警告×0」と表示されている場合は、警告している表示はありません。その場合には、「>詳細」「●選択」も表示しません。

目次
⚠警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

表示灯

電源ポジションをONにすると表示します。

GPA0172

①方向指示表示灯

GPA0003

方向指示器又は非常点滅表示灯を作動させると点滅します。

知識

- 方向指示器のランプの電球が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。

電球（バルブ）を交換するときは…P.6-15

方向指示器スイッチ…P.3-53
非常点滅表示灯スイッチ…P.3-53

②ヘッドランプ上向き表示灯

GPA0004

ヘッドランプの上向きを点灯させると点灯します。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え…P.3-51

③テールランプ表示灯

GPA0006

車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。

ライトの点灯・消灯…P.3-49

④クルーズ表示灯

GPA0008

ASCD（オートスピードコントロール）のメインスイッチをONにすると点灯します。

ASCD（オートスピードコントロール）…P.3-86

⑤セット表示灯

GPA0009

ASCD（オートスピードコントロール）作動中に点灯します。

ASCD（オートスピードコントロール）…P.3-86

⑥VDC OFF表示灯

GPA0173

VDCをOFFにすると点灯します。

セットアップスイッチの使いかた…P.3-73

⑦リヤフォグランプ表示灯

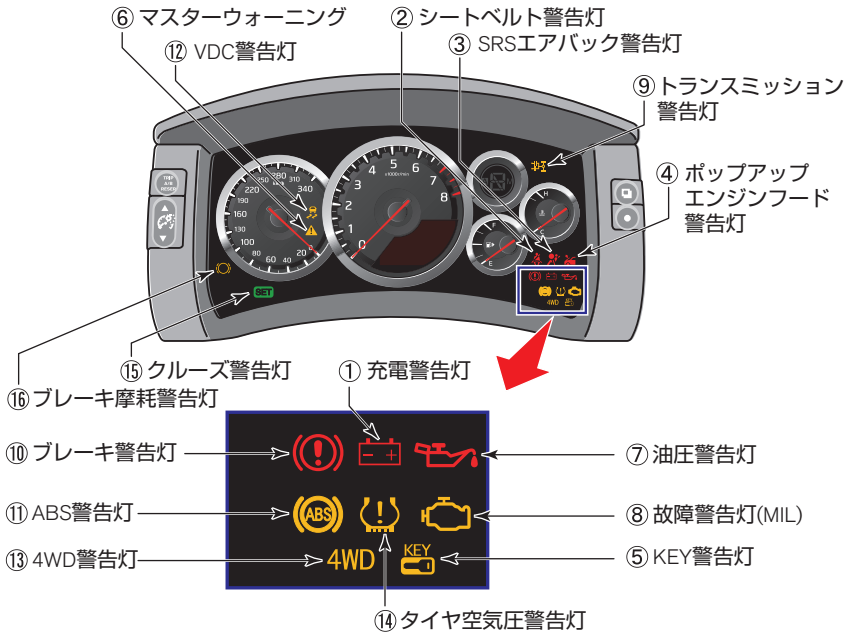
GPA0174

リヤフォグランプを点灯させると点灯します。

リヤフォグランプの点灯・消灯…P.3-52

警告灯・警告表示・操作表示

警告灯が点灯又は点滅したときや車両情報ディスプレイに警告表示、操作表示したときは、すみやかに適切な処置をしてください。
メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
警告灯及び警告表示を放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 警告灯は、電源ポジションをONにすると点灯し、数秒又はエンジンを始動すると消灯します。(シートベルト警告灯は、電源ポジションをONにすると点灯し、シートベルトを着用すると消灯します。)
- 電源ポジションをONにしても点灯しないときは、すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

警告灯

●以下の警告灯が点灯又は点滅したときは、すみやかに適切な処置をしてください。

警告灯			
①充電警告灯	GPA0078 P.3-20	⑤KEY警告灯	GPA0091 P.3-22
②シートベルト警告灯	GPA0079 P.3-20	⑨トランスミッション警告灯	GPA0085 P.3-22
③ＳＲＳエアバッグ警告灯	GPA0080 P.3-21	⑫VDC警告灯	GPA0176 P.3-22
④ポップアップエンジンフード警告灯	GPA0081 P.3-21	⑯ブレーキ摩耗警告灯★	GPA0235 P.3-23

●以下の警告灯が点灯又は点滅したときは、マスターウォーニング⚠も同時に点灯し、車両情報ディスプレイに警告内容を表示します。すみやかに適切な処置をしてください。

警告灯					
⑥マスターウォーニング	GPA0082	P.3-24～3-33	⑪ABS警告灯	GPA0087	P.3-28
⑦油圧警告灯	GPA0083	P.3-24	⑫VDC警告灯	GPA0176	P.3-28
⑧故障警告灯（MIL）	GPA0084	P.3-25	⑬4WD警告灯	GPA0089	P.3-29、3-30
⑨トランスミッション警告灯	GPA0085	P.3-25、3-26	⑭タイヤ空気圧警告灯	GPA0090	P.3-30、3-31
⑩ブレーキ警告灯	GPA0086 ※パーキングブレーキを引いているときも警告灯が点灯します。解除して消灯すれば正常です。	P.3-27、3-28	⑮クルーズ警告灯	GPA0092	P.3-32

知識

●警告内容によっては、マスターウォーニングが点灯しない場合や、同時に点灯しない場合があります。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

■充電警告灯

GPA0014

●エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に連絡してください。

⚠ 注意

- 点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■シートベルト警告灯

GPA0016

●運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときはシートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- 点灯したまま走行すると、シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）（P.3-47）が鳴ります。

■SRSエアバッグ警告灯

GPA0018

●SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯又は点滅を続けます。

➡ 処置

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又は約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したままで走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

SRSエアバッグ…P.2-52
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト…P.2-46

■ポップアップエンジンフード警告灯

GPA0024

●ポップアップエンジンフードの電子制御システムに異常があると点灯します。

➡ 処置

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、又は約7秒間たっても点灯を続けるときは、すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯を続けるときは、放置したままで走行しないでください。
万一のときポップアップエンジンフードが正常に作動せず、歩行者の頭部への衝撃を緩和できないおそれがあります。

■KEY警告灯

GPA0022

●ステアリングロックやインテリジェントキーシステムに異常があると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に連絡してください。エンジンがかからないことや電源ポジションがLOCKから動かないことがあります。

■トランスミッション警告灯

GPA0177

●Rモード発進（P.3-77）を4回連続で使用すると、保護のためエンジン出力の低下とともに点灯し、使用できなくなります。クールダウン走行を行い、警告灯が消灯すると再度使用できます。

➡ 処置

- 点灯したときは、トランスミッション油温を確認しながら警告灯が消灯するまでクールダウン走行（約60〜80km/h、5〜6速で約2km）をしてください。

知識

- 点灯中はエンジン出力を抑えます。

■VDC警告灯

GPA0007

●VDC作動中に点滅します。
VDC-R…P.3-78

■ブレーキ摩耗警告灯★

GPA0147

●ブレーキパッドが摩耗すると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは一般道走行状態（60km/h以下）で約60kmを継続可能な走行の目安とし、すみやかにNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検及び交換してください。継続可能な走行の目安はあくまでも目安であり、お客様のブレーキの使い方により変化します。

⚠ 注意

- 点灯したまま長時間走行しないでください。ブレーキパッドの摩耗によりブレーキが効かなくなります。

ブレーキパッド、ブレーキディスクローターの交換…P.5-29

警告表示

以下の内容を検知すると、マスターウォーニングが点灯し、車両情報ディスプレイに警告内容を表示するとともにブザーが鳴ります。

- 警告灯が点灯又は点滅し、警告表示したときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 警告が複数ある場合、警告灯は点灯又は点滅し続けますが車両情報ディスプレイに表示される警告表示の内容は、一定の間隔ごとに表示が切り替わります。決定スイッチ❏（P.3-7）で警告内容を確認することができます。

GPA0178

■エンジン油圧不足

GPA0179

- エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

➡ 処置

- 点灯したときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に連絡してください。

⚠ 注意

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。

■エンジンシステム異常

警告
エンジンシステム異常
販売店で点検下さい
戻る

GPA0180

- エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯又は点滅します。

➡ 処置

- 点灯又は点滅したときは、ただちにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に連絡してください。

■シフトレバー位置確認

警告
シフトレバーの位置を
確認して下さい
戻る

GPA0181

- シフトレバーの位置が検知できない場合に点灯します。

➡ 処置

- 車両を停止させ、ブレーキペダルを確実に踏み込んだ上でシフトレバーを前後に動かしたあと、所定の位置に戻してください。
上記の操作をしても点灯を続ける場合はNHPC又はNISSAN GT-R特約工場で点検を受けてください。

シフトレバーの使いかた…P.3-62

■トランスミッションシステム異常

GPA0182

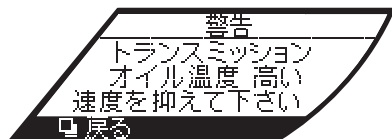
- トランスミッションシステムに異常があると点滅します。

➡ 処置

- すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

⚠ 注意

- トランスミッションシステムに異常がある場合、特定のギヤポジションが使えなくなったり、走行できなくなったりすることがあります。

■トランスミッションオイル高温

GPA0183

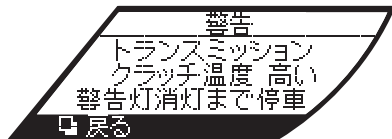
- トランスミッションオイルの温度が異常に高くなると点灯します。

➡ 処置

- 高速走行や高回転走行を避けて走行してください。
  しばらくして警告灯が消灯すれば通常通り走行できます。
- 警告灯消灯後、またすぐに点灯する場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

知識

- 警告表示の状態が続くと、トランスミッションの破損を防ぐためにエンジン出力を抑える場合があります。

■トランスミッションクラッチ高温

GPA0184

- トランスミッションのクラッチ温度が異常に高くなると点灯します。

➡ 処置

- すみやかに安全な場所に停車し、アイドリング状態にしてください。すぐに停車できない場合は、坂道発進や低速走行を繰り返すような運転は避け、安全な場所まで走行して停車してください。しばらく停車して警告灯が消灯すれば走行できます。
- 警告灯消灯後、またすぐに点灯する場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。トランスミッションが破損するおそれがあります。

知識

- 警告表示の状態が続くと、クラッチの破損を防ぐためにエンジン出力を抑えたあとクラッチを切り、走行できなくなる場合があります。

■パーキングブレーキ戻し忘れ

警告
パーキングブレーキを
解除して下さい
戻る

GPA0185

●パーキングブレーキ（🔍P.3-61）を戻し忘れたまま走行すると点灯します。

➡ 処置

● すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

⚠ 注意

● パーキングブレーキの解除のし忘れに注意してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告とともにパーキングブレーキ戻し忘れ警報（🔍P.3-47）が鳴ります。

■ブレーキ液量低下

警告
ブレーキ液量低下
販売店で点検下さい
戻る

GPA0186

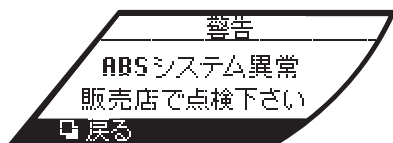
●ブレーキ液が不足しているとき点灯します。
（エンジン始動後でパーキングブレーキを解除しているとき。）

➡ 処置

● パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

⚠ 警告

● パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ABSシステム異常

GPA0187

- ABSの電子制御システムに異常があると(ABS)が点灯、又は(ABS)と(!)が同時に点灯します。
  (パーキングブレーキを解除しブレーキ液量が正常のとき。)

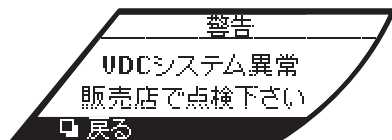
➡ 処置

- エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

アドバイス

- 警告灯が点灯したときはABSは作動しませんが、ABSのない普通のブレーキ性能は確保されています。この場合は、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

ABS…P.3-92

■VDCシステム異常

GPA0188

- VDC、ヒルスタートアシストの電子制御システムに異常があると点灯します。

➡ 処置

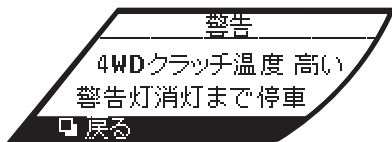
- 点灯したときは、すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

アドバイス

- 警告灯が点灯したときはVDC、ヒルスタートアシストの作動は停止しますが、それらのシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

VDC-R…P.3-78
ヒルスタートアシスト…P.3-91

■4WDクラッチ高温

警告
4WDクラッチ温度 高い
警告灯消灯まで停車
戻る

GPA0189

- 走行中、前後輪の回転数の差が大きい状態が続き、4WDクラッチの温度が異常に高くなると、4WDが速く点滅（約1秒間に2回）します。

➡ 処置

- すみやかに安全な場所に停車し、アイドリング状態にしてください。点滅中は保護のため、2WD状態になっています。これは故障ではありません。しばらくして点滅しなくなると、4WDに復帰し、通常通り走行できます。

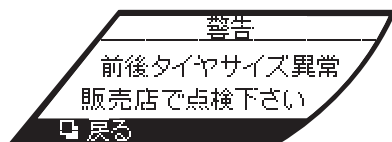
アテーサE-TS…P.3-80

アドバイス

- 後輪を滑らせるような走行をした場合、4WDクラッチの温度が異常に高くなり警告灯が点滅することがあります。警告灯を頻繁に点滅させるような走行はしないでください。4WDシステムに過大な負荷がかかり、温度が異常に上昇して破損します。

■前後タイヤサイズ異常

警告
前後タイヤサイズ異常
販売店で点検下さい
戻る

4WD

GPA0190

- 前後輪のタイヤ径差が大きすぎると、4WDが遅く点滅（約2秒間に1回）します。

➡ 処置

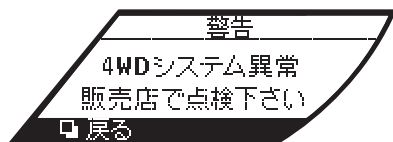
- 装着タイヤの内圧を確認してください。不足している場合は窒素ガスを充填してください。窒素ガスの充填については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

- 装着タイヤの状態を確認してください。次のような場合にはＮＨＰＣ又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
  - ・摩耗差の大きいタイヤの装着
  - ・前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着
  - ・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着

アテーサE-TS…P.3-80

アドバイス

- GT-R専用純正以外のタイヤを使用すると警告灯が点滅する場合があります。必ずGT-R専用純正タイヤを装着してください。
  GT-R特別指定部品について…P.1-9

■4WDシステム異常

GPA0191

●エンジン回転中、4WDシステムに異常があると、点灯します。

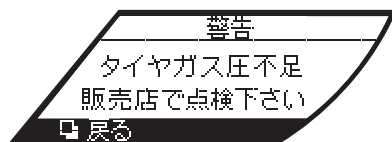
➡ 処置

- 4WDシステムに異常が発生しているため2WD状態になっています。高速走行をせず、すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

アドバイス

- 警告灯点灯時4WDシステムは、2WD又は弱4WDになりますが、通常の走行は可能です。ただしスピードは控えめにしてください。

アテーサE-TS…P.3-80

■タイヤ内圧点検

GPA0192

●タイヤの内圧が低下すると表示します。

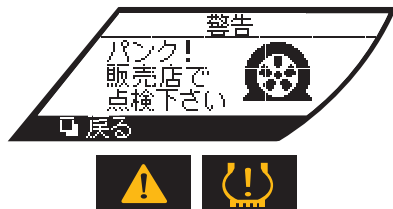
➡ 処置

- タイヤの内圧を調整してください。

アドバイス

- この車両は窒素ガスが充填されています。内圧の調整については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

タイヤについて…P.5-20

■タイヤパンク

GPA0193

●タイヤがパンクすると表示します。

➡ 処置

- すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

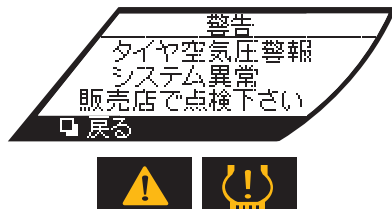
アドバイス

- この車両は、必ず指定タイヤに交換してください。また、タイヤ交換については必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に依頼してください。

知識

- タイヤがパンクすると、タイヤ空気圧警報（P.3-48）が鳴ります。

パンクしたときは…P.6-29
タイヤについて…P.5-20

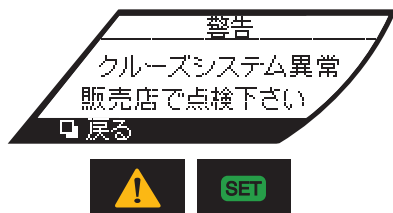
■タイヤ空気圧警報システム異常

GPA0194

●タイヤ空気圧警報システムに異常があると表示します。
警告表示すると、タイヤ空気圧警告灯が約1分点滅後、点灯に変わります。

➡ 処置

- すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

タイヤ空気圧警報システム…P.5-24

■クルーズシステム異常

GPA0195

● ASCD（オートスピードコントロール）に異常があると、SETが点滅し、ASCDを解除します。

➡ 処置

● 安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから再度セット操作をしてください。

アドバイス

● 上記の操作をしても点滅し続ける、又はセットできない場合は、システムの異常が考えられます。通常走行には支障ありませんが、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

■燃料残量警告

GPA0196

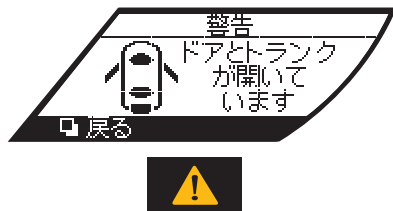
● 燃料が少なくなると表示します。残っている燃料で航続可能な距離を表示します。

➡ 処置

● すみやかに指定の燃料を補給してください。

知識

● 燃料の残量が約12ℓで表示します。
● 車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告を表示するタイミングが変わる場合があります。

■ドア・トランク開き

GPA0197

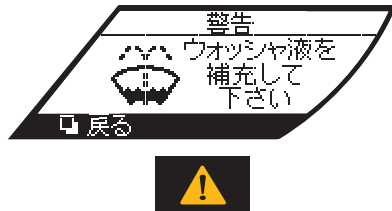
- ドア又はトランクが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。

➡ 処置

- ドアやトランクを確実に閉めてください。

⚠ 注意

- 走行前に消灯していることを確認してください。ドア、トランクが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ウオッシャー液不足

GPA0198

- ウオッシャー液が少なくなると表示します。

➡ 処置

- 早めにウオッシャー液を補給してください。

ウオッシャー液の補給…P.5-17

■キー持ち出し

GPA0199

●電源ポジションがON又はAccのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されると表示します。

➡ 処置

- インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか確認してください。
- 電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

知識

- 次の場合に表示が消えます。
  - ・インテリジェントキーが車内に戻ってきたとき。
  - ・キースロットにインテリジェントキーを挿入したとき。

●インテリジェントキーを携帯していないときに表示します。

➡ 処置

- インテリジェントキーを携帯してください。

●携帯しているインテリジェントキーの電池が切れているときに表示します。

➡ 処置

- 新しい電池に交換してください。（P.2-10）

●登録されていないインテリジェントキーを携帯しているときに表示します。

➡ 処置

- 自車のインテリジェントキーであることを確認してください。

知識

- 表示から約5秒経過すると表示が消えます。

操作表示

エンジン始動時や停止時になどで操作が必要な場合に表示します。操作表示されたときは適切な処置をしてください。
電源ポジションをONやOFFにしたときに表示します。

■エンジン始動操作

GPA0200

●ブレーキペダルを踏みながらエンジンを始動することを表示します。

➡ 処置

● ブレーキペダルを踏みながら、エンジンスイッチを押してください。

知識

● 次の場合に消灯します。
- ・エンジンを始動したとき。
- ・エンジンスイッチOFFから約15秒経過したとき。
- ・インテリジェントキー機能、又はリモートコントロールエントリー機能でドアを施錠したとき。
- ・シフトレバーがP以外になったとき。

■P戻し忘れ

GPA0201

●シフトレバーがP以外のとき、電源ポジションをONからOFFにすると表示します。
●シフトレバーがP以外にあることをお知らせします。

➡ 処置

● シフトレバーをPにしてください。

知識

● 次の場合に消灯します。
- ・シフトレバーをPにしたとき。
- ・電源ポジションをONにしたとき。

■電源ポジションOFF忘れ

GPA0202

- 電源ポジションがAccでⓅ戻し忘れ警告の表示中に、シフトレバーを操作してⓅにしたときに表示します。
- 上記を操作後、エンジンスイッチを押して電源ポジションをONにしたときに表示します。

➡ 処置

- 電源ポジションをOFFにしてください。

知識

- 次の場合に消灯します。
  - ・電源ポジションをOFFにしたとき。
  - ・エンジンを始動したとき。
  - ・シフトレバーをⓅ以外にしたとき。

■ステアリングロック未解除

GPA0203

- ステアリングロックを解除できないときに表示します。

➡ 処置

- ハンドルを軽く左右に回しながらエンジンスイッチを押してください。

知識

- 次の場合に消灯します。
  - ・ステアリングロックを解除したとき。
  - ・表示から約15秒経過したとき。

■インテリジェントキー挿入

GPA0204

●インテリジェントキーをキースロットに挿入しないとエンジンが始動できないことを表示します。

➡ 処置

● キースロットにインテリジェントキーを挿入してください。（P.3-60）

知識

● 次の場合に消灯します。
- 表示から約15秒経過したとき。
- キースロットにインテリジェントキーを挿入したとき。
- 運転席ドアを開けたとき。
- インテリジェントキー機能、又はリモートコントロールエントリー機能でドアを施錠したとき。

■インテリジェントキー抜き取り

GPA0205

●運転席ドアを開けたときにキースロットにインテリジェントキーが挿入されていることを表示します。

➡ 処置

● 降車時は、キースロットからインテリジェントキーを抜き取ってください。（P.3-60）

知識

● 次の場合に消灯します。
- キースロットからインテリジェントキーを抜き取ったとき。
- 運転席ドアを閉めたとき。
- 電源ポジションをAccにしたとき。
- エンジンを始動したとき。

■インテリジェントキー電池切れ

GPA0206

●インテリジェントキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。

➡ 処置

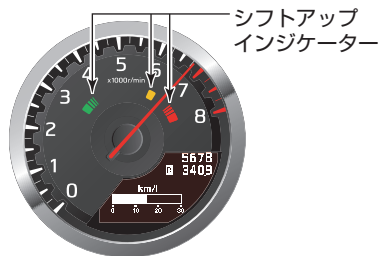
- 新しい電池に交換してください。(P.2-10)

知識

- 次の場合に消灯します。
  - ・表示から約30秒経過したとき。
  - ・電源ポジションをON以外にしたとき。
  - ・キースロットにインテリジェントキーを挿入したとき。

シフトアップインジケーター

どのギヤからでも一定のエンジン回転数でシフトアップする走行をしたいときや、エンジンの過回転を防ぐために警告としてシフトアップタイミングを知らせる表示灯です。

●シフトレバーが、Mレンジのときに作動し、AUTOモードとマニュアルモードの2種類の設定をすることができます。
OFFに設定すると、常時点滅・点灯しないようにすることができます。

GPA0238

■点滅・点灯のしかた

AUTOモード、マニュアルモードで次のように点滅・点灯し、シフトアップタイミングを知らせます。

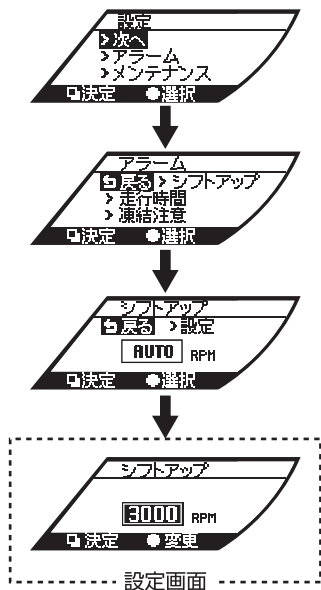
モード	インジケーター	表示色	点滅・点灯条件
AUTO		－	常時消灯
		黄	レッドゾーン約700rpm手前から点灯
		赤	レッドゾーン直前から点灯
マニュアル		緑	設定回転数の約500rpm手前から点滅し、設定回転数になると点灯
		黄	レッドゾーン約700rpm手前から点灯
		赤	レッドゾーン直前から点灯

GPA0239

■設定のしかた

設定状態は、車両情報ディスプレイに表示されます。

●選択スイッチ●で選択し、決定スイッチ❏で決定します。

❶「設定」を選び決定します。
❷「アラーム」を選び決定します。
❸「シフトアップ」を選び決定します。
❹「AUTO」、「回転数」、「OFF」を選択します。

GPA0208

■回転数の設定

●設定範囲は、3,000〜6,300rpmの間でできます。

●設定画面で、選択スイッチ●を押して回転数を切り替えます。

短く押す：
100rpm単位で切り替わる

長く押す：
500rpm単位で切り替わる

■使用例

エンジンの最高回転数まで使用した走行をしたい場合

- AUTOモードに設定し、次の点灯タイミングを目安に走行してください。
  レッドゾーン約700rpm手前から黄色が点灯し、レッドゾーン直前で赤が点灯します。

エンジンの最大トルク発生領域を活用した走行をしたい場合

- シフトアップインジケーターの点灯する回転数を6,000rpmに設定してください。

・5,500rpmから緑が点滅を開始し、6,000rpmで点灯します。
さらに回転数が上がると、黄色が点灯し、レッドゾーン直前で赤が点灯します。

ならし運転時の目安としたい場合

- 任意の回転数に設定してください。
  設定回転数の約500rpm手前から点滅し、設定回転数になると点灯します。

⚠ 注意

- 設定した回転数とタコメーターの表示に若干のずれが生じる場合があります。

知識

- シフトアップインジケーターを点灯しないようにするには、設定をOFFにしてください。
- バッテリーを外したときは、設定した回転数の記憶が消去されAUTOモードになります。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

インテリジェントキー機能の警報について

インテリジェントキー機能では、誤操作などによる予期せぬ車両の動き出しや、車両盗難などを防ぐため、車内外で警報ブザーを鳴らします。

- 警報ブザーが鳴ったときは、必ず車両及びインテリジェントキーの確認を行ってください。

GPA0209

知識

- 警報と同時に車両情報ディスプレイに操作表示（P.3-35）を表示する場合があります。

■ドア開閉時の警報

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピッピッピッ”と鳴ったとき

ドアを閉めたときに、車内警報ブザーが“ピピッピピッピピッ”と鳴ったとき

- 電源ポジションがAcc又はONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
  ⇒インテリジェントキーを車内に戻してください。
  ⇒電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

アドバイス

- インテリジェントキーがインストルメントパネル上、グローブボックス内、ドアポケット内、リヤパーセル上、トランク内などにあると警報ブザーが作動することがあります。

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピー”と鳴り続けたとき

●シフトレバーがP以外に入っているときに、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
⇒シフトレバーをPにしてからインテリジェントキーを持ち出してください。

知識

● 車外警報ブザーはシフトレバーをPに戻すと停止します。

運転席ドアを開けたときに、車内警報ブザーが“ポーン、ポーン…”と鳴ったとき

●電源ポジションがLOCKになっていますか？
⇒電源ポジションをLOCKにしてください。

●インテリジェントキーがキースロットに挿入されていませんか？
⇒キースロットからインテリジェントキーを抜き取ってください。

知識

● 車内警報ブザーは下記のいずれかの操作を行うと停止します。
・電源ポジションをLOCKにする。
・キースロットからインテリジェントキーを抜き取る。
・運転席ドアを閉める。

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ったとき

●電源ポジションがOFF又はLOCKになっていますか？
⇒電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

■ドアの施錠及びトランクの開閉時の警報

リクエストスイッチを押したときに、車外警報ブザーが“ピピピピ…”と鳴ったとき

●電源ポジションがOFF又はLOCKになっていますか？
⇒電源ポジションをOFF又はLOCKにしてください。

●インテリジェントキーを車内又はトランク内に置き忘れていませんか？
⇒インテリジェントキーを取り出してください。

●いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
⇒ドアを閉め直してください。

●ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
⇒ドアを閉めてからリクエストスイッチを押してください。

●インテリジェントキーがキースロットに挿入されていませんか？
⇒キースロットからインテリジェントキーを抜き取ってください。

知識

●警報ブザーが鳴ったときは、施錠されていません。原因を確認し、再度施錠してください。
●次の場合にインテリジェントキーのドア施錠スイッチを押しても警報ブザーが作動します。
・いずれかのドアが半ドアのとき。
・ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押したとき。

トランクを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピー”と鳴ったとき

●インテリジェントキーをトランク内又は車内に置き忘れていませんか？
⇒インテリジェントキーを取り出してください。

知識

- 車外警報ブザーは約10秒後に停止します。
- 車外警報ブザーが鳴っているときに以下の操作を行うと車外警報ブザーは停止します。
  - ・トランク内又は車内のインテリジェントキーを取り出し、再度トランクを閉めたとき。
  - ・いずれかのドアを開けたとき。
  - ・インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押して、ドアを施錠したとき。
  - ・インテリジェントキーのドア解錠スイッチを押して、ドアを解錠したとき。
  - ・リクエストスイッチを押してドアを解錠したとき。

■エンジンスイッチを押したときの警報

車内警報ブザーが“ピピピピピピッ”と鳴ったとき

●シフトレバーがPになっていますか？
⇒シフトレバーをPにしてください。

●電源ポジションがOFF又はLOCKになっていますか？
⇒電源ポジションをOFFにしてください。

車内警報ブザーが“ピピッピピッピピッ”と鳴ったとき

●インテリジェントキーを携帯していますか？
⇒インテリジェントキーを携帯してください。
⇒携帯している場合は、電池を交換（P.2-10）してください。

■シフトレバーをPにしたとき

車内警報ブザーが“ピピピピピピッ”と鳴ったとき

●電源ポジションがOFFになっていますか？
⇒電源ポジションをOFFにしてください。

■警報ブザー音別一覧表

警報ブザー音		何をしたときに鳴ったか？	確認すること
車外警報ブザー	ピピピピ・・・	リクエストスイッチを押したとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？
			インテリジェントキーを車内又はトランク内に置き忘れていませんか？
			いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
			ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
			インテリジェントキーがキースロットに挿入されていませんか？
		インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押したとき	ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していませんか？
		ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？
	ピッピッピッ	ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc又はONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
	ピー	ドアを閉めたとき	シフトレバーがPになっていますか？
		トランクを閉めたとき	インテリジェントキーをトランク内又は車内に置き忘れていませんか？
車内警報ブザー	ポーン、ポーン…	運転席ドアを開けたとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？
			インテリジェントキーがキースロットに挿入されていませんか？
	ピピッピピッピピッ	ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc又はONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
		エンジンスイッチを押したとき	インテリジェントキーを携帯していますか？（※）
	ピピピピピピッ	エンジンスイッチを押したとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？
			シフトレバーがPになっていますか？
		シフトレバーをPにしたとき	電源ポジションがAcc又はONのままになっていませんか？

※：インテリジェントキーを携帯していても警報ブザーが鳴るときは、インテリジェントキーの電池を交換してください。（P.2-10）

警報装置

インテリジェントキー機能の警報については、P.3-42をお読みください。

■ブレーキパッド摩耗警報（NCCBパッケージ装着車を除く）

ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗すると、走行中にブレーキ付近から金属同士が擦れる音（キーキー音）が発生します。

- 金属音が頻繁に発生するときは、すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

注意

- 金属音が発生したまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

■ヘッドランプ消し忘れ警報

ライトを点灯したまま、電源ポジションをAcc、（OFF）又はLOCKにして運転席ドアを開けると、ブザーが鳴ります。

ライトスイッチ…P.3-49

■リバースブザー

電源ポジションがＯＮのとき、シフトレバーをRにすると、車内でブザーが鳴ります。

知識

- ブザーを鳴らして、シフトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。車外の人に対する警報ではありません。

■パーキングブレーキ戻し忘れ警報

パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行（約7㎞/h以上）すると、ブザーが鳴ります。

- すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングブレーキ…P.3-61

■シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）

運転者がシートベルトを着用していない状態で走行（約15km/h以上）すると、約90秒間ブザーが鳴ります。

警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- 走行前にメーター内のシートベルト警告灯（P.3-20）が消灯していることを確認してください。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

■タイヤ空気圧警報

タイヤがパンクしたときにブザーが鳴ります。

- 最寄りのNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

知識

- 警報が鳴ったときは、メーター内のタイヤ空気圧警告灯（P.3-17）が点灯し、車両情報ディスプレイに警告表示（P.3-31）します。

スイッチの使いかた

ライトスイッチ

⚠ 注意

- 夕暮れや夜間時はLEDハイパーデイライトの点灯だけで走行しないでください。必ずヘッドランプを点灯して走行してください。

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

- ライトを点灯したままエンジンを止めて運転席ドアを開けると、ヘッドランプ消し忘れ警報（P.3-47）が鳴ります。
- ライトスイッチがOFF以外のとき、メーター照明の明るさとモニター画面の表示色がまわりの明るさによって切り替わります。

バッテリーセーバー

- ライトを点灯したままエンジンを止め、リクエストスイッチ又はリモートコントロールエントリー機能で施錠するとバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。（次回運転席ドアを開けるとライトが再点灯します。）

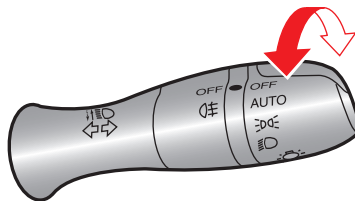
- ヘッドランプ、制動灯などの外装ランプは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
  ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる…P.1-56

LEDハイパーデイライト

- 周囲の車や歩行者などからの視認性を向上させます。
  - ・電源ポジションをONにすると点灯し、OFFにすると消灯します。
  - ・LEDハイパーデイライトキャンセルスイッチ◎で消灯させることができます。

  LEDハイパーデイライト…P.0-4
  LEDハイパーデイライトキャンセルスイッチ…P.3-52

ライトの点灯・消灯

スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると、次のように点灯・消灯します。

GPA0210

スイッチ位置	ヘッドランプ（前照灯）	車幅灯・尾灯番号灯
OFF	消　灯	消　灯
AUTO	自動点灯・消灯	
TCA0106Z	消　灯	**点　灯**
ECD0021Z	**点　灯**	**点　灯**

オートライトシステムの使いかた…P.3-50

■キセノンヘッドランプについて

光量が多く太陽光に近い白色であるため、明るく自然で見やすいヘッドランプです。

警告

- キセノンヘッドランプは、点灯時高電圧になります。感電防止のため、ランプの分解、改造はしないでください。ランプの脱着、バルブの交換は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

アドバイス

- ランプが切れかかったときには、一般の蛍光灯と同じように、著しく明るさが低下したり、点滅したり、赤味を帯びた色になることがあります。そのような現象が現れたときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

知識

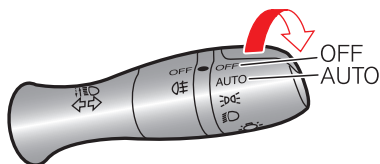
- ヘッドランプ点灯時は、安定するまで若干明るさや色が変化することがあります。

オートレベライザー

- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると自動的に照射方向を調整するシステムです。

オートライトシステムの使いかた

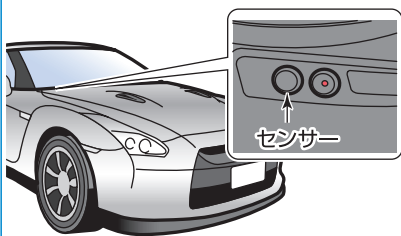
電源ポジションがONのとき、車外の明るさに応じてライトを自動的に点灯・消灯します。

●スイッチを回し、●の位置にマーク（AUTO）を合わせると、次のように点灯・消灯します。

GPA0211

車外の明るさ	ヘッドランプ（前照灯）	車幅灯・尾灯番号灯
明るいとき	消　灯	消　灯
薄暗いとき	消　灯	**点　灯**
暗いとき	**点　灯**	**点　灯**

●電源ポジションをOFFにすると消灯します。

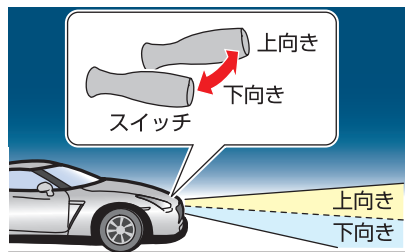
アドバイス

- 電源ポジションがONでスイッチがAUTO位置にある場合、車外が暗くなるとライトが点灯します。エンジン停止時に長時間点灯させせると、バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。
- センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

GPA0212

知識

- オートライトの感度を調節することができます。
  車両設定…別冊

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え

- ヘッドランプ点灯時、スイッチを車両前方に押すと上向き（ハイビーム）になります。
  （メーター内の表示灯が点灯）
- スイッチを手前に引くと下向き（ロービーム）になります。
- ライトスイッチの位置に関係なく、ヘッドランプの下向き位置よりさらにスイッチを手前に引いている間、ヘッドランプの上向きが点灯します。
  （メーター内の表示灯が点灯）

GPA0213

アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

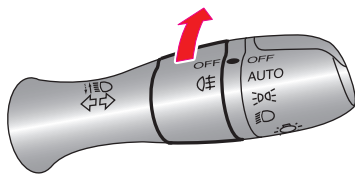
ヘッドランプ上向き表示灯…P.3-15

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

リヤフォグランプの点灯・消灯

ヘッドランプが点灯しているときに使えます。

●スイッチの(‡マークを●の位置に合わせるように回すと点灯します。（メーター内の表示灯が点灯）

●消灯するときは、もう一度スイッチを回します。（メーター内の表示灯が消灯）

GPA0214

ライトの点灯・消灯…P.3-49
リヤフォグランプ表示灯…P.3-16

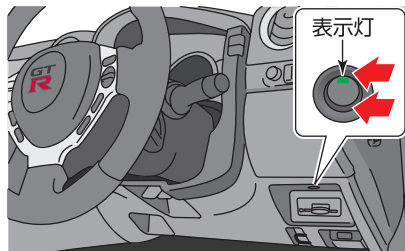
注意

- リヤフォグランプは霧、雨、雪などの視界が悪いときに使用してください。
- 晴天時は後続車の運転者の視界を悪くするため使用しないでください。
- 降雪時は雪が積もる場合があります。こまめに雪を取り除いてください。

LEDハイパーデイライトキャンセルスイッチ◎

LEDハイパーデイライトの点灯・消灯を切り替えることができます。

●スイッチを手前側に倒すと点灯します。（スイッチの表示灯が点灯）

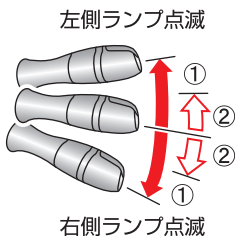
●スイッチを奥側に倒すと消灯します。（スイッチの表示灯が消灯）

GPA0216

LEDハイパーデイライト…P.3-49

方向指示器スイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

●スイッチを①の位置まで上又は下に動かすと、方向指示器のランプが点滅します。
（メーター内の表示灯が点滅）

●車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで上又は下に軽く押さえます。
スイッチを押している間、点滅し、手を離すと消灯します。
また、スイッチを②の位置まで上又は下に押さえたあと、すぐに手を離したときは3回点滅し消灯します。

GPA0215

アドバイス

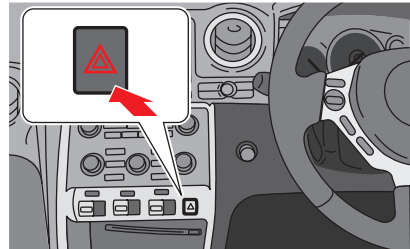
●方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。
電球（バルブ）を交換するときは…P.6-15

方向指示表示灯…P.3-15

非常点滅表示灯スイッチ

故障などでやむを得ず路上駐車するときや、非常時に使います。

●スイッチを押すと、全ての方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯（P.3-15）が点滅します。

●止めるときは、もう一度スイッチを押します。

GPA0033

アドバイス

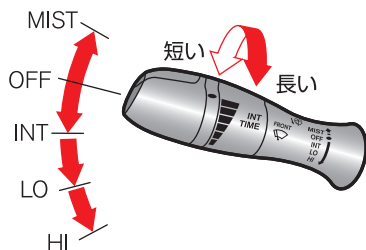
●エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

ワイパー・ウオッシャースイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

■ワイパーの使いかた

- スイッチを下げる（MISTは上げる）と、次のようにワイパーが作動します。
- 止めるときはOFFの位置に戻します。
- 間けつ作動の間隔を調節するときは、スイッチを回します。

GPA0232

スイッチ位置	作　　動
MIST	1 回 作 動
OFF	停　　　止
INT	間けつ作動
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

アドバイス

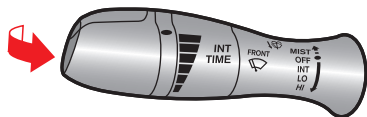
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分程度）待ってから、再度スイッチをONにしてください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- ガラスが乾いているときは、ウオッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。

知識

- MISTの位置では、スイッチを押し上げている間ワイパーは作動し、手を離すと自動的にOFF位置に戻り停止します。
- 車速変化に応じて間けつ作動の間隔が変わる車速感知式のON/OFF設定を切り替えることができます。

車両設定…別冊

■ウオッシャーの使いかた

●スイッチを手前に引くとウオッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

GPA0233

⚠ 警告

● 寒冷時は、窓ガラスに吹きつけられたウオッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ウオッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使って窓ガラスを温めてください。また、ウオッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。
ウオッシャー液の濃度点検…P.5-5

アドバイス

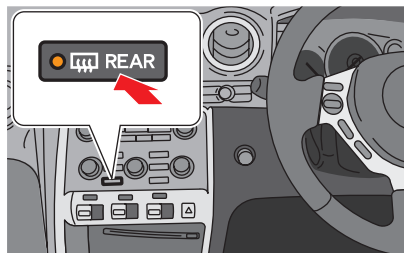
● ウオッシャー液が出ないときは、そのまままで30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
● ウオッシャー液を補給しても液が出ないときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

知識

● ウオッシャー液が少なくなると、車両情報ディスプレイに警告表示（P.3-32）します。

リヤウインドーデフォッガースイッチ

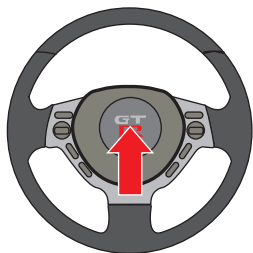
電源ポジションがONのとき使えます。
リヤウインドーガラス内側のくもりや、ドアミラーの霜やくもりを取るときに使います。

●スイッチを押すと約15分間作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）
●作動中に止めるときは、スイッチをもう一度押します。
（スイッチの表示灯が消灯）

GPA0036

アドバイス

● 連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいためバッテリーあがりの原因になります。
● リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ヒーター付ドアミラー（P.2-41）も同時に作動します。

ホーンスイッチ

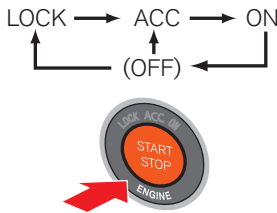
- ハンドルのラッパマークがあるパッド面を押すと、ホーンが鳴ります。

GPA0037

運転のしかた

エンジンスイッチ

■電源ポジションの切り替えかた

インテリジェントキーを携帯しているとき、ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと電源ポジションが切り替わります。

●電源ポジションがOFFのとき、いずれかのドアを開けるか、又は閉めるとLOCKに切り替わります。

GPA0038

電源ポジション	働　き
LOCK	ステアリングロックが作動する位置
Acc	オーディオ、ドアミラーなどが使える位置
ON	すべての電装品が使える位置
（OFF）※消灯	電源が切れる位置

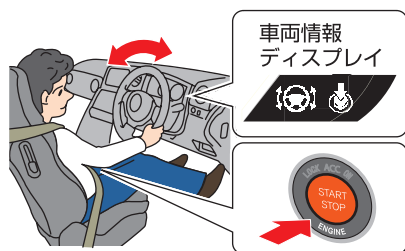
アドバイス

●バッテリーあがりを防止するため、以下の条件がそろった状態で約60分経過すると自動的に電源がOFFになります。
・電源ポジションがAccのとき。
・全ドアが閉まっているとき。
・シフトレバーがPのとき。

●エンジンを止めたままオーディオなどを長時間つけておいたり、電源ポジションをAcc又はONにしたまま長時間放置しないでください。バッテリーがあがり、エンジンの始動やステアリングロックの解除ができなくなります。

知識

●インテリジェントキーの電池が切れているときは、電源ポジションを切り替えることができません。キースロットにインテリジェントキーを挿入し、電源ポジションを切り替えてください。(P.3-60)

●エンジンスイッチを押したとき、車両情報ディスプレイにステアリングロック未解除の操作表示（P.3-35）が出たときは、ハンドルを軽く左右に回しながらエンジンスイッチをもう一度押してください。

GPA0218

エンジンの始動・停止のしかた

■エンジンの始動のしかた

運転するときは、インテリジェントキーを運転者が必ず携帯してください。

インテリジェントキーが作動範囲内にあるとき、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができます。

エンジン始動の作動範囲…P.2-4

⚠ 警告

- 換気の悪い車庫や屋内では、暖機運転をしないでください。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

⚠ 注意

- エンジンの始動は、必ず運転席に座って行ってください。車外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 高性能に対応したスパークプラグを採用しています。始動時間が長くなると、プラグがかぶりエンジンのかかりにくくなることがあります。

エンジンがかかりにくいときは…P.3-59

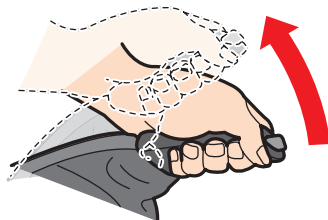
知識

- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- マニュアルトランスミッションと同様の、平行軸歯車構造や大きめのバックラッシュ量、ドライサンプ潤滑方式、軽量フライホイールを採用しているため、エンジン始動時や停止時に“ガラガラ”という音が発生することがありますが、異常ではありません。
特にトランスミッションオイルが高温の状態でエンジンを停止するときに発生しやすくなります。

❶アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認します。

・正しい運転姿勢（P.2-34）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。

GPA0040

❷パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

GPA0041

❸シフトレバーがPにあることを確認します。
・シフトレバーがNでも始動できますが、安全のため必ずPで始動してください。
❹ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
❺アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。
（一度押しただけでエンジンがかかります。）

エンジンがかかりにくいときは

ブレーキペダルを踏んで、アクセルペダルを全開に踏み込んでエンジンスイッチを約5秒間押し続けてください。
その後、❶～❺の操作をして始動してください。

アドバイス

- 緊急時以外は走行中にエンジンスイッチの操作を行わないでください。（走行中にエンジンスイッチを3連打以上、又は2秒間押し続けるとエンジンが停止します。）

知識

- エンジンの始動を連続して行うと保護機能が作動し、エンジンがかからなくなることがあります。その場合は、3分以上待ってから再度エンジンスイッチを押して始動してください。
- 高性能を維持するため、エンジン回転数を空吹かし時は5,000rpm以上に、またエンジンオイル・冷却水の温度が低い場合及び異常に高い場合は4,000rpm以上あがらないように制限しています。

■エンジンの停止のしかた

❶停車後シフトレバーをPにします。
❷エンジンスイッチを押します。
・電源ポジションがOFFになり、エンジンが停止します。

⚠ 注意

- 車から離れるときは以下のことをお守りください。
  - ・シフトレバーをPに入れる。
  - ・電源ポジションをLOCKにする。

アドバイス

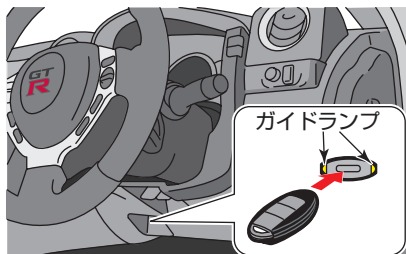
- シフトレバーをPに戻す前にエンジンスイッチを押すとOFFになりません。（P戻し忘れ（P.3-35）を操作表示）
エンジンを停止するときは、必ずシフトレバーをPにしてからエンジンスイッチを押してください。バッテリーあがりの原因になります。

⚠ 注意

- シフトレバーをA↔M又はRでエンジンを停止した後にエンジンをかけるときは、必ずPに入れてから始動してください。Nで始動するとA↔M又はRの位置にしても走行できない場合があります。その場合、車両情報ディスプレイにP戻し忘れ（P.3-35）を表示します。
- スポーツ走行後にエンジンをすぐに停止した場合に、エンジンルーム各部の冷却のためエンジン停止後も冷却ファンが約2分間作動することがあります。冷却ファン作動中は、手などが巻き込まれないように注意してください。

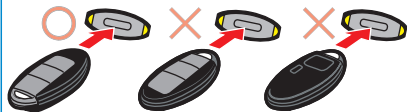
■インテリジェントキーの電池が切れたとき

インテリジェントキーの電池が切れると、キースロットのガイドランプが点滅し、車両情報ディスプレイにインテリジェントキー挿入（P.3-37）が表示されます。

- インテリジェントキーをキースロットに挿入すると、エンジンの始動ができます。

GPA0042

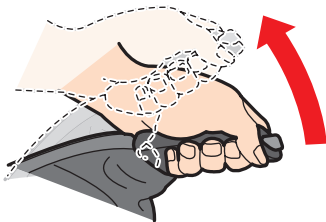
- 取り出すときは、電源ポジションをOFF又はLOCKにしてから抜き取ります。

アドバイス

- キースロットにインテリジェントキー以外のものを入れないでください。誤作動や破損の原因となったり、緊急時に正常に作動しなくなるおそれがあります。
- インテリジェントキーをメカニカルキー側から挿入しないでください。エンジンが始動できないことがあります。

GPA0043

- 必ず電源ポジションをOFF又はLOCKにしてからインテリジェントキーを取り出してください。誤って取り出してしまった場合には再度挿入し直してください。

パーキングブレーキ

●パーキングブレーキをかけるときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキレバーをいっぱいに引きます。

GPA0041

●解除するときは、パーキングブレーキレバーを少し引き上げながらボタンを押し、レバーを戻します。

警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 窓から身を乗り入れてパーキングブレーキを解除しないでください。車が動き出したときにブレーキペダルが踏めず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。

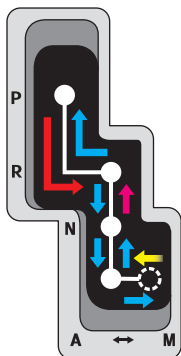
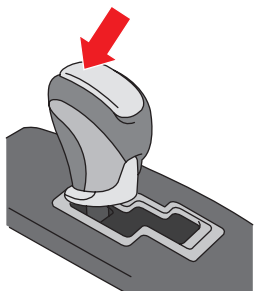
知識

- パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。
- パーキングブレーキをかけたまま走行すると、車両情報ディスプレイにパーキングブレーキ戻し忘れ警告（P.3-27）が表示され、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.3-47）が鳴ります。

シフトレバーの使いかた

■各シフトレバー位置の働き

シフトレバー位置	働き
P	**駐車及びエンジンを始動するときの位置** 電源ポジションをOFF又はLOCKに切り替えることができます。
R	**後退するときの位置** ギヤポジションがRであることをお知らせするために、車内でブザーが鳴り、運転者にお知らせします。 （車外の人に注意するものではありません。）
N	**動力が伝わらない状態の位置**
A↔M	**前進走行するときの位置** AからMに操作するとAレンジとMレンジを切り替えることができます。 切り替えかた…P.3-67 A（Aレンジ）：通常走行するときの位置で速度や走行状況に応じて１速から６速まで自動変速を行います。 M（Mレンジ）：パドルシフトの操作で１速から６速を任意に選択して走行できます。 Aレンジのときはポジションインジケーターに“A”、Mレンジのときは“M”の表示とともにギヤポジションを表示します。

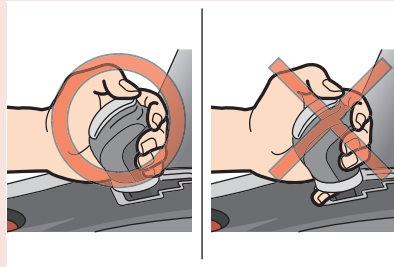
■シフトレバーの操作

シフトレバー操作	
	ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。
	ボタンを押して操作します。
	ボタンを押さずにそのまま操作します。
	自動で戻ります。

GPA0044

⚠ 警告

- シフトレバーや周辺の部品を絶対に分解しないでください。車両がシフトレバー位置を認識できなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 次のような操作は、トランスミッションやクラッチを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
  - ・車が完全に停止する前にPに入れる。
  - ・車を前進させているときにRに入れる。
  - ・車を後退させているときにA↔Mに入れる。
  - ・Nでエンジン回転数を上げた後、A↔M又はRに入れる。
  - ・坂道でブレーキペダルを踏まず、アクセルペダルの調節で停止する。
- 車両が停止する前にRからA↔M又はA↔MからRにシフトレバーを切り替えると、変速が遅れたり変速できない場合があります。必ずブレーキペダルを踏んで車両が確実に停止していることを確認してから操作してください。
- シフトレバー内部に強力磁石を使用しているため、医療電気機器など磁力の影響を受けやすいものを近づけたりしないでください。

⚠ 注意

- シフトレバーは正しく握って操作してください。
  レバーとゲートの間に指などを挟んだりして思わぬけがをするおそれがあります。

GPA0045

- GT-Rは転がり抵抗を小さくしているため、Nのときも道路のわずかな勾配によって車両が簡単に動きます。
  必ずブレーキペダルを踏んでください。

アドバイス

- シフトレバーの故障の原因となるため、以下のことをお守りください。
  - ・水や飲料などをこぼさない。
  - ・砂などが掛からないようにする。
  - ・ノブの革の手入れには、市販の浸透性つや出し剤などを塗らない。
    また、多分に水分を含んだ布などでふかない。

  お手入れのしかた…P.5-15
- ➡印の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反してP、Rに入れてしまうおそれがあります。
- Pから操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、シフトレバーを動かせないことがあります。ボタンはブレーキペダルを踏んでから押してください。
- スポーツ走行などの高負荷走行後にシフトレバー周辺の温度が高くなり、異音がすることがありますが故障ではありません。
- ブレーキペダルとアクセルペダルを同時に踏み込むと、クラッチが加熱状態となり、摩耗や劣化の進行が早まります。
  ⇒ブレーキペダルとアクセルペダルを同時に踏みこむ操作は控えてください。

知識

- シフトレバー周辺にはコインなどの小さなものを置かないようにしてください。取れなくなるおそれがあります。
- シフトレバー周辺に電化製品や磁気による影響があるものを置かないでください。
- 冷間時の始動直後に、車両情報ディスプレイに「トランスミッションシステムチェック中」と表示されているときは、Pからシフトレバーが動かせません。
  これはトランスミッションのシステムをチェックしているためで、異常ではありません。
  車両情報ディスプレイの表示が消えてから操作してください。

GT-R 機能・性能・しくみ

デュアルクラッチトランスミッション

- クラッチの直結制御によりアクセルペダルの操作のみで駆動力をコントロールすることができます。また、力強い加速と強力なエンジンブレーキを得ることができ、ダイレクトな走りを実現しています。
- デュアルクラッチを採用することで、パドルシフト操作ですばやい変速を可能としているため、変速時に駆動力が切れることがなく、ターボチャージャーのブースト圧を保ったまま力強い走行をすることができます。

  アテーサE-TSと1.5Wayメカニカル LSD付リヤファイナルドライブをトランスミッションと一体化し、軽量・コンパクト化を実現しました。

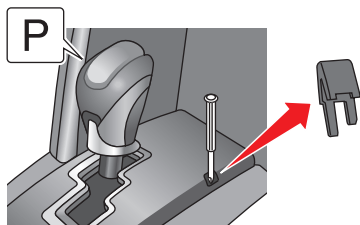
■シフトロック解除ボタンの使いかた

万一バッテリーあがりなどでシフトレバーをPから動かせないときに使います。

❶安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。

❷お手持ちのマイナスドライバーなどでふたを外します。

・傷つきを防ぐため、ドライバーに布などをあてて外してください。

❸お手持ちの精密ドライバーなどでシフトロック解除ボタンを押しながらシフトレバーのボタンを押して、シフトレバーを動かします。

GPA0046

アドバイス

- シフトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム（P.1-53）などの故障が考えられます。すみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

■アダプティブシフトコントロール

急な上り下りや、カーブが連続するような道路状況でも快適で安全な走りを実現できるよう自動的に適切なギヤチェンジを行います。

上り坂やカーブでの制御

変速回数の少ないなめらかな走行ができるように、坂の勾配やカーブに応じて低速ギヤを保持します。

下り坂での制御

エンジンブレーキを併用させることで、フットブレーキを使う回数を低減させるように坂の勾配に応じて低速ギヤに切り替えます。

スポーティな走行での制御

アクセルペダルを踏み込んだときにもたつきのないスムーズな加速が得られるように、加速・減速を繰り返すような連続するカーブでは低速ギヤを保持します。

⚠ 注意

- 走行開始直後で暖まっていないときや、スポーツ走行などで油温が高いときは、アダプティブシフトコントロール制御が作動しない場合があります。その場合には必要に応じてMレンジに切り替えてシフトダウンしてください。

Ⓜレンジの使いかた

Ⓐレンジのときにシフトレバーを Ⓜ側に操作したり、パドルシフトを操作するとⓂレンジに切り替わります。
（ポジションインジケーターに、“M”とギヤポジションを表示します。）

●パドルシフトで切り替えた場合、1回目の操作はⒶレンジからⓂレンジに切り替え、2回目の操作から変速します。

知識

●発進時は、1速を使用してください。この車両は、2～6速での発進はできません。

■各ギヤポジションの働き

ギヤポジション	働き
1M	1速の状態を表示しています。 発進時や低速時に力強い加速、エンジンブレーキが必要なときに使います。
2M	2速の状態を表示しています。中低速時に力強い加速、エンジンブレーキが必要なときに使います。
3M	3速の状態を表示しています。 中速時に、加速、やや軽いエンジンブレーキが必要なときに使います。
4M	4速の状態を表示しています。 中高速時に、加速、軽いエンジンブレーキが必要なときに使います。
5M	5速の状態を表示しています。 高速時に使います。エンジンブレーキは弱くなります。
6M	6速の状態を表示しています。 高速時に使います。エンジンブレーキは最も弱くなります。

■各ギヤポジションの限界速度

ギヤポジションを切り替えるときは、エンジンを過度に回転させないために、下表の速度を超えないようにしてください。

ギヤポジション	1M	2M	3M	4M	5M
限界速度	58	102	148	180	180

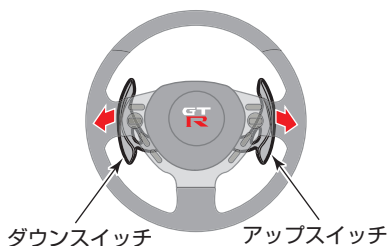
■切り替えかた

シフトレバーをM側又はパドルシフトを操作します。
（ポジションインジケーターの表示が“A”から“M”に変わりギヤポジションを表示します。）

シフトアップ

●右側のパドルシフトを手前に引きます。

シフトダウン

●左側のパドルシフトを手前に引きます。

GPA0053

■解除のしかた

●シフトレバーを再度M側に操作します。
（ポジションインジケーターの表示が“M”から“A”に変わりギヤポジションを表示します。）

GT-R 機能・性能・しくみ

●パドルシフトにはマグネシウム合金を使用しています。その鋳造時に生じる独特な模様や素材自体の質感を生かせるよう、表面塗装はクリアコーティングのみとしています。

運転のしかた

この車両は、デュアルクラッチトランスミッションを搭載しており、マニュアル車のクラッチ操作と変速操作を必要とせず、オートマチック車と同様の運転操作で走行することができます。自動変速により運転が簡単になりますが、特有の取り扱いかたがありますので、運転の基本操作を十分理解して、正しく操作する習慣をつけてください。

⚠ 警告

- 発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだままのシフトレバー操作をしないでください。急発進して、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- マニュアルトランスミッションのクラッチ操作と変速操作を自動制御するデュアルクラッチトランスミッションを搭載しているため、シフトレバーがP又はN以外のときは、マニュアル車の半クラッチのような状態になり、車両がゆっくりと動き出します。
  停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。(状況により車両が動き出さない場合がありますが異常ではありません。)

■発進のしかた

通常時や急な上り坂での発進

1. ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、シフトレバーを動かします。
   - 前進するときはシフトレバーをA↔Mに入れます。
   - 後退するときはRに入れます。
   - シフトレバー位置と、メーター内のポジションインジケーターを、目で確認してください。
2. パーキングブレーキを解除します。
3. ブレーキペダルを徐々にゆるめたあと、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。
   Rモード発進…P.3-77

アドバイス

- パーキングブレーキをかけているときはクラッチ過熱を防ぐため、アクセルペダルを踏んだときのエンジン出力を抑えています。特に坂道などでパーキングブレーキをかけたままアクセルペダルを踏み込むと滑らかな発進ができない場合があります。
  滑らかな発進をするためにもパーキングブレーキを解除してから発進してください。

知識

- 急な上り坂で発進するとき、ヒルスタートアシスト(P.3-91)が作動します。

■走行のしかた

⚠ 注意

- 走行中はシフトレバーをNにしないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、エンジン回転が急激に吹き上がり、過回転によるエンジンの故障やトランスミッションが故障する原因となります。

アドバイス

- トランスミッションは効率向上や高G下での信頼性確保のため、ドライサンプ潤滑システムを採用しています。
  低温時のオイルの粘度が高いときにはオイルがいき渡るまでの時間が長くなります。
  そのため、トランスミッション油温が低いとき（約40℃以下）は、急加速やエンジンを高回転（4,000rpm以上）にして走行しないでください。

通常の走行

- シフトレバーをAに入れたまま走行します。
- アクセルペダルの踏みかげんと走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに自動変速されます。
  シフトレバーの使いかた…P.3-62

急加速したいとき

Aレンジ

アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
キックダウンし、急加速します。

Mレンジ

パドルシフトでシフトダウンしてアクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。

上り坂の走行

- 速度が下がってきたら、シフトレバーはAのままでアクセルペダルを踏み込みます。
  坂の勾配に応じて、自動的に低速ギヤに切り替わり、低速ギヤを保持します。
- アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、キックダウンすることがあります。
- 走行中、自動変速の回数が多いときは、Mレンジで走行してください。なめらかな走行ができます。

下り坂の走行

エンジンブレーキを併用して走行します。

●坂の勾配に応じてシフトダウンし、エンジンブレーキが効きやすい状態にします。

●坂の勾配に応じて、強いエンジンブレーキが必要な場合は、Mレンジに切り替えて2速又は1速にします。

●勾配のゆるい下り坂では、Mレンジの4速又は3速にすると、軽いエンジンブレーキが得られます。

警告

- シフトレバーがAのとき、低速ギヤを保持してエンジンブレーキが効きやすい状態に制御しますが、スピードが出すぎるときは坂の勾配に応じてMレンジに変更し、パドルシフトでシフトダウンしてください。フットブレーキだけを使い続けると、フットブレーキに負担がかかり、過熱してブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。必ずエンジンブレーキを併用してください。
- Aレンジで走行しているときは、アダプティブシフトコントロール（P.3-64）により、急な上り下りやカーブが連続するような道路状況でも快適で安全な走りを実現できるよう自動的に適切なギヤチェンジを行いますが、走行開始直後でトランスミッション油温が低いときや、スポーツ走行などで油温が高いときは、制御が作動しない場合があります。その場合には、坂の勾配に応じてMレンジに切り替えて低速ギヤに入れてください。
- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせないでください。タイヤがスリップするおそれがあり危険です。

■停車のしかた

●シフトレバーはA↔M又はRのままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。

●上り坂では、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

●停車時間が長くなるときは、シフトレバーをP又はNに入れます。

警告

- 停車中の空吹かしはしないでください。万一、シフトレバーがP、N以外にあると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、シフトレバーの位置と、メーター内のポジションインジケーターを、目で確認してください。
- この車両はエンジン回転中、エンジンからトランスミッションに動力を伝えるプロペラシャフトが常時回転しています。車両の下にもぐりこむなどした場合、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

アドバイス

- 坂道ではアクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスミッションを破損する原因となります。

■駐車のしかた

❶車を完全に停止させます。
❷ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
❸シフトレバーをPに入れます。
・シフトレバー位置と、メーター内のポジションインジケーターを、目で確認してください。
・シフトレバーをPに入れると駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。
❹エンジンを止めます。

注意

- 車から離れるときは、必ずシフトレバーをPに入れ、エンジンを止めてください。エンジンがかかったままで、シフトレバーがP以外に入っていると、半クラッチの状態や勾配で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

ブレーキシステムが濡れたまま長時間放置しない
〈NCCBパッケージ装着車を除く〉
- この車両には鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しています。
  そのため、洗車などによりブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。
  ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合についてはGT-R特別項目P.1-33をお読みください。

〈NCCBパッケージ装着車〉
NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）★が濡れたまま長時間放置しない…P.1-31をお読みください。

■そのほかに気をつけること

警告

- 坂道などでシフトレバーをA↔Mに入れたまま惰性での後退をしたり、Rに入れたまま惰性での前進をしないでください。エンジンが止まり、極度にハンドルの操作力が重くなったりブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルペダルとブレーキペダルを両方踏み込んだ走行や加速・減速はしないでください。トランスミッションを破損する原因になります。また、低速のときはエンジンが止まり思わぬ事故につながるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

●車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、シートベルトを装着し、ブレーキペダル、アクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

●後退時は身体をひねった状態となり、ペダルの操作を間違うおそれがあります。ブレーキペダルが確実に踏める姿勢をとるようにしてください。
●少し後退したときなどは、シフトレバーをRに入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐシフトレバーをNに戻す習慣をつけてください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

ターボ車の扱いかた

ターボ装置の故障を防ぎ、性能を十分に引き出すために、以下の点をお守りください。

■エンジン始動直後の運転のしかた

●エンジンが冷えているとき、空吹かしや急加速はしないでください。

アドバイス

● 高性能に対応したスパークプラグを採用しています。そのため、短時間にエンジンの始動・停止を繰り返すとプラグがくすぶりエンジンのかかりが悪くなることがあります。始動性悪化を防止するため、短時間の間にエンジンの始動・停止をすることは避けてください。

■エンジンオイルとエンジンオイルフィルターの交換

●指定のオイルを使用し、交換時期を守ってください。

点検及び補充	
エンジンオイル Mobil 1（0W－40）	3,000km

交換時期	
エンジンオイル Mobil 1（0W－40）	15,000km又は1年
オイルフィルター	エンジンオイル交換時にセットで交換

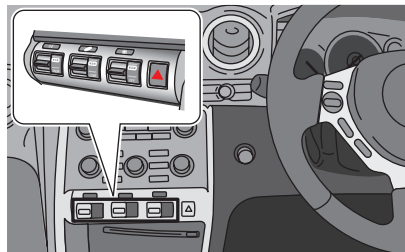
アドバイス

● スポーツ走行する場合は、交換条件に従ってエンジンオイルを交換してください。オイルフィルターはエンジンオイルと同時にセットで交換してください。
スポーツ走行する場合のメンテナンスについて…P.1-21
● エンジンオイルは指定のオイルをご使用ください。エンジンオイル、オイルフィルター交換時はNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
● 指定のオイルを使用し、交換時期をお守りいただかないと、ターボ軸受け部の固着や異音発生などの故障の原因となります。
● 納車時のエンジンオイルレベルは、スポーツ走行時に最適な「H-10mm」に合わせています。
● 高出力化に伴いエンジンオイルへの負担が増えています。高性能を維持するため、3,000kmごとのオイルレベル点検と補充を必ず実施してください。エンジンオイル消費量の目安は、最大で0.5ℓ/1,000kmです。これ以下のエンジンオイル消費は異常ではありません。
● スポーツ走行をされないお客様は、Hレベルまで補充しても問題はありません。

知識

● 車両情報ディスプレイで、エンジンオイル量を確認することができます。また、メンテナンスの設定で交換距離を設定することができます。
ドライブコンピューター…P.3-7

セットアップスイッチの使いかた

各セットアップスイッチの操作で、デュアルクラッチトランスミッション、ビルシュタイン製DampTronic電子制御式ショックアブソーバー、VDC-R（ビークルダイナミクスコントロール）の制御状態を変更することができます。

GPA0135

※Bilstein DampTronicは、ThyssenKrupp Bilstein Suspension GmbHの登録商標です。

■各モードのねらい

Rモード

GPA0123

スポーツ走行や超高速走行でGT-Rが持つ性能を最大限に引き出せるモード

ノーマルモード

日常走行から一般スポーツ走行に適したモード
（エンジンを再始動すると、全てのモードは自動的にノーマルモードに戻ります。）

各システム固有のモード

- トランスミッション：SAVEモード

GPA0222

長距離移動時の高速走行での燃費向上と、楽なアクセルペダル操作による疲労を低減するモード

- ショックアブソーバー：COMFモード

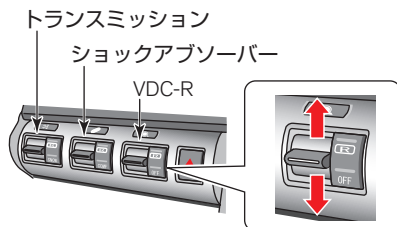
GPA0125

日常走行用のモード

- VDC-R：OFFモード

GPA0126

ぬかるみや深雪でのスタック時、脱出を補助する緊急対応モード

■モードの切り替えかた

GPA0122

●モードを切り替えるときは、エンジン回転中に各セットアップスイッチを上下に操作して切り替えます。

スイッチ操作(約1秒以上)
スイッチ操作
※AレンジとMレンジを切り替えても、モードは保持します。

GPA0221

知識

- VDCのセットアップスイッチに表示されているESC（Electronic Stability Control）OFFの表示はVDC（Vehicle Dynamics Control）OFFを意味するものです。
- 電源ポジションをONにすると、セットアップスイッチの表示灯が一瞬点灯する場合がありますが、異常ではありません。

■各モードの特徴

トランスミッション

Aレンジと Mレンジで制御が異なります。

シフトレバー	セットアップモード	特　徴
Aレンジ A	R GPA0123	● スポーツ走行や超高速走行で適切なギヤポジションを自動選択します。 ● VDC-RのRモードと組み合わせると、Rモード発進が使用できます。 Rモード発進…P.3-77
	ノーマル（消灯）	● 日常走行から一般スポーツ走行まで幅広く、適切なギヤポジションを自動選択します。
	SAVE GPA0222	● 長距離移動時の高速走行において、余分なエンジン出力を抑えることで燃費が向上します。 ● エンジンレスポンスを緩やかにすることで、アクセルペダル操作が楽になり、運転時の疲労を低減します。また、雪道などの滑りやすい路面での走行もしやすくなります。
Mレンジ M	R GPA0123	● すばやいダイレクトな変速が楽しめます。 ● エンジン回転数がレッドゾーンに達しても自動でシフトアップしません。 ● VDC-RのRモードと組み合わせると、Rモード発進が使用できます。 Rモード発進…P.3-77
	ノーマル（消灯）	● 日常走行から一般スポーツ走行まで幅広く、任意のギヤポジションを選択し走行できます。 ● エンジン回転数がレッドゾーン手前になると自動でシフトアップします。
	SAVE GPA0222	● 長距離移動時の高速走行において、余分なエンジン出力を抑えることで燃費が向上します。 ● エンジンレスポンスを緩やかにすることで、アクセルペダル操作が楽になり、運転時の疲労を低減します。また雪道などの滑りやすい路面での走行もしやすくなります。 ● エンジン回転数がレッドゾーン手前になると自動でシフトアップします。

⚠ 注意

- エンジン回転数がレッドゾーンに入らないように運転してください。故障の原因になります。
- MレンジのRモードでは、スポーツ走行時に変速スピードが最速になるようにしているため、日常走行時では変速スピードが遅くなる場合があります。

ショックアブソーバー

セットアップモード	特　　徴
R GPA0123	●ショックアブソーバーの減衰力を固定し、高速走行やスポーツ走行に適した特性になります。 ●乗り心地が多少硬めになります。
ノーマル（消灯）	●ショックアブソーバーの減衰力を可変制御し、日常走行からスポーツ走行まで幅広いレンジをカバーした特性になります。
COMF GPA0125	●ショックアブソーバーの減衰力を可変制御し、乗り心地を重視した走行に適した特性になります。

アドバイス

●Rモード、COMFモードで走行中に、通常想定している条件以外の走行（スピンやジャンプなど）をした場合、表示灯が消灯し、ショックアブソーバーの制御が解除される場合があります。この場合、自動的に復帰しますが、復帰しない場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

VDC-R

セットアップモード	特　　徴
R GPA0123	●スポーツ走行や超高速走行時に使用するモード。 ※雪道や凍結路などの滑りやすい路面や日常走行では、絶対に使用しないでください。 ●トランスミッションのRモードと組み合わせると、Rモード発進が使用できます。 Rモード発進…P.3-77
ノーマル（消灯）	●晴天時や雨天時だけでなく、雪道や凍結路などの滑りやすい路面まで、日常走行で幅広く使用するモード。 ※日常走行時は必ずノーマルモードを使用してください。
OFF GPA0126	●ぬかるみや深雪でのスタック時、脱出を補助する緊急対応モード。（トランスミッションのSAVEモードと合わせて使用することで、より脱出が容易になります。）

Rモード発進

セットアップスイッチのトランスミッションとVDC-RのモードをRモードに切り替えることで、停車状態からの発進加速性能を楽しめます。（なお、この時のエンジン回転数は4,000rpm程度に保たれます。）
Rモード又はRモード発進を使用するときは、むち打ちなどに注意し、正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調整してください。

⚠ 警告

- 交通ルールやマナーを守って運転してください。
- 周囲の交通状況や路面状態から判断して安全が確保できるときのみ使用してください。
- 濡れた路面のような滑りやすい状況では、急激なタイヤスリップによってハンドルを取られるおそれがあり危険ですので使用しないでください。
- Rモード発進は、エンジン・トランスミッション・VDCの制御だけでなく、サスペンションやタイヤなどのセッティングも含めて開発されています。
  よって改造すると車両のバランスが崩れ、性能が発揮できないだけでなく、トランスミッションなどのパワートレイン系部品が破損するおそれがあります。

知識

- エンジン冷却水やトランスミッションオイルの温度が低いときや高いときは使用できません。
  使用できる範囲は以下のとおりです。
  - エンジン冷却水温度：60℃以上～100℃以下
  - トランスミッションオイル温度：60℃以上～130℃以下
- Rモード発進を4回連続で使用すると、保護のためエンジン出力の低下とともにトランスミッション警告灯（P.3-22）が点灯し、使用できなくなります。クールダウン走行を行い、警告灯が消灯すると再度使用できます
- 性能は、路面状態によるタイヤスリップの大小や、気温によるエンジン出力の増減によって変化することをご承知おきください。（GT-RのRモード発進は、気温15℃の仙台ハイランドレースウェイ直線部分の路面状態で、セットアップされています。）
- 濡れた路面のような滑りやすい状況では、安全を確保するためブレーキをかけたり、エンジン出力を抑える、VDC制御が入る場合があります。
- Rモード発進を多用すると、通常の発進時に比べ、クラッチやトランスミッションなどのパワートレイン系部品に大きな負担がかかります。特にクラッチは摩耗や劣化の進行が早まります。

■使いかた

1. シフトレバーをA又はMに入れます。
2. セットアップスイッチでトランスミッションをRモードに切り替えます。
   セットアップスイッチ…P.3-73
3. セットアップスイッチでVDC-RをRモードに切り替えます。
4. 左足でブレーキペダルをしっかり踏み込みます。
5. 右足でアクセルペダルを素早くいっぱいに踏み込みます。（エンジン回転数が4,000rpm程度に保たれます。）
6. アクセルペダルを踏み込んでから3秒以内にブレーキペダルを離します。

VDC-R（ビークルダイナミクスコントロール）

走行中、滑りやすい路面や障害物の緊急回避などのときには、車両が横滑りや尻振りを起こすことがあります。
VDCは横滑りや尻振りを起こしそうになると横滑り状態をセンサーが判別し、ブレーキ制御とエンジン出力制御により走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

- セットアップスイッチで制御モードを変更することができます。
  セットアップスイッチの使いかた…P.3-73
- VDCが実際に作動しているとき、メーター内のVDC警告灯が点滅します。
- VDCシステム内のトラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯が点滅します。
- VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。
  VDC警告灯…P.3-22、3-28

⚠ 注意

- この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やコーナーの手前では特にスピードを落とし安全運転に心がけてください。

⚠ 注意

- GT-Rの部品を純正品以外には交換しないでください。交換したり、改造を行うと、VDC警告灯が点灯することがあります。
  その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
- サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗及び劣化した状態で走行すると、VDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
- 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動くものの上に車があるとき、VDCの警告灯が点灯することがあります。この場合はターンテーブルなど動くものの上から降りてからエンジンをかけ直してください。
- 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行するとVDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

注意

- GT-Rは超高性能車であり、走行安定性の確保及び正常なパワートレーン系の作動を保証するため、走行前に必ずVDCが作動状態である（VDCセットアップスイッチとメーター内のVDC OFF表示灯が消灯している）ことを確認してください。
  VDC OFFモードは一時的にVDCの作動を停止し駆動力を確保することで、ぬかるみや深雪でのスタック時、脱出を補助するために使用する緊急対応モードです。これらの緊急対応を除き、VDC OFFモードの使用履歴が車両状態記録装置に記録されていた場合は、走行に関連したいかなる問題も保証対象外となります。また、万一の事故等の責任も負いません。
  但し、VDC OFFモードでサーキット走行、公認競技走行及びシャシーダイナモ走行した場合は、走行後にNHPCでスポーツ点検を行うことで再度保証を適用（復帰）させることが可能になります。
  車両状態記録装置…P.1-58

アドバイス

- VDCが作動すると発進時や加速時に車体及びペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- ぬかるみや深雪でのスタック状態から脱出するときなどは、スリップ状態を感知し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転数が上がらないことがあります。回転数を上げたいときはセットアップスイッチでトランスミッションをSAVEモードに、VDCをVDC OFFモードにしてください。
- VDCをOFFにするとABS機能を除くVDCの全ての機能（トラクションコントロールを含む）が停止します。

知識

- 電源ポジションをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

アテーサE−TS

アテーサE−TSシステムは前輪と後輪のトルクを最適な配分に制御し、FR車の優れた旋回性能と4WD車の安定性を両立させた4WDシステムです。
電子制御の働きにより走行状態や路面状況に応じて前・後輪のトルクを0：100（後輪駆動状態）～50：50（4輪駆動状態）まで連続制御し、エンジンの出力（トルク）をタイヤを通して路面に有効に伝えます。
後輪駆動状態から4輪駆動状態まで連続して自動制御します。

- 4WD警告灯は電源ポジションがONで点灯し、エンジンがかかると消灯します。
  アテーサE−TSシステムに異常があると点灯します。
- 前後輪のタイヤ径差が大きすぎると、4WD警告灯が遅く点滅します。
  4WD警告灯…P.3-29、3-30

注意

- 4WD警告灯が点灯したとき、又は電源ポジションをONにしても点灯しないときはすみやかにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。
- 4WD警告灯が点滅したときは、装着タイヤ及びタイヤ内圧を点検してください。タイヤを点検しても点滅を続けるときはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。
  タイヤについて…P.5-20
- 4WD警告灯点灯時、4WDシステムは2WD又は弱4WDになりますが、通常の走行は可能です。ただしスピードは控えめにしてください。
- 後輪を滑らせるような走行はしないでください。
  システムに過大な負荷がかかり、温度が異常に上昇して破損します。

■走行するとき

- オフロード（不整地）走行やラリー走行用ではありません。走行するときは以下のことを必ずお守りください。
  - ・渡河などの水中走行はしないでください。
  - ・砂地、ぬかるみなど、後輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
  - ・脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。
- 運転操作は一般車と同様です。ハンドル、アクセルペダル及びブレーキペダルなどの操作は慎重に行い、安全運転に心がけてください。

知識

- アテーサE-TSは優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。
- 4WD車は、2WD車に対し、制動距離が短くなるわけではありません。
- 脱輪時の無理な操作などにより、前後輪間の回転数差が大きい（車輪が空転する）状態が続くと4WDクラッチの温度が上昇します。
  この場合、保護のため、4WD警告灯（P.3-29）が速く点滅し、2WD状態もしくは弱4WD状態に切り替わります。アイドリング状態でしばらく停車し、点滅しなくなると2WD状態から復帰し、通常通り走行できます。
- 車両に異常な振動などを感じる場合は、警告灯が点灯していなくてもNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

■タイトコーナーブレーキング現象について

低温時の車庫入れなど、ハンドルを大きく切った状態で発進すると、アクセルペダルを踏んでも車が前後に動きづらい場合があります。この現象をタイトコーナーブレーキング現象といいます。
これは前輪と後輪に回転差が生じるために起きる4WD車特有の現象であり、異常ではありません。

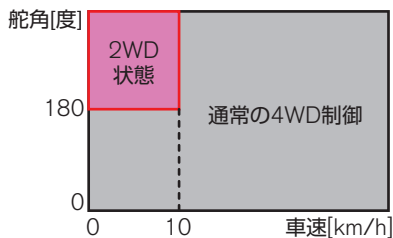
アドバイス

- タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音やパワートレイン系部品のきしみ音などが発生することがあります。

知識

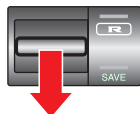
タイトコーナーブレーキング現象緩和機能

以下の操作により、低速時（約10km/h以下）に大きくハンドルを切った場合（約半回転以上）のみ2WD状態となり、タイトコーナーブレーキング現象を緩和することができます。低速時に大きくハンドルを切った場合以外は通常の4WD状態ですので、常に2WD状態となる機能ではありません。

作動条件

GPA0237

- エンジン回転中にトランスミッションのセットアップスイッチを約4秒間押し下げます。
  - ・SAVEモードの表示灯が1回点滅したあと、消灯します。
  - ・SAVEモード中は点滅したあと、再びSAVEモード表示灯が点灯します。

  セットアップスイッチの使いかた…P.3-73

- 再度トランスミッションのセットアップスイッチを約4秒間押し下げると、通常の4WD状態に戻ります。

GPA0236

知識

- 次の場合はタイトコーナーブレーキング現象緩和機能が解除されます。再度使用したいときは、トランスミッションのセットアップスイッチを約4秒間押し下げてください。
  - ・トランスミッションをRモードにしたとき。
  - ・トランスミッションをSAVEモードかつVDC-RをOFFモードにしたとき。
  - ・電源ポジションをOFFにしたとき。
  - ・Rモード発進を使用するとき。

注意

- タイトコーナーブレーキング現象緩和機能を使用し、低速でハンドルを大きく切った場合は2WD状態になっています。雪道などの滑りやすい路面を走行するときはスリップしやすくなりますので使用を控えてください。

■タイヤについて

- この車両は専用タイヤを装着しています。タイヤの交換は必ず指定のタイヤを装着し、4輪とも同時に行うことをおすすめします。
タイヤについて…P.5-20
- 指定外のタイヤや摩耗差が大きいもの、サイズが異なるタイヤなどを装着すると、4WD性能が低下したり、トランスミッションなどのパワートレイン系部品が破損します。
冬用タイヤも必ず指定の冬用タイヤを4輪とも装着してください。
タイヤ交換はNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

LSD（リミテッドスリップデファレンシャル）

GT-Rのリヤファイナルドライブには1.5WayメカニカルLSDが装備されています。

警告

- 急激なアクセルの開閉を行うと、尻振りや横滑りを起こし、思わぬ事故につながるおそれがあります。雨天時や、滑りやすい路面で走行するときは特に注意して運転してください。

アドバイス

- デファレンシャルオイルは指定のオイルをご使用ください。指定以外のオイルを使用すると、正常に作動しなくなり、異音、振動の発生や故障の原因となるおそれがあります。
デファレンシャルオイル…P.1-10

知識

- 冷間時（低温始動時）にハンドルを切りながら発進すると、内輪のタイヤがスリップしたり異音や振動が出ることがあります。これはLSD装着車特有の現象（内輪側のトルク増加によるスリップ）であり、異常ではありません。

GT-R 機能・性能・しくみ

LSD（リミテッドスリップデファレンシャル）

- LSDは旋回時や左右の駆動輪の回転差が生じた際に回転差を制御したり、適切な駆動力を配分する装置です。
- GT-Rのリヤファイナルドライブに装着されている1.5WayメカニカルLSDの特徴はアクセルON時とOFF時に異なる効きとすることで走行環境に応じた適切な駆動力を路面に伝達します。

ASCD（オートスピードコントロール）

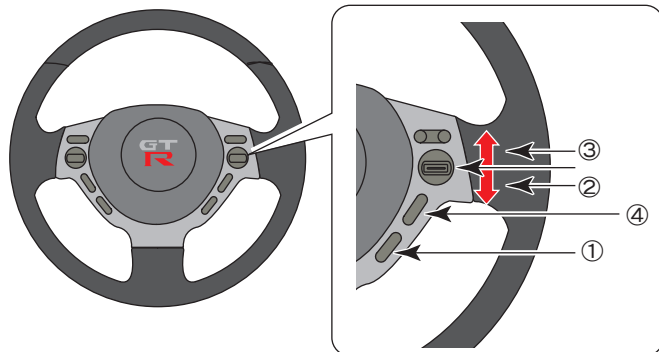
ASCDをセットするとアクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。
約40～100km/hの間で任意の速度にセットできます。

注意

- 車間制御は行わないため、ブレーキ操作制御や警報は行われません。
  先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので使わないでください。
  ・交通量の多い道や急カーブのある道
  　交通状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。
  ・凍結路や積雪路など滑りやすい路面
  　タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。
  ・急な下り坂
  　急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- トランスミッションのセットアップスイッチがSAVEモード（P.3-75）のときに使うと、加速、減速を滑らかに制御することができます。
  緩やかな上り坂などに差し掛かったときは、設定した車速に戻る時間が若干遅れる場合がありますが、徐々に加速して設定した車速に戻ります。

■ステアリングスイッチ

GPA0054

①メインスイッチ

・ASCDのON・OFFができます。

②セット/コーストスイッチ（下押し）

・設定車速を下げることができます。

③リジューム/アクセラレートスイッチ（上押し）

・設定車速を上げることができます。

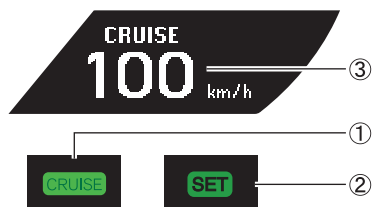
④キャンセルスイッチ

・ASCDの解除ができます。

■表示灯・警告灯・車両情報ディスプレイ

設定車速や異常時の内容は、車両情報ディスプレイに表示されます。

車両情報ディスプレイ…P.3-2

表示灯・設定表示

GPA0224

①クルーズ表示灯

メインスイッチがONになっていることをお知らせします。

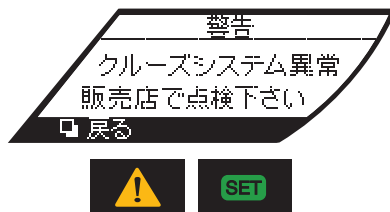
②セット表示

定速走行で走行していることをお知らせします。
（定速車速をセットすると点灯します。）

③設定車速表示

設定した車速を表示します。

知識
● ASCDの設定を変更したり解除すると、変更内容を車両情報ディスプレイに表示します。また、表示は約10秒経過すると元の画面に戻ります。

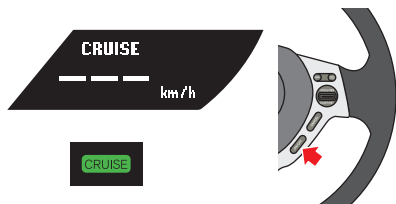
警告灯・警告表示

GPA0195

ASCDシステムに異常があると、SETが点滅しお知らせします。

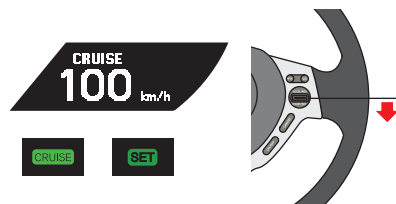
警告表示…P.3-31

■定速走行するとき

セットのしかた

❶メインスイッチを押し、メーター内のクルーズ表示灯が点灯したことを目で確認します。

GPA0225

❷設定したい速度になったら、セット/コーストスイッチを押します。

・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。

GPA0226

⚠ 注意

- ASCDを使わないときは、メインスイッチをOFFにしてください。間違ってハンドルのスイッチを押すとASCDがセットされてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

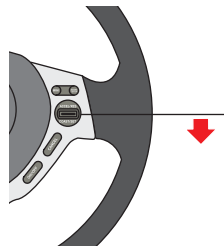
知識

- 設定した車速より約5km/h以上車速が上がると、車速表示が点滅します。

■定速走行中に設定車速を変えるとき

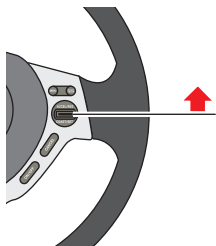
ペダルを踏んで変えるとき

❶アクセルペダル又はブレーキペダルを踏み、速度を変えます。

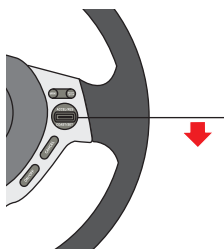
❷希望の速度になったら、セット/コーストスイッチを押します。

GPA0130

ステアリングスイッチで変えるとき

〈設定車速を上げたいとき〉

❶リジューム/アクセラレートスイッチを押し続けると加速します。
❷希望の速度になったら、手を離します。

GPA0131

〈設定車速を下げたいとき〉

❶セット/コーストスイッチを押し続けると減速します。
❷希望の速度になったら、手を離します。

GPA0130

一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

●アクセルペダルを踏むと、加速します。

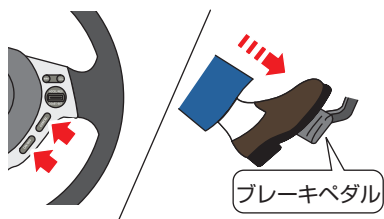
減速したいとき

●ブレーキペダルを踏むと、減速（制御を解除）します。
（セット表示灯が消灯及び車両情報ディスプレイにキャンセル表示し、セット待機状態になります。）
●解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側に押します。
（セット表示灯が再び点灯）

もう一度、定速走行に戻したいとき

リジューム/アクセラレートスイッチを押します。
（車速が約40～100km/hのとき戻せます。）

■解除のしかた

●次の操作でASCD機能が解除されます。
- ・キャンセルスイッチを押す。
- ・メインスイッチを押す。
- ・ブレーキペダルを踏む。

GPA0059

知識

●キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。

●次の場合はASCDが自動的に解除されます。
- ・車速が約30km/h以下になったとき。
- ・設定車速より約13km/h以上車速が低下したとき。
- ・シフトレバーをA↔M以外にしたとき。
- ・VDCが作動したとき。
- ・タイヤが空転したとき。
- ・ASCDシステムに異常があるとき。

ヒルスタートアシスト

急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退や前進を一定時間保持し、発進を容易にするシステムです。

●シフトレバーがP、N以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。

⚠注意

●この装置は上り坂での発進を補助するものですが、機能を過信しないでください。凍結した坂や泥状の上り坂での発進はとくに安全に心がけてください。

●坂道で駐停車するためにヒルスタートアシストを使わないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

●VDC警告灯（P.3-28）が点灯したときは作動しません。

ABS

■ABSとは

急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロック（車輪の回転が止まる）を防止して、車両の安定性を向上させるとともにハンドル操作による障害物回避をしやすくしたシステムです。

■ABS付車の取り扱いについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

❶危険だと感じたら、ためらわず思いきりブレーキペダルを踏み込んでください。

GPA0133

❷ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。

❸障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。

⚠ 警告

- ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車と同様に、コーナーの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。
- ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。
- ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ずこの車両の専用タイヤを4輪に装着してください。この車両の専用タイヤ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

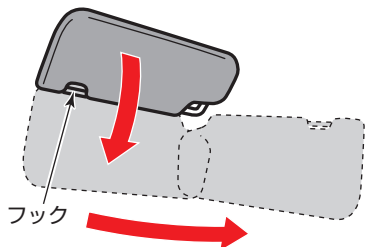
知識

- 電源ポジションをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームよりモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- 車両を確実に停止させるために、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが、約10km/h以下では作動しません。

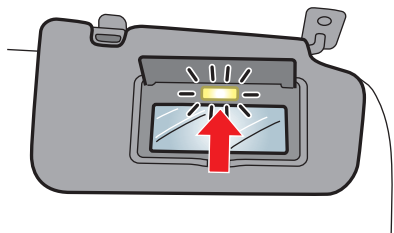
4 室内装備の使いかた

室内装備品の使いかた

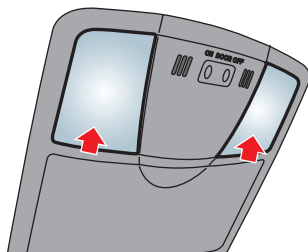
サンバイザー

●前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
●横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。

GAA0001

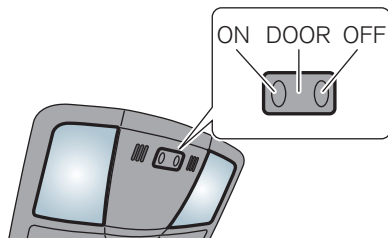
照明付バニティミラー

●サンバイザー裏側に照明付きのバニティミラー（鏡）が付いています。

GAA0003

ルームランプ（マップランプ兼用）

●ランプを押すごとに点灯・消灯します。
●また、ドア連動スイッチの位置により、次のようにルームランプの点灯・消灯のしかたを変更できます。

GAA0004

※イラストは侵入センサー・傾斜センサー無車です。

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
DOOR	ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。（電源ポジションがOFF又はLOCKのときは、ドアを閉めると約15秒間点灯後、消灯します。）
OFF	消灯

GAA0005

アドバイス

バッテリーセーバー

- ドア連動スイッチがON又はDOOR位置にあるとき、ドアを開けたまま約15分以上放置した場合には、バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。
- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

- ドア連動スイッチがDOOR位置でドアを開けたままのときは、ランプのスイッチを押し戻しても常時点灯します。

キー連動室内照明システム

ドアの施錠、解錠に連動してルームランプが点灯・消灯します。
ドア連動スイッチがDOOR位置のときに作動します。

乗車時

- 運転席ドアを解錠すると、ルームランプが約15秒間点灯後、消灯します。
- ルームランプ点灯中に、電源ポジションをAcc又はONにするか、運転席ドアを施錠すると消灯します。

降車時

- 電源ポジションをOFF又はLOCKにするとルームランプが約15秒間点灯後、消灯します。
- ルームランプ点灯中に運転席ドアを施錠すると消灯します。

知識

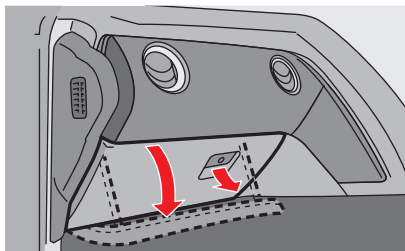
- キー連動室内照明システムの設定を解除することができます。
車両設定…別冊

グローブボックス

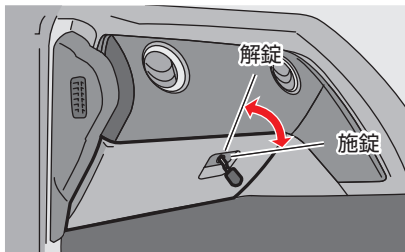
⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出したり、ふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。

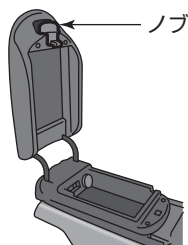
■開閉のしかた

- ノブを手前に引いて開けます。
- 閉めるときは、前方へ押してロックします。

GAA0009

■施錠・解錠のしかた

- メカニカルキー（P.2-9）で施錠、解錠します。
- メカニカルキーは半分ぐらい差し込んだ状態で止まります。

GAA0010

センターコンソールボックス

- ロックノブを引き上げ、ふたを開けます。
- 閉めるときは、ふたを押してロックします。

GAA0011

⚠ 注意

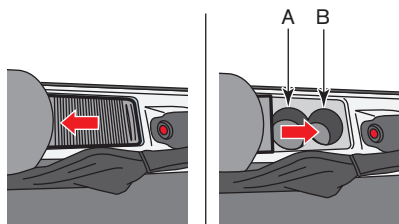
- コンソールボックスを開けたままにしないでください。開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。

知識

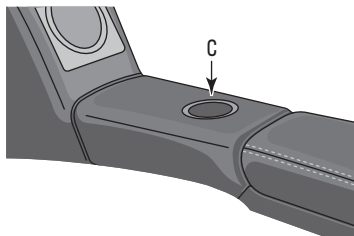
- コンソールボックス内には、電源ソケットと携帯電話接続コネクターがあります。
携帯電話接続コネクター…別冊

カップホルダー

コンソールボックスの前側と後席中央にあります。

コンソールボックス前側（A、B）

GAA0006

- ふたを車両後方へ引いて開きます。
- 閉めるときは、ふたを車両前方へ戻します。

後席中央（C）

GAA0007

⚠ 警告

- 運転中は、信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に飲物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

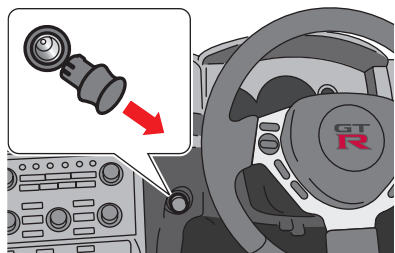
- カップホルダーのAは、BやCに比べ径が太く深さが浅くなってます。径が小さいものは倒れやすいため、B又はCに入れてください。

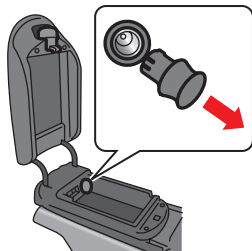
電源ソケット

電源ポジションがAcc又はONのとき使えます。

●カーアクセサリーの電源をとるときや、市販の車載電話及び携帯電話の車載キットの電源をとるときに使います。
●キャップを引き抜いて使います。
●使わないときは、キャップをしてください。

容量は12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。

ハンドル横

GAA0012

コンソールボックス内

GAA0016

⚠ 注意

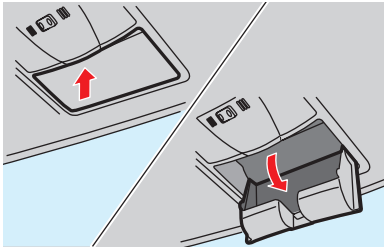
- 2マタソケットなどでタコ足配線をしないでください。
- 安全のため、消費電力120W以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入して使ってください。挿入が不完全になると、異常発熱し、車内のヒューズが切れる場合があります。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源スイッチをOFFにするか、電源ポジションをLOCKにしてください。
- 使用中や使用直後は、ソケットや相手プラグが熱くなっていることがあるため、注意してください。
- シガーライターをソケットに差し込まないでください。
- ソケットに水などがかからないようにしてください。
- ソケットには指や金属などを入れないでください。

アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけて使ってください。また、長時間アイドリング状態で使ったり、エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドーデフォッガーなどを同時に使わないでください。

オーバーヘッドコンソール★

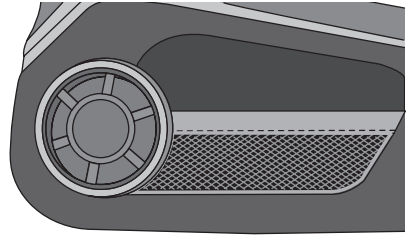
サングラスなどを入れることができます。

●ふたを押すと開きます。
●閉めるときは、ロックするまで押し戻します。

GAA0014

⚠ 注意

- 開閉は停車中に行い、開けたまま走行しないでください。また、重量のある物を入れないでください。落下して思わぬケガにつながるおそれがあります。
- 炎天下での駐車は大変高温になりますのでサングラス、メガネ、ライターなどを入れたままにしないでください。変形するおそれがあります。

ドアポケット

●運転席、助手席ドア内側にあります。

GAA0008

※車種により形状が異なります。

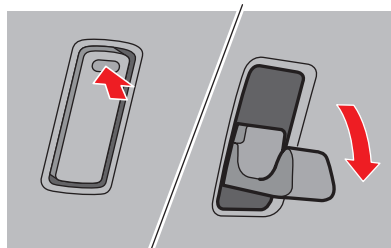
アドバイス

ドアポケットをつかんで、ドアの開閉を行わないでください。破損するおそれがあります。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

コートハンガー

後席左右にあります。

● フック部の背にある突起部を押すとハンガー部が倒れます。

GAA0017

⚠ 注意

- コートハンガーに先のとがった物を掛けないでください。SRSエアバッグが作動したときに飛ばされて、思わぬ傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

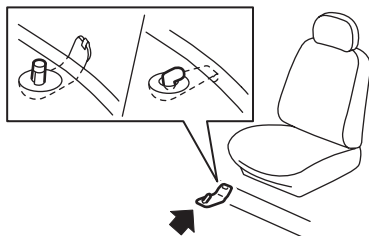
- コートハンガーには重いものを掛けないでください。

目次
⚠警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

フロアカーペット◎

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。
同梱される取扱説明書を合わせてお読みください。

■固定のしかた

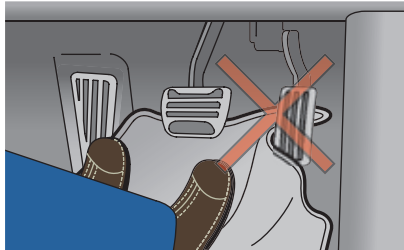
床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
❶フロアカーペットを床の形状に合わせて敷きます。
❷フロアカーペットの取付穴に固定クリップのピンを通し、確実に固定します。

ZSS0043

※車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。

⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

GSS0005

運転席にフロアカーペットを敷くときは
- 日産純正品であっても、他車種及び異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
- フロアカーペットでペダルを覆わない。
- フロアカーペットを重ねて敷かない。
- フロアカーペットがずれないように固定クリップで確実に固定する。
- 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
- フロアカーペットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない。

運転する前に
- フロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- エンジン停止時及びシフトレバーがPのときに各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないで運転に支障がないことを確認する。

5 車との上手なつきあいかた

快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

■窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウインドーガラス

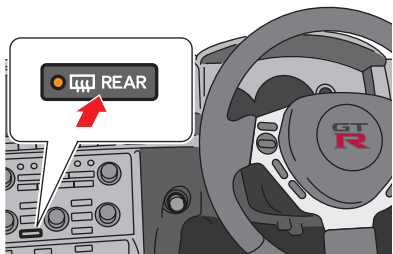
エアコンで除湿します。
エアコンの吹き出し口を[デフロスター]にして、吸い込み口は外気導入にします。
冬でもエアコンを活用してください。

窓ガラスのくもりの取りかた…別冊

知識

- 早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

リヤウインドーガラス

リヤウインドーデフォッガースイッチ（P.3-55）を使い、くもりを取ってください。

GSD0001

■ガラスが油膜でギラギラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

アドバイス

- 油膜があると、ワイパー作動時に音がしたり、雨の夜などは対向車の光が乱反射することがあります。

■ワイパーのふき残しがあるとき

- ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。

夏の快適ドライブ

■オーバーヒートを防ぐために

日常点検で冷却水の量を点検してください。

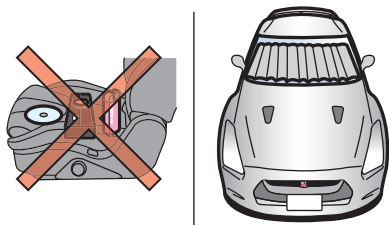
水温計がオーバーヒートを示しそうになったら、安全な場所に停車して冷やしてください。

オーバーヒートしたときは…P.6-8

アドバイス

- 地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなくなるときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

■炎天下で駐車するとき

- シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。

GSD0002

- 夏の炎天下などで長時間駐車すると、リヤスポイラー中央の表面付近に若干の歪みが生じる場合がありますが、表面の温度が下がると歪みは元に戻ります。

これらの現象は異常ではありません…P.1-32

警告

- お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

注意

- 炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。
  また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

■海に出かけたあとは

- 車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- 洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

アドバイス

ブレーキシステムが濡れたまま長時間放置しない

〈NCCBパッケージ装着車を除く〉

- この車両には鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しています。
  そのため、洗車などによりブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。
  ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合についてはGT-R特別項目P.1-33をお読みください。

〈NCCBパッケージ装着車〉

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）★が濡れたまま長時間放置しない…P.1-31をお読みください。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく

■バッテリー液の点検、補給

メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、エンジンクーラントの濃度を点検してください。

エンジンクーラントの濃度	凍結温度
30%	約－15℃
50%	約－35℃

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）を使用してください。

サービスデータ（冷却水）…P.7-3

アドバイス

- 凍結防止仕様車は工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換はNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

■冬用タイヤの準備

- 外気温が－20℃以下のときは標準装着タイヤのトレッド面破損を防ぐため、冬用タイヤを使用してください。交換するときは、4輪とも必ず指定のタイヤに交換してください。（P.5-20）

■ウオッシャー液の濃度点検

ウオッシャー液の凍結を防ぐため、ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。
日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。

ウオッシャー液の補給…P.5-17

注意

- 外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、窓ガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

■寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用のワイパーブレードを装着するときは、お車に合った日産純正部品をお使いください。

注意

- 高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。

アドバイス

- 降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

出発前の準備

■窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

警告

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

■靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

■車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

アドバイス

トランスミッションは効率向上や高G化での信頼性確保のため、ドライサンプ潤滑システムを採用しています。
低温時のオイルの粘度が高いときにはオイルがいき渡るまでの時間が長くなります。
そのため、トランスミッション油温が低いとき（約40℃以下）は、急加速やエンジンを高回転（4,000rpm以上）にして走行しないでください。

■滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
  タイヤチェーンについて…P.5-8
- 雪道を走行するときは、セットアップスイッチをSAVEモードに切り替えてください。

知識

- SAVEモードに切り替えることで、雪道や滑りやすい路面に合ったエンジン出力に制限し、発進や加速がしやすくなります。

■走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
  効きが悪いときは、低速走行でブレーキペダルを軽く踏み、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。
- リヤフォグランプに雪が積もることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

寒冷時の駐車

■長時間駐車するとき

- シフトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。
- 寒冷時にブレーキシステムに水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- 長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合については以下をお読みください。
  NCCBパッケージ装着車…P.1-31
  NCCBパッケージ装着車を除く…P.1-33

雪道を走行したあとは

●凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

アドバイス

ブレーキシステムが濡れたまま長時間放置しない

〈NCCBパッケージ装着車を除く〉

- この車両には鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しています。
  そのため、洗車などによりブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。また、寒冷時は水分が凍結し、走行できなくなるおそれがあります。長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。
  ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合についてはGT-R特別項目P.1-33をお読みください。

〈NCCBパッケージ装着車〉

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）★が濡れたまま長時間放置しない…P.1-31をお読みください。

- 高圧（コイン）洗車機で下回りを洗車するときはトランスミッション周辺部に直接水をかけないでください。トランスミッションに水が入ると故障の原因となります。
  またエンジン回転中はプロペラシャフトが回転していて危険なため、洗車中はエンジンを止めてください。

タイヤチェーンについて

●タイヤチェーンは必ず後2輪に装着してください。

●お客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。

●外気温が－20℃以下のときは標準装着タイヤのトレッド面破損を防ぐため、冬用タイヤを使用してください。

■装着の前に

●安全に作業できる平坦な場所に停車してください。

●パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。

■装着のしかた

●タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

⚠ 注意

- 不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

- パンク時は、タイヤチェーンを装着しないでください。
- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、4WDシステムに無理がかかり故障の原因となります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

お手入れのしかた

GT-R EGOISTのお手入れ

GT-R EGOISTのお手入れについてはP.1-40をお読みください。

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

■駐車、保管場所に注意

風通しの良い車庫や直射日光の当たらない屋根のある場所をおすすめします。

■洗車・ワックスがけの実施

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。
  - ・ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき。
  - ・海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。
  - ・ほこり、汚れがひどいとき。

アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

洗車のしかた

■水洗いするとき

1. 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
2. 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。
   ・汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
3. 水滴が残らないようにふき取ります。

⚠ 警告

- この車両はエンジン回転中、エンジンからトランスミッションに動力を伝えるプロペラシャフトが常時回転しています。車両の下にもぐりこむなどした場合、重大な障害につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。

アドバイス

- 洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面などを傷つけるおそれがあります。

ブレーキシステムが濡れたまま長時間放置しない

〈NCCBパッケージ装着車を除く〉

- この車両には鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しています。
  そのため、洗車などによりブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。また、寒冷時は水分が凍結し、走行できなくなるおそれがあります。長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。
  ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合についてはGT-R特別項目P.1-33をお読みください。

〈NCCBパッケージ装着車〉

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）★が濡れたまま長時間放置しない…P.1-31をお読みください。

■洗車機を使うとき

自動洗車機での洗車はしないでください。
リヤスポイラーを破損するおそれがあります。

高圧（コイン）洗車機

洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

アドバイス

- 窓ガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が浸入するおそれがあります。
- 高圧（コイン）洗車機で下回りを洗車するときはトランスミッション周辺部に直接水をかけないでください。トランスミッションに水が入ると故障の原因となります。
  またエンジン回転中はプロペラシャフトが回転していて危険なため、洗車中はエンジンを止めてください。

アルミロードホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを洗い落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。

※詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
  - ・強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わない。
  - ・洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する。（体温以下が目安）
  - ・洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す。
  - ・硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わない。
- ホイールコートやクリーナーなどを使用するときは、ブレーキローターやブレーキパッドなどに付着しないように注意して使用してください。

ブレーキシステムが濡れたまま長時間放置しない
〈NCCBパッケージ装着車を除く〉

- この車両には鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しています。
そのため、洗車などによりブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。定期的に強めのブレーキをかけることで、固着低減の効果が得られます。
また、寒冷時は水分が凍結し、走行できなくなるおそれがあります。長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。
ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合についてはGT-R特別項目P.1-33をお読みください。

〈NCCBパッケージ装着車〉

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）★が濡れたまま長時間放置しない…P.1-31をお読みください。

知識

- この車両は、高性能ブレーキを採用しているため、ブレーキパッドの材質の特性上、従来の車よりブレーキダストによる汚れが多く出る場合があります。ブレーキダストなどの汚れの付着を付きにくくするホイールコートをおすすめいたします。

※詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

GT-R 機能・性能・しくみ

- この車両は、工場出荷前にエンジン、トランスミッション、クラッチの合わせ込み走行を実施しているため、アルミロードホイールに軽微な傷や汚れがつく場合があります。
- ハイパーブルーブラッククロームカラーコートホイール及びブルースウォードクロームカラーコートホイール付車は、独特な色合いを出すため、特殊な塗装をしています。
そのため、保管状態によっては新車時より黒く変色する場合があります。
1輪だけロードホイールを交換するときなど、色が合わない場合があります。ロードホイールを交換するときはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、又は水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

1. 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
2. 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- ガラス本体及びガラス・ドア周辺のゴムや樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ガラスの昇降作動や、視界不良を起こしたり、ムラになる場合があります。
- カーボン部品には、絶対にワックスを使用しないでください。劣化や腐食の原因となります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。

■ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。
  日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷は、タッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。
日産純正タッチアップペイントをおすすめします。詳しくはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

内装のお手入れ

⚠ 注意

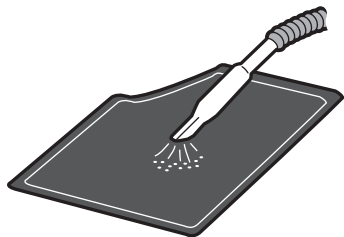
- 車内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

アドバイス

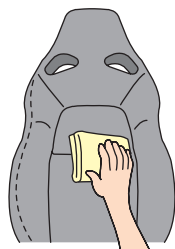
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがありますので確認してから使ってください。

カーペットの汚れ取り

電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。
フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。

フロアカーペット…P.4-9

GSD0003

布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーで汚れを落としてください。
市販のクリーナーをご使用になった場合、ひび割れや色落ちの原因となる場合があります。

GSD0004

本革シート、シフトレバー、パドルシフトのお手入れ

GT-R EGOISTのお手入れについてはP.1-40をお読みください。

■通常のお手入れ

ガーゼなど柔らかい布でふきます。

■水溶性の汚れを取るとき

柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

■油性の汚れを取るとき

1. ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
2. 真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 直射日光は変色、変質の原因になります。日よけに心がけてください。
- 水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
  市販のクリーナーをご使用になった場合、ひび割れや色落ちの原因となる場合があります。

窓ガラスの清掃

- 窓ガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

モニターのお手入れ

電源ポジションをOFFにし、乾いた柔らかい布でふきます。
汚れがひどいときは、中性洗剤を少し含ませて（水滴が付かない程度）ふきます。

アドバイス

- 硬い布やアルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。傷がついたり、変質したりします。
- 水や芳香剤などの液体をかけないでください。本体内部に液体が入りこむと故障する原因になります。

知識

- モニターに内蔵している小型蛍光灯は消耗品です。画面が極端に暗くなったり、ちらつきが出たときは交換が必要です。NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

メーター表面の汚れ取り

柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。

アドバイス

- 乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

カーボン製部品のお手入れ

- GT-Rのカーボン製部品（内装パネル、リヤディフューザーなど）は、全てレーシングカーと同様のコンポジット製法で作られております。また、素材の感触を演出するため、特殊な塗装が施されています。したがって、GT-Rの全てのカーボン製部品にはワックスやコーティング剤、コンパウンド剤など全てのケミカル製品の使用を禁止します。お手入れが必要な場合は台所用中性洗剤をバケツ満杯の水に洗剤キャップ1杯程度に薄め使用してください。

アドバイス

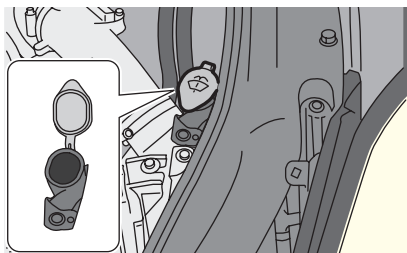
- カーボン製部品の材質上、経年劣化により黄色く変色する場合があります。特に直射日光は変色や変質の原因になります。日よけに心がけてください。

知識

- リアルカーボン本来の質感を感じていただくため、レーシングカー同様にカーボン製部品の表面は薄くコーティングしているため、表面にざらつきや凹凸があります。

その他のお手入れ

ウオッシャー液の補給

- ウオッシャー液が少なくなると、車両情報ディスプレイに警告表示（P.3-32）します。
  警告表示されたときは早めに補給してください。
- ウオッシャータンクのキャップを外し、ウオッシャー液を補給してください。ウオッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。
- ウオッシャー液は日産純正ウインドーウオッシャー液をおすすめします。
  ウオッシャータンク容量…P.7-3

GSD0006

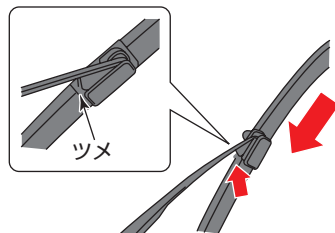
⚠ 注意

- ウオッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。発火するおそれがあります。

アドバイス

- ウオッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。
  塗装面がしみになるおそれがあります。

ワイパーブレードの交換

1. ワイパーブレードを持ち上げ、ブレードを少し傾けます。
2. ブレードのツメを押しながらブレードを矢印の方向に引きます。

GSD0007

3. ブレードをアームから取り外します。
4. 新しいブレードを取り付けます。
   取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ブレードが確実に固定されていることを確認します。

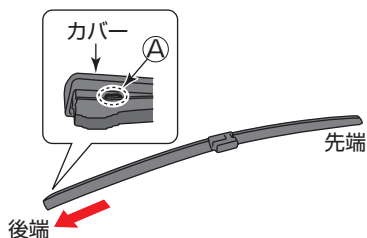
⚠ 注意

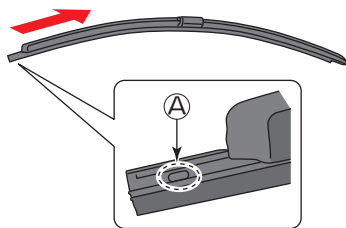
- 交換するときは、ワイパーアーム及びワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

アドバイス

- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

ワイパーゴムの交換

❶ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。
❷ワイパーゴムをⒶ部（後端）側からカバーをめくるようにして矢印方向にスライドし、取り外します。

GSD0008

❸取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。ワイパーゴムのⒶ部がない側からブレードに沿って差し込み、ブレードのツメをⒶ部に入れて固定します。

GSD0009

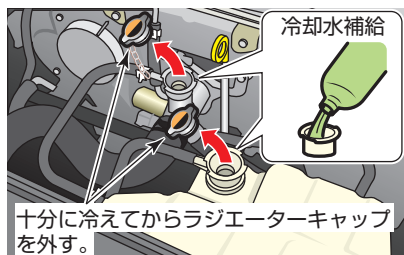
アドバイス

- ワイパーゴムを取り外すときは、カバーを無理に引っ張らないでください。無理に引っ張ると切れるおそれがあります。

知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

冷却水の補給

- 冷却水が不足しているときは、2つのラジエーターキャップ（エンジン側と加圧式ラジエーターリザーバータンク側）を外し、冷却水を補給してください。
  冷却水位を加圧式ラジエーターリザーバータンクのMAX-MINの中間に調整してください。
- 補給後はしっかりキャップを閉めてください。

GSD0013

アドバイス

- この車両はエンジン側と加圧式ラジエーターリザーバータンク側にラジエーターキャップがあります。取り付け位置を間違えないでください。また、この車両指定以外のラジエーターキャップは使用しないでください。取り付け位置を間違えたり、指定以外のキャップを使用すると、冷却性能が下がりオーバーヒートの原因となります。
- 応急的に水だけを補給したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

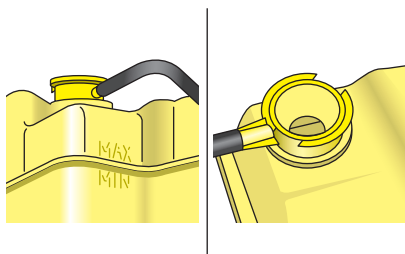
スポーツ走行をするとき

●冷却水の循環量不足によるオーバーヒートや入れ過ぎによる内圧上昇に伴う冷却水漏れなどの原因になるため、以下のことを確認してください。

・冷却水の水位を加圧式ラジエーターリザーバータンクのMAX-MINの中間に調整してください。
このとき、MAX以上に入れ過ぎないでください。

・凍結防止仕様車はエンジンクーラント濃度を30%に下げることを推奨します。
GT-R特別項目…P.1-23

冷却水量の確認のしかた

●加圧式ラジエーターリザーバータンクの外側から水位を確認します。MAX-MINの中間位置が確認しづらいときはラジエーターキャップを外し、補給口から覗いて加圧式ラジエーターリザーバータンクの上部と下部の境目まで水位があることを確認します。

GSD0012

●冷却水は日産純正スーパーロングライフクーラントを使用してください。

警告

●冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。
十分に温度が下がっていない状態でラジエーターキャップを取り外すと蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

タイヤについて

この車両は、パンク時でも制限された速度と距離まで走行することができるランフラットタイヤを装着しています。
また、タイヤ空気圧警報システムが装備されており、タイヤの内圧の低下や、パンクしたときは、メーター内に警告表示します。警告表示にしたがって処置してください。
マルチファンクションディスプレイで各4輪のタイヤの内圧を確認することができます。

警告表示…P.3-30、3-31
パンクしたときは…P.6-29
マルチファンクションディスプレイ…別冊

GT-R 機能・性能・しくみ

GT-R専用タイヤ

GT-R専用設計のタイヤが装備されています。あらゆる走行環境を想定し、車両に合った、最適なタイヤとロードホイールが装備されています。
そのため、専用タイヤ以外のタイヤ及びロードホイールは装備しないでください。GT-Rの本来の性能を発揮することができなくなるばかりでなく、故障や破損の原因につながるおそれがあります。

注意

- この車両の指定タイヤを必ず指定ホイールとセットで使用してください。
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、必ず定期点検を受けてください。点検についてはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場へご相談ください。
- 気温変化や高度変化によりタイヤの内圧は変化します。
  タイヤの内圧が低い状態で走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。月に一度はタイヤエアゲージを使用し、タイヤ内圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ間に著しい摩耗差があったり、タイヤ内圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性が損なわれたり故障の原因になります。

タイヤ交換について

- タイヤ交換するときは、4輪とも同時に行うことをおすすめします。
- GT-R専用純正タイヤはランフラット構造を採用しており、サイドウォールが非常に硬いため、タイヤ交換には特殊な技術と設備が必要です。タイヤ交換はNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にて実施してください。
- 一度ロードホイールから外したタイヤを再度ロードホイールに組み付ける場合、レバーレスオートマチックタイプなどのタイヤチェンジャーを使用し、且つタイヤビード部に亀裂・変形がない場合に限り再使用することができます。
  レバータイプのタイヤチェンジャーを使用すると、タイヤビード部に亀裂・変形が生じる場合があるため、再使用できません。
  外観に異常がなくても、再使用すると安全性が損なわれたり事故の原因になるおそれがあります。
  タイヤの再使用については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
- 外気温が－20℃以下のときは標準装着タイヤのトレッド面破損を防ぐため、冬用タイヤを使用してください。
- バルブキャップは工具を使わず手で確実に締めてください。
  工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。

■タイヤ交換について

- この車両専用に設計されたランフラットタイヤ及びロードホイールを装着しています。タイヤを交換する場合は、必ず指定のタイヤ及びロードホイールを装着し、4輪とも同時に行うことをおすすめします。交換についてはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に依頼してください。
  GT-R特別項目…P.1-2　サービスデータ…P.7-4、7-5
- タイヤ空気圧センサー（P.5-24）の電池を交換するときに外したタイヤは、再使用できない場合もあります。また、センサーの電池は電池単品での交換はできないため、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に依頼してください。
- 逆輸入タイヤでもタイヤ交換は可能ですが、タイヤに起因する不具合に関しては保証の対象になりません。（右ハンドル車用と左ハンドル車用では、タイヤ特性が異なります。また、タイヤの長期在庫保存の影響で性能が劣化しているおそれがあります。）

⚠ 注意

- 指定以外のタイヤ及びロードホイールは取り付けないでください。不適合なタイヤ及びロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 指定以外のタイヤは装着しないでください。車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCが正常に作動しないことがあります。
  次のようなタイヤの装着はしないでください。
  - ・摩耗差の大きいタイヤの装着
  - ・前輪又は後輪だけに冬用タイヤを装着
  - ・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- パンク修理剤は使用しないでください。タイヤ空気圧警報システムが故障する原因になります。
  タイヤ空気圧警報システム…P.5-24

アドバイス

- 高速走行での高い直進安定性やスポーツ走行での高いコーナーリング性能を発揮するようにホイールアライメントを設定しています。
  そのため、日常走行を主に使用した場合、タイヤの摩耗が不均一になることがありますが異常ではありません。
  GT-R特別項目…P.1-32
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。

知識

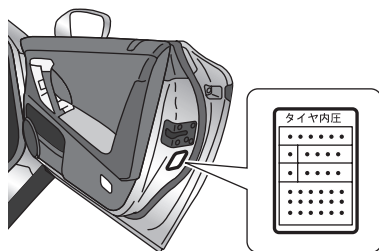
- この車両は前輪と後輪のタイヤサイズが異なるため、絶対に前後輪を逆に取り付けないでください。
- タイヤ空気圧センサーのシールゴム、コア、キャップはスポーツ走行をする場合は3年以内に交換してください。スポーツ走行をしない場合でも、5年以内に交換してください。シールゴムが汚れると、タイヤのエア漏れの原因となります。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

ホイールにタイヤを組み付けた直後はスポーツ走行など行わない

タイヤ交換直後に急発進・急ブレーキなどを行うと、タイヤとホイールのなじみが不十分なため、回転方向合わせ位置にずれが生じることがあります。特にタイヤ交換から２日間は、スポーツ走行などのタイヤに大きな負荷がかかる走行を行わないでください。

■タイヤ内圧の点検

- タイヤの内圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検してください。また、この車両は高剛性ランフラットタイヤを採用しているため、たわみではわかりにくいのでタイヤエアゲージで点検してください。
- タイヤ内圧が不足しているときは、すみやかに調整してください。
- この車両は窒素ガスが充填されています。窒素ガスの充填については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
- 気温変化や高度変化よりタイヤの内圧は変化します。
  タイヤの内圧が低い状態で走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。月に一度はタイヤエアゲージを使用し、タイヤ内圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ内圧は走行に伴い高くなることがあります。
- 高速走行やスポーツ走行時など、タイヤ温度が高くなったときに、前後のタイヤ剛性バランスをより均等にするために、タイヤ内圧を以下のように調整してください。
  - ・走行スタート時（タイヤが冷えているとき）
    前輪　210～220kPa　後輪　200kPa
  - ・タイヤ内圧上昇時（タイヤが温まっているとき）
    前輪　270kPa　後輪　260kPaを超えないように調整してください。
- タイヤの内圧は運転席ドア開口部に表示及び巻末のサービスデータに記載してあります。

GSD0010

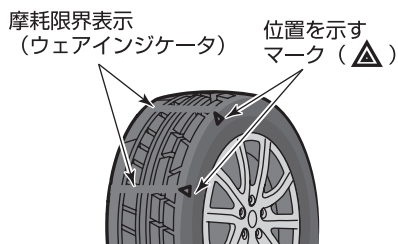
⚠ 注意

- タイヤの内圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■タイヤの位置交換（タイヤローテーション）

この車両は前輪と後輪でタイヤサイズが異なるため、タイヤの前後位置交換は絶対に行わないでください。

■タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。

タイヤ空気圧警報システム

この車両にはタイヤ空気圧警報システムが装備されています。
ロードホイールに設置された空気圧センサーで、それぞれのタイヤ内圧を確認しています。

- タイヤの内圧が低下したりパンク、システム異常の場合、タイヤ空気圧センサーからの情報でタイヤ空気圧警告灯（P.3-17）が点灯し、車両情報ディスプレイに警告表示（P.3-30、3-31）します。また、パンクの場合は、タイヤ空気圧警告灯の点灯及び車両情報ディスプレイの警告表示と合わせて警報が鳴ります。
  より高いタイヤ内圧で走行していただくために、2011年モデルまでのGT-Rに比べタイヤ空気圧警告灯の点灯タイミングを早めています。（夏冬の気候差に伴うタイヤ内圧の変化に対しても、より素早くお知らせすることが可能です。）

車体番号（資料番号）	警告灯点灯タイミング
2007～2011年モデルまで 車体番号：R35-000001～、R35-020001～ R35-030001～、R35-430001～ （OWNER'S MANUAL資料番号：R35-05以前）	160kPa以下で点灯
2012年モデル以降 車体番号：R35-040001～、R35-440001～ （OWNER'S MANUAL資料番号：R35-06以降）	180kPa以下で点灯

  タイヤ空気圧警告灯が点灯し警告表示が出た場合は、メーター内の警告表示に従い処置してください。
  パンクしたときは…P.6-29
- 気温変化や高度変化によりタイヤの内圧が減少し、タイヤ空気圧警報システムが作動する場合があります。
  タイヤの内圧が低い状態で走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  タイヤ空気圧警報システムは、日常点検を補助するものです。必ず日常点検でタイヤの内圧を点検してください。
  タイヤの内圧を点検する…P.1-24
- タイヤ空気圧センサーには、車両と通信するための電池が内蔵されています。走行中は、常時車両と通信しているため電池を消耗しています。
  電池が切れると、タイヤ空気圧警告灯が点灯し、車両情報ディスプレイに警告表示します。タイヤ空気圧センサーの電池を交換するときに外したタイヤは、再使用できない場合もあります。また、センサーの電池は電池単品での交換はできないため、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に依頼してください。
- 本システムは、時速25㎞/h以上で走行した場合に作動します。
- タイヤの内圧低下で警告表示したときは内圧を調整後、時速25㎞/h以上で走行すると作動します。

⚠ 注意

- 警告灯が点灯及び警告表示したときは、すみやかに安全な場所に停車し、タイヤを確認してください。放置して走行し続けると、タイヤがバースト（破裂）したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- パンク修理剤は使用しないでください。タイヤ空気圧警報システムが故障する原因になります。

アドバイス

- タイヤやロードホイールを交換する場合は、この車両専用のタイヤ及びロードホイールに必ず交換してください。システムが正常に作動しなくなります。
- GT-R専用ロードホイールであっても、他車や交換用のロードホイール（GT-R専用冬用タイヤが装着されたロードホイールなど）を装着するときは、タイヤ空気圧センサーのリセットが必要です。
  センサーのリセットはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場だけでなく、日産販売会社でも行うことができます。
  GT-R特別項目…P.1-2
- タイヤの内圧が高すぎる場合は警告表示しません。
- バーストや急激な内圧低下をした場合は、メーター内の警告表示がすぐに作動しないことがあります。
- 寒冷時などでの温度変化や、自然にタイヤの内圧が低下した場合もタイヤ空気圧警告灯（P.3-17）が点灯し、車両情報ディスプレイに警告表示（P.3-30、3-31）します。
  タイヤを点検し異常がない場合は、内圧を調整してください。規定値に調整し、走行後警告灯及び警告表示が消灯すれば正常です。
- タイヤ空気圧警報システムは大変便利なシステムですが、使用環境や走行条件によっては正しく作動しない場合があります。

  以下の場合は、タイヤ空気圧センサーが車両と通信できないため作動しません。
  - ・この車両の指定の空気圧センサーが搭載されていない場合。
  - ・空気圧センサーの電池が切れた場合。
  - ・空気圧センサーのリセットを行わずに他車のGT-Rのロードホイールを装着した場合、又はGT-R専用以外のロードホイールを装着した場合。
  - ・タイヤチェーンを装着した場合。
  - ・車両、特にホイールハウス内に雪が多く付いた場合。

  以下の場合は、電波の障害を受けるため正しく作動しない場合があります。
  - ・近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき。
  - ・無線機や携帯電話などの無線通信機器を一緒に携帯しているとき。
  - ・近くで電波式リモートコントロールエントリーを使用しているとき。
  - ・パソコンなどの電化製品が車内にあるとき。
  - ・近くに本システムと同じような周波数を使っている施設、器具がある場合又は地域。
  - ・同じような周波数を使った無線機や器具を使用している場合。
  - ・電子情報機器を車内で使用している場合。

ブレーキについて（NCCBパッケージ装着車を除く）

この車両には幅広い走行環境でも安定した制動力を確保することができる高性能ブレーキパッドが装備されています。ブレーキパッドの材質上、ロードホイールがブレーキダストにより汚れやすい場合がありますが、異常ではありません。ブレーキダストなどの汚れの付着を付きにくくするホイールコートをおすすめいたします。

- ホイールコートやクリーナーなどを使用するときは、ブレーキローターやブレーキパッドなどに付着しないように注意して使用してください。
- 鉄製のブレーキディスクローターと鉄を主体としたブレーキパッドを採用しているため、ブレーキシステムが濡れたまま長時間駐車すると、ブレーキパッドとブレーキディスクローターに含まれる鉄分が錆びて固着し、走行時に異音や振動が発生する場合があります。定期的に強めのブレーキをかけることで、固着低減の効果が得られます。
  ブレーキパッド新品時から約2mm減るまで（目安として約5,000～10,000km走行程度）は長時間駐車するときはブレーキシステムを乾かしてから駐車してください。
  ブレーキシステムが濡れている状態から長時間駐車する場合についてはGT-R特別項目P.1-33をお読みください。
  異音や振動が続くときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
- スポーツ走行を中心とした走行が続くとブレーキパッドの焼け具合により摩耗限度になっていなくても、交換が必要になる場合があります。定期点検でブレーキパッドやディスクローターの点検を受けてください。
  詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

■ブレーキパッド及びディスクローターの交換

●強力な停止性能と高温での耐フェード性能向上を得るために、ほぼレーススペックのブレーキ仕様となっています。安全にご使用いただくために、部品交換については必ずNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で実施してください。

ブレーキパッドとディスクローターの交換に関して

●原則としてブレーキパッドのみ4輪セット交換が必要になりますが、GT-R認定T/Sがブレーキパッドとディスクローターをセットで交換が必要と判断した場合は、ブレーキパッドとディスクローターを4輪セットで交換してください。

ディスクローター交換が必要な場合

●同一のディスクローターに対して２度目のブレーキパッド交換を行う場合
●ディスクローター表面に亀裂（特に冷却孔部4mm以上など）があり交換基準に達していた場合
●ディスクローター表面の反りや荒れ、深さ0.2mm以上のレコード溝などが発生し、交換基準に達していた場合
●制動時にブレーキジャダーが発生している場合など

前輪ブレーキパッドのみの交換に関して

●サーキットでの走行履歴がなく、前輪ブレーキパッドのみ著しく摩耗している場合に限り、GT-R認定T/Sの判断により前輪ブレーキパッドのみの交換が可能になる場合があります。

なお、指示通りの交換をしない場合、制動力バランスが変わり、ABS・VDCの性能が保証できません。

GT-R特別項目…P.1-12

GT-R 機能・性能・しくみ

高性能ブレーキシステム

●従来のブレーキに対して穴あきフローティング構造のブレーキディスクローターとモノブロック対向6ポッドキャリパーを採用しています。強力な停止性能と高温での耐フェード性能向上を得るために、ほぼレーススペックとなっています。
●この車両の高性能ブレーキシステムは、超高温度領域から雪道のような低温度領域までの幅広い走行環境で安定した制動性能を確保するために、ブレーキパッドとブレーキキャリパーの間のすき間を通常より若干大きく設定しており、また、ブレーキパッドも大型であるため、タイヤが段差を乗り越えるときにブレーキパッド周辺から軽度の“カタカタ音”がする場合がありますが異常ではありません。また、高温でも高い制動力を発揮できる材質を採用しているため、まれに“キー”という音が出ますが、摩耗と時間経過とともに音は減少します。

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）★について

GT-R 機能・性能・しくみ

NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）

- NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）はカーボンセラミック製ブレーキディスクローターを採用した高性能ブレーキシステムです。
  通常走行においては非常に高い耐久性を持ち、また、非常に軽量なためバネ下荷重が低減されることで路面への追従性が向上します。
- スポーツ走行やブレーキを酷使するような走行をすると、ブレーキパッドの摩耗や高温の摩擦熱によりブレーキディスクローター内部の組成状態が変化することによって外観上問題が無くても交換が必要な場合があります。
  カーボンセラミック製のブレーキディスクローターの外観や厚さは摩耗のレベルを示す基準にはなりません。
- カーボンセラミック製のブレーキディスクローターは非常に硬度が高く、強い衝撃には注意が必要です。
- NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）は標準装備のブレーキと同様のフルフローティング構造を採用しているため、使用状況によってはディスクローターのフルフローティング締結部などに錆が発生する場合があります。ブレーキディスクローターのフルフローティング締結部に錆が発生した場合は、すみやかにNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

GT-R 機能・性能・しくみ

- GT-R専用のNCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）は、GT-Rに採用してるブレーキディスクローターやブレーキパッドと材質が異なるため、鉄分が錆びてブレーキディスクローターとブレーキパッドが固着することはありません。
  ただし、ブレーキディスクローターやブレーキパッドを長く使用していただくため、カーボンセラミックローターの材料組成への影響や、ブレーキディスクローターのフルフローティング締結部の劣化防止のため、ブレーキシステムが濡れたままでの長期間駐車はしないでください。
  特に冬場、凍結温度以下になる場合、ブレーキディスクローターとパッドが凍結破損することを防止するため、必ず乾かした状態で駐車してください。
  （本カーボンセラミック製ブレーキは、ローター及びパッド内部にその構造上、気泡空間があるため、水を含んだままにしておくと凍結固着が発生しやすいのでご注意ください。）

⚠ 警告

- 車両の下回りに衝撃が加わったときや、ブレーキディスクローターに割れや、欠けがある場合は、直ちにNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で必ず点検を受けてください。ブレーキディスクローターが破損し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ブレーキディスクローターにブレーキクリーナーやケミカル剤を使用しないでください。ブレーキディスクローターの耐久性低下につながる場合があります。
- 緊急避難路のような小石が敷き詰められている路面を走行したときは、ブレーキディスクローターに損傷が無いかNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。
- カーボンセラミック製のブレーキディスクローターは非常に硬度が高く、強い衝撃には注意が必要です。タイヤを取り外すときなどはブレーキディスクローターに干渉しないよう、注意して取り外してください。

■ブレーキパッド、ブレーキディスクローターの交換

- ブレーキパッドとブレーキディスクローターの交換は共に4輪セットの交換を推奨します。
  ただし、質量計測及び傷や割れの確認をGT-R認定T/Sが実施した結果、ブレーキディスクローターの再使用が可能と判断した場合に限り、ブレーキパッドのみの交換が可能です。

※ブレーキパッドのみの交換条件
- ・フロントブレーキパッド交換時：フロントブレーキパッドのみ交換可能
- ・リヤブレーキパッド交換時：フロントとリヤブレーキパッドを必ずセットで交換

- スポーツ走行をした後は、必ずNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場でスポーツ点検を受けてください。ブレーキパッドの摩耗やブレーキディスクローターの耐久性低下の他、ブレーキディスクローターの材質上、特殊な放射熱が発生し、ブレーキ周辺部品の破損につながるおそれがあります。

ブレーキパッド

●ブレーキ摩耗警告灯（P.3-23）が点灯したときは一般道走行状態（60km/h以下）で約60kmを継続可能な走行の目安とし、すみやかにNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検及び交換してください。継続可能な走行の目安はあくまでも目安であり、お客様のブレーキの使い方により変化します。
GT-R特別項目…P.1-2

ブレーキディスクローター

●以下の場合は直ちにブレーキディスクローター交換が必要な可能性があります。目視点検で異常が見受けられない場合でもすみやかにNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で必ず点検を受けてください。
- 制動力が極端に悪くなったとき
- ブレーキディスクローターに割れや欠けがあるとき
- タイヤ及びホイール周辺に衝撃を受けたとき
- ブレーキ周辺の部品が破損してブレーキディスクローターやブレーキキャリパーに接触した可能性があるとき
- ブレーキパッドの交換時期を無視してブレーキパッドの金属版がブレーキディスクローター表面に接触したとき
- タイヤ脱着作業中にホイールとブレーキディスクローターが干渉したとき

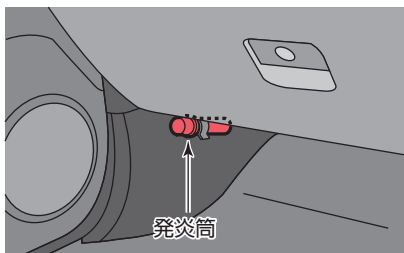
⚠ 警告

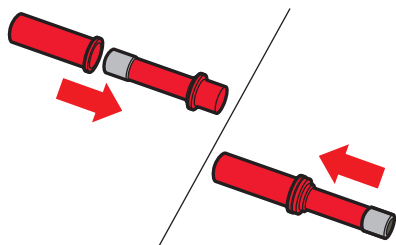
- NCCB（Nissan Carbon Ceramic Brake）のメンテナンスについてはブレーキならしの他、特殊なメンテナンス技術や専用機器での計測・調整が必要なため、必ずNHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場で行ってください。ブレーキ性能が発揮されないばかりか、ブレーキシステムが破損し、重大な事故につながるおそれがあります。
- NHPC（SpecV取扱店）又はNISSAN GT-R特約サービス工場でブレーキディスクローター交換が必要と判断された場合は、必ず交換してください。この車両のブレーキディスクローターは限界に達しても性能低下が現れにくいため、限界を超えて使用するとブレーキディスクローターが破損し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

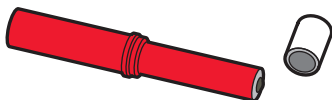
6 万一のとき

発炎筒の使いかた

故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

❶助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。

GCE0001

❷ケースから引き抜き、逆さまに差し込みます。

GCE0002

❸キャップを外し、すり薬で点火部をこすって点火します。

GCE0003

⚠ 警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

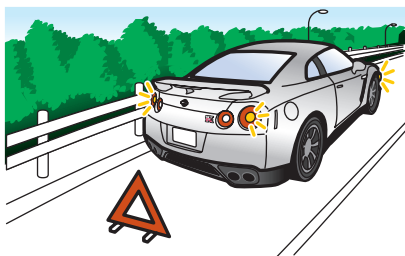
知識

- 点火後は約5分間燃え続けます。
  発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前にNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場でお買い求めください。

路上で故障したときは

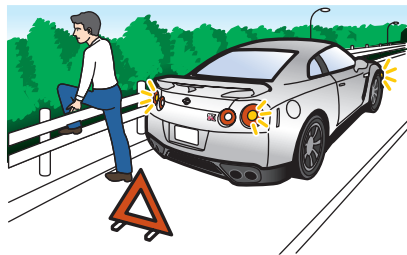
必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。
安全な場所に退避できないときは、発炎筒（P.6-2）で後続車に危険を知らせてください。

■路上で故障したとき

❶車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。
❷高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板又は停止表示灯を置きます。

GCE0004

知識

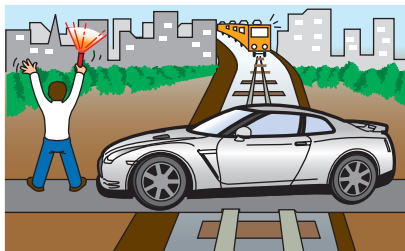
- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

❸全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。

GCE0005

❹安全を確保後、救援を頼みます。

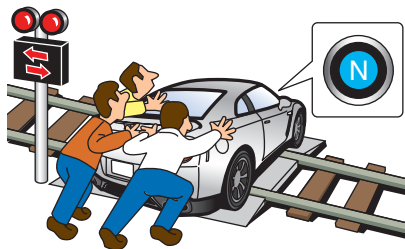
■踏み切りで出られないとき

❶ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。

❷発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。

GCE0007

■エンストしたとき

❶あわてずエンジンをかけ直してみます。

❷エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押してもらい、安全な場所に移動してください。このときシフトレバーをNにしてください。

GCE0006

❸安全な場所に移動後、救援を頼みます。

注意

- エンストしたときは、Pに戻してからエンジンをかけ直してください。Nでかけ直したときは、必ずPに一度入れてください。NからA↔M又はRの位置にしても走行できない場合があります。その場合、ポジションインジケーター（P.3-3）が点滅し、車両情報ディスプレイに操作表示（P.3-35）します。
- エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
- 従来のマニュアル車のように押しがけはできません。

けん引するときは

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場へご連絡ください。
けん引が必要なときは、できるだけ日産販売会社、又は専門業者に依頼してください。

JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

他車にけん引してもらうとき

⚠ 警告

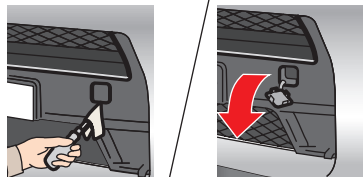
- 電源ポジションがLOCKでバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをAcc又はONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをLOCKにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

⚠ 注意

- エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- トレーラーラーに車載するか、4輪接地の状態でけん引してもらってください。2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。

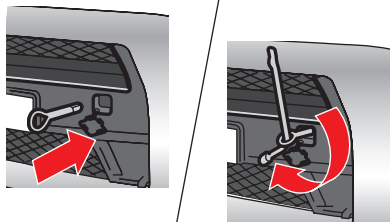
アドバイス

- けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスミッションが破損することがあります。できるだけレッカー車、又はトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

❶カバー下端にマイナスドライバーのような先の細いお手持ちの工具を差し込み、カバーを外します。

GCE0067

アドバイス

- 工具に布などをあてながら外してください。傷をつけるおそれがあります。

❷けん引フックをホイールナットレンチを用いて確実に取り付けます。
工具…P.6-21

GCE0068

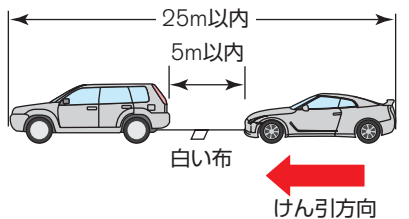
❸自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。

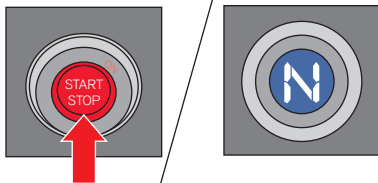
⚠ 注意

- 指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

アドバイス

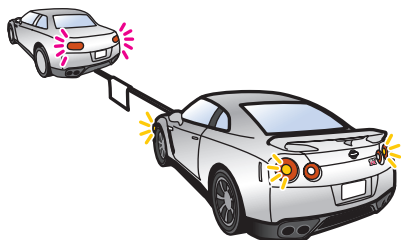
- ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

❹ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず付けます。

GCE0010

❺エンジンをかけられるときはエンジンをかけ、シフトレバーを**N**にします。

GCE0011

⚠ 注意

- エンジンをかけられないときは、電源ポジションをAcc又はONにしてください。

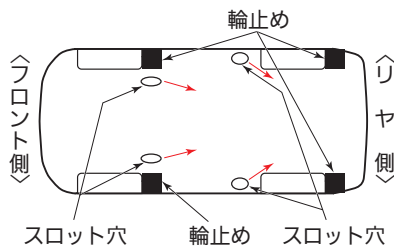
❻パーキングブレーキを解除します。
❼けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。

GCE0012

※使い終わったら、けん引フックを取り付けた逆の手順で取り外します。

後ろ側のフックについて

この車両は後ろ側のけん引フックがないため、他車をけん引することはできません。

アドバイス

- トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のスロット穴を使い固定してください。
- フロントタイヤ又はリヤタイヤの車両後方側に輪止めをし、イラストのように車両後方内側方向にワイヤーを引っ張って車両を固定してください。
  その他の方向に引っ張るとアンダーカバーなどを破損するおそれがあります。

GCE0065

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車とのじょうずなつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

オーバーヒートしたときは

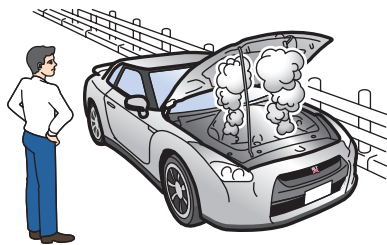
次のようなときは、オーバーヒートです。
- 水温計（P.3-4）の針がオーバーヒートの範囲を示したとき。
- エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

⚠ 警告

- エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンフードを開けるときは十分に注意してください。
  やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターキャップ（エンジン、加圧式ラジエーターリザーバータンクの両側共）を外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

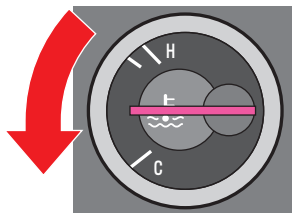
■処置のしかた

❶ただちに安全な場所に停車します。

❷エンジンをかけたままエンジンフードを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。

GCE0069

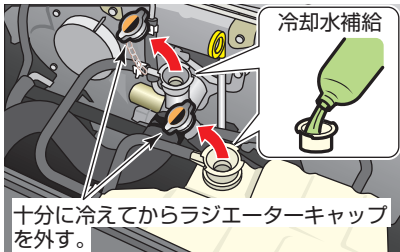
⚠ 警告

- 蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
  エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンフードを開けてください。

❸水温計の針が下がってきたら、エンジンを止めしばらく待ちます。
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。

GCE0014

⚠ 注意

- スポーツ走行後などで、エンジンを停止したあともエンジンルーム各部の冷却のため、約2分間冷却ファンが作動することがあります。
  冷却ファンに巻き込まれないように注意してください。

❹冷却水が不足しているときは、2つのラジエーターキャップ（エンジン側と加圧式ラジエーターリザーバータンク側）を外し、冷却水を補給してください。
・補給後は、しっかりキャップを閉めてください。

GSD0013

ラジエーター、加圧式ラジエーターリザーバータンク位置…P.7-9
サービスデータ（冷却水）…P.7-3

アドバイス

- この車両はエンジン側と加圧式ラジエーターリザーバータンク側にラジエーターキャップがあります。取り付け位置を間違えないでください。また、この車両指定以外のラジエーターキャップは使用しないでください。取り付け位置を間違えたり、指定以外のキャップを使用すると、冷却性能が下がりオーバーヒートの原因となります。
- 応急的に水だけを補給したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

❺走行中、再度水温計の針がオーバーヒートの範囲を示したときは、❶～❹の作業を繰り返し行ってください。
❻早めにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

加圧式ラジエーターリザーバータンク

- 冷却系統の内圧を通常の車両より高めに保ち、冷却性能を向上させるために採用しています。

目次
警告
走行する前に
走行するとき
室内装備の使いかた
車との上手なつきあいかた
万一のとき
サービスデータ
さくいん

バッテリーがあがったときは

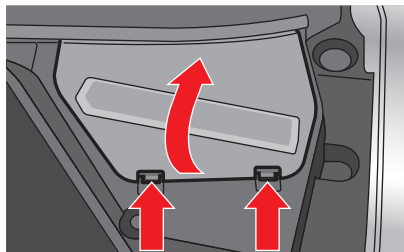
次のようなときは、バッテリーあがりです。

- スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからないとき。
- ライトがいつもより極端に暗いとき。
- ホーンの音が小さい。又は鳴らないとき。

■処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

❶電源ポジションをOFF又はLOCKにします。

❷バッテリーカバーのノブを押して外します。

GCE0015

❸ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

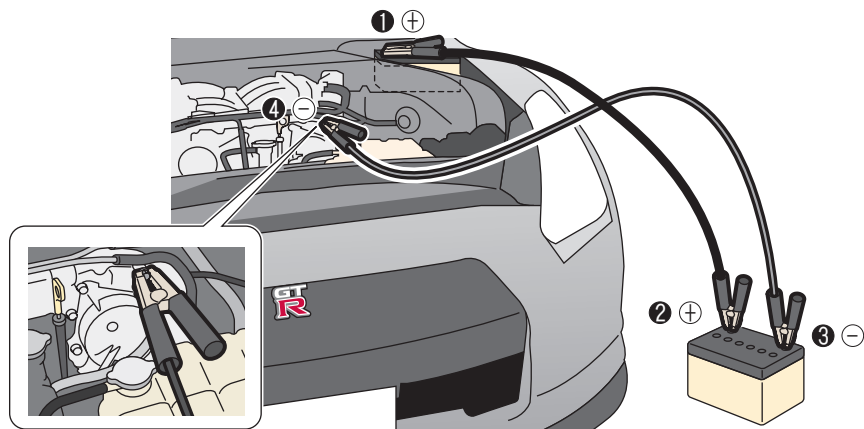
1本目

❶自車（あがった）バッテリーの⊕端子

❷救援車（正常な）バッテリーの⊕端子

2本目

❸救援車（正常な）バッテリーの⊖端子

❹自車のエンジン本体（バッテリーから離れたボルトなど）

GCE0016

⚠ 警告

- ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ずお守りください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
  - ・ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
  - ・ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

アドバイス

- ワニグチクリップが接続しにくい場合は、カウルトップカバーを外すと作業がしやすくなります。
  カウルトップカバーの外しかた…P7-10

❹救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。

❺自車のエンジンをかけます。

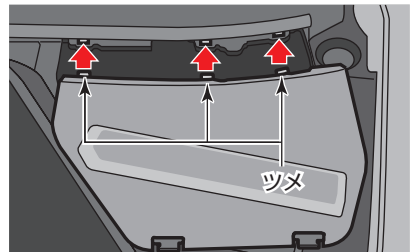
・エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。

・エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。

アドバイス

- エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。

❻ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

❼バッテリーカバーを取り付けます。

GCE0017

❽早めにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

⚠ 警告

- バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

アドバイス

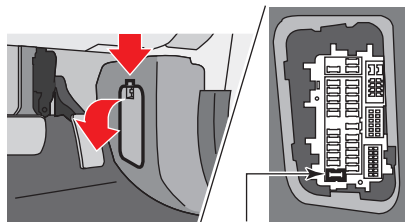
- 押しがけでの始動はできません。
- バッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
  バッテリーの交換やリセット作業は、日産販売会社でもご依頼いただけます。
- バッテリーがあがるとステアリングロックの解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。
- ドアの開閉に合わせて自動的に窓ガラスが下降、上昇する機構が付いています。そのためバッテリーがあがるとドアを閉めるときに車体と窓ガラスが干渉するおそれがあります。その場合には、ガラスを内側に倒すように力を加えながらゆっくりと閉め、車体とガラスが当たらないように注意してください。

ヒューズを点検・交換するときは

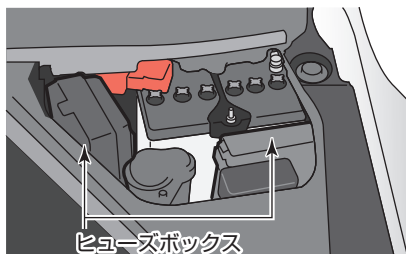
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。
故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

■ヒューズボックスの位置

ヒューズボックスは運転席足元とエンジンルームにあります。

運転席足元

GCE0018

エンジンルーム

バッテリーの前側と左側の2ヶ所にあります。

GCE0019

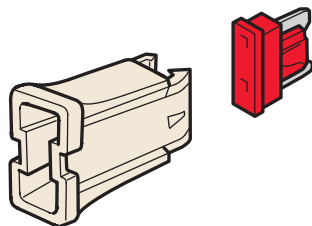
知識

- エンジンルーム内のヒューズボックスは、バッテリーカバーの下にあります。
  バッテリーカバーの外しかた…P.7-10
- バッテリー左側のヒューズボックス内のヒューズを交換したいときは、カウルトップカバーを外してください。
  カウルトップカバーの外しかた…P.7-10
- カウルトップカバーが外せない場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

■ヒューズの位置

- ヒューズボックスのふたに表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります。

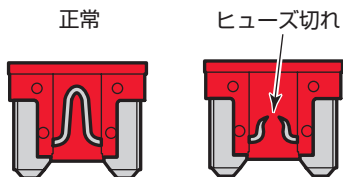
■ヒューズの交換のしかた

1. 電源ポジションをOFF又はLOCKにします。
2. ヒューズボックスを開けます。
3. ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。

GCE0020

アドバイス

- 下記のイラストのような部品が付いている場合は、その部品の中にもヒューズがあります。中のヒューズを点検・交換するときは、Ⓐを上下につまみながら矢印の方向に引き抜いてください。

GCE0079

❹ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。

GCE0021

⚠ 警告

- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

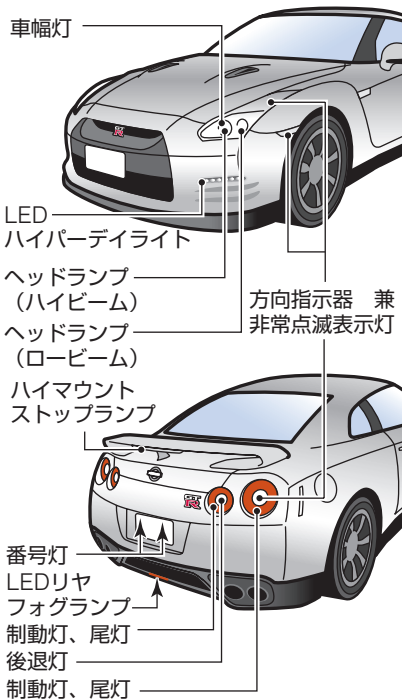
アドバイス

- 交換してもヒューズが切れるときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。
- ヒューズ抜きは、ヒューズに対して垂直に差し込み、引き抜いてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

電球（バルブ）を交換するときは

外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

- バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

■外装ランプの位置

- 以下の外装ランプが点灯しないときは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。
  - ・前照灯（ロービーム）
  - ・前照灯（ハイビーム）
  - ・方向指示器兼非常点滅表示灯（前面）
  - ・制動灯
  - ・尾灯
  - ・ハイマウントストップランプ
  - ・LEDハイパーデイライト
  - ・LEDリヤフォグランプ

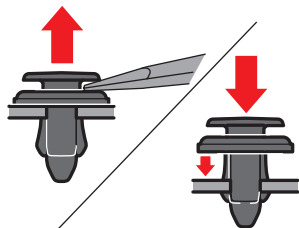
⚠ 警告

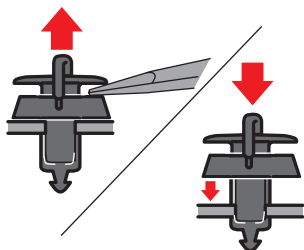
- キセノンヘッドランプ(ロービーム)は点灯時高電圧になります。感電防止のため、ランプの脱着、バルブの交換は絶対に行わないでください。

■クリップの脱着のしかた

バルブの交換作業をするときは、クリップを外し、内装などを脱着します。
以下の方法で、各クリップを脱着してください。

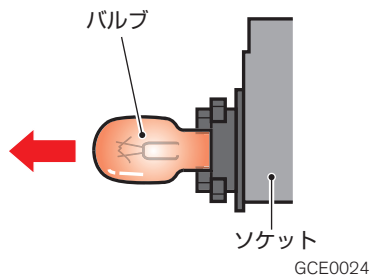
- 切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- 取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。

クリップA

GCE0023

クリップB

GCE0063

■バルブの外しかた

各バルブをソケットから外すときは、バルブを持ち、引き抜きます。

GCE0024

■バルブ交換のしかた

- 交換をする前にバッテリーの⊖端子を外してください。
- 指定された容量のバルブ（P.7-4）に交換してください。
- 交換したあとは、点灯することを確認してください。点灯しない場合は、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で点検を受けてください。

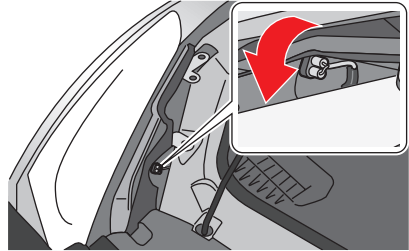
⚠ 注意

- バルブの交換は、バルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

アドバイス

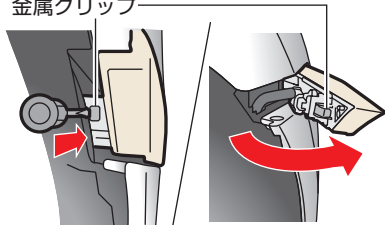
- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。

車幅灯（前面）

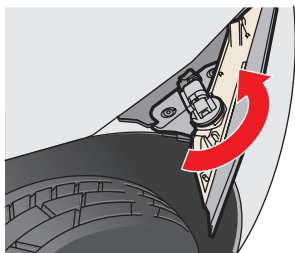
❶ソケットを反時計まわりに回して引き抜き、バルブを交換します。

GCE0025

❷取り外したときと逆の手順でソケットを取り付けます。

方向指示器兼非常点滅表示灯（側面）

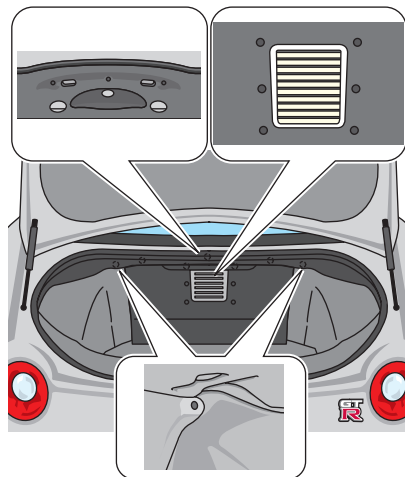
❶お手持ちの工具（マイナスドライバーなど）をレンズの車両後方から差し込んで金属のクリップを車両前方側に押し込みながら解除し、ランプを取り外します。

GCE0066

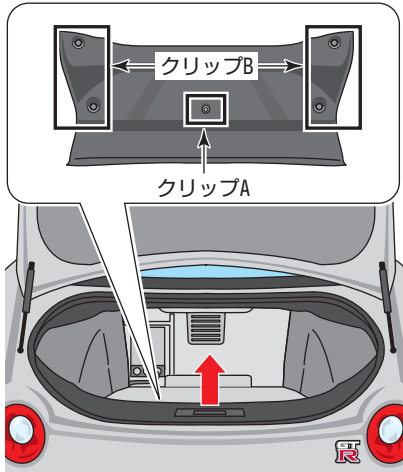
・レンズを無理やり引っ張って外さないでください。また、金属クリップを解除するときは、無理な力を入れて解除しないでください。金属クリップが変形し、保持力が低下してガタつき、ランプが外れやすくなるおそれがあります。

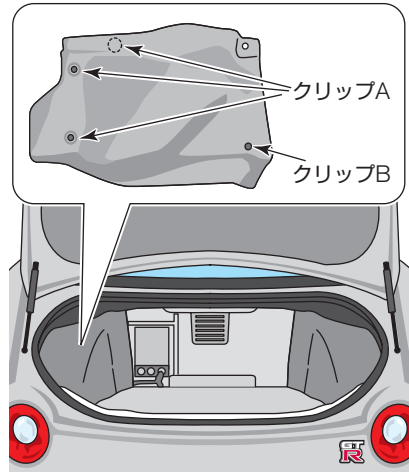
❷ソケットを反時計まわりに回してから引き抜き、バルブを交換します。

GCE0034

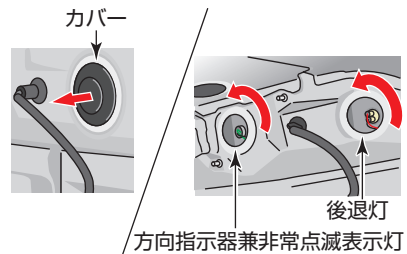
❸ソケットを取り付けてランプを車両前側から差し込み、押し込んで取り付けます。

後退灯、方向指示器兼非常点滅表示灯（後面）

❶トランク奥のトリムを外します。
・クリップAを外してからトリムを取り出します。

GCE0035

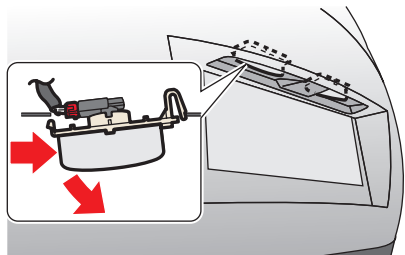
❷トランク後ろ側のカバーを外します。
・クリップA、Bを外してからカバーを上側に引き上げて外します。

GCE0037

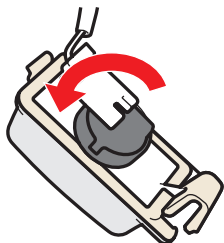
❸トランク横のトリム（交換したい側）を外します。
・クリップA、Bを外してからトランクトリムを取り出します。

GCE0081

❹カバーを外し、ソケットを反時計まわりに回して引き抜き、バルブを交換します。

GCE0040

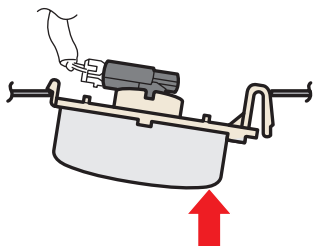
❺取り外したときと逆の手順で、カバー、トリムを取り付けます。

番号灯

❶番号灯のレンズを右側に押しながら下に引き抜きます。

GCE0041

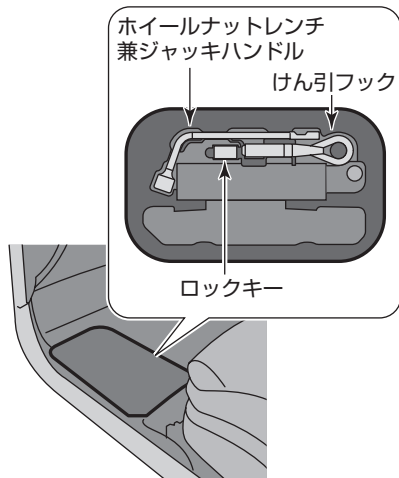
❷ソケットを反時計まわりに回してから引き抜き、バルブを交換します。

GCE0042

❸取り外したときと逆の手順でソケットを取り付けます。

❹レンズ左側を差し込んでから右側を下から押し込み、レンズを取り付けます。

GCE0043

工具・ジャッキ◎について

格納場所

工具、ホイールロックナットのロックキー★、ジャッキ◎は、助手席足元に格納されています。

GCE0044

⚠ 注意

- 工具、ジャッキ◎を使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

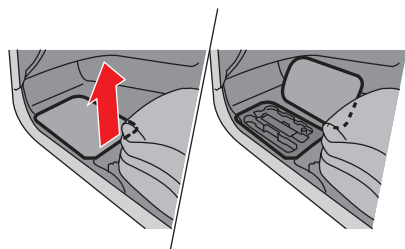
知識

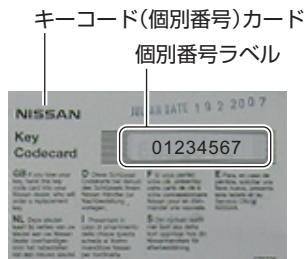
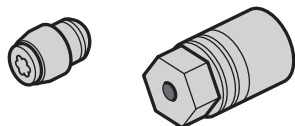
- ジャッキ◎とジャッキハンドルバー◎、専用ツールセット◎は、ディーラーオプション設定のため標準で搭載されていません。必要に応じて準備してください。
  ジャッキ、ジャッキハンドルバー、専用ツールセットのご購入については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
  また、ジャッキ、ジャッキハンドルバー、専用ツールセットは助手席足元に格納することができます。
- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類や発炎筒（P.6-2）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

取り出しかた

- 助手席足元のカーペットを取り外します。
- ストラップを持ちあげ、ボードを取り外します。

GCE0045

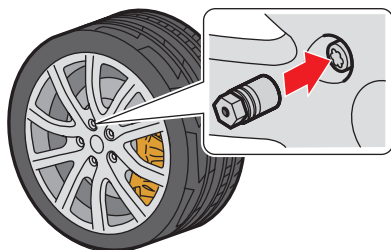
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

ホイールロックナット★

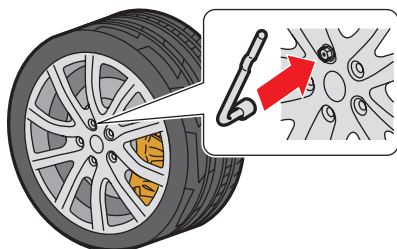
各4輪のロードホイールに特殊な形状のホイールロックナットを取り付けることで、通常の工具ではロードホイールが外せなくなり防盗性を高めます。
ロードホイールは脱着する場合は、専用のロックキーを使用して脱着します。

GCE0046

■ホイールロックナットの脱着のしかた

❶ロックキーを取り出します。

格納場所…P.6-21

❷ロックキーをホイールロックナットに取り付けます。

GCE0071

❸ホイールナットレンチを取り付けて回します。

GCE0072

タイヤの外しかた…P.6-26

アドバイス

- ホイールロックナットの脱着にインパクトレンチは絶対に使用しないでください。
- ホイールロックナットは通常のホイールナットと同じトルクで締め付けてください。

締め付けトルク…P.6-28

📖 知識

- ホイールロックナットには個別番号が設定されており、番号が異なるロックキーでは外すことができません。ロックキーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちにNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。
- 購入時にお受け取りになったキーコード（個別番号）カードは大切に保管してください。個別番号ラベルの番号をNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場に連絡するとロックキーを購入できます。
- NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で整備や修理を依頼する場合は、必ずロックキーをお車に搭載しておいてください。
  ロードホイールが脱着できず整備や修理ができなくなります。

ジャッキアップのしかた

ジャッキ◎とジャッキハンドルバー◎はディーラーオプション設定のため、標準で搭載されていません。
ジャッキアップする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。
ジャッキ、ジャッキハンドルバーのご購入については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

⚠ 警告

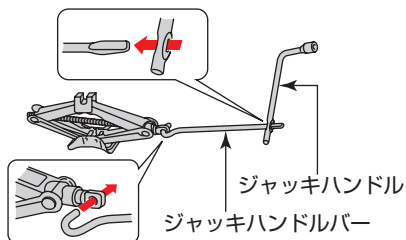
- この車両専用のジャッキ以外では絶対にジャッキアップしないでください。車両破損につながるおそれがあります。
- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。
  ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
  - ・ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使わないでください。
  - ・ジャッキはタイヤの脱着以外には使わないでください。
  - ・平坦で硬いところに駐車して作業してください。
  - ・使用前にパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにしてください。
  - ・輪止めなどで車を固定してください。
  - ・ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
  - ・人や荷物は必ず車から降ろしてください。

■ジャッキハンドルのセットのしかた

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。

格納場所…P.6-21

GCE0049

アドバイス

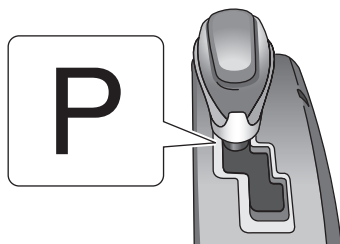
- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

■ジャッキアップのしかた

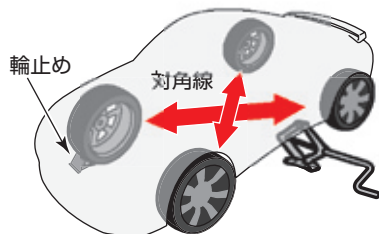
交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

⚠ 注意

- やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

❶パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにし、エンジンを止めます。

GSS0027

❷ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

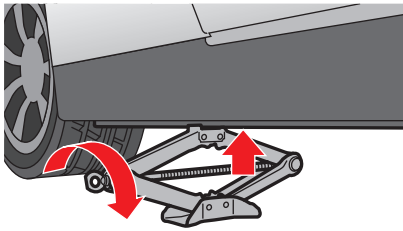
・輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。

GCE0050

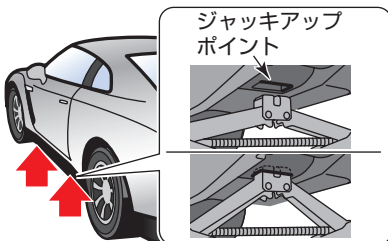
⚠ 注意

- やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

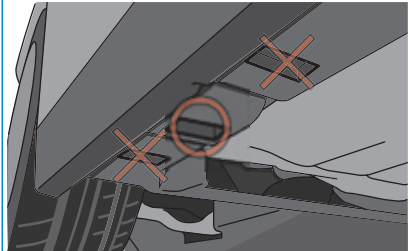
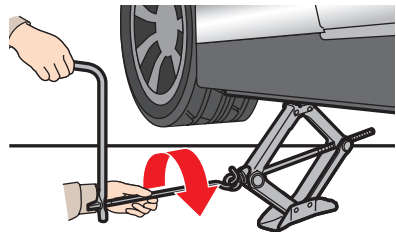
知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

❸ジャッキを手で回し、ジャッキの先端がジャッキアップポイントに入るまで上げます。

GCE0051

ジャッキアップポイント

GCE0052

アドバイス

- ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。

GCE0064

❹ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。

GCE0053

⚠ 注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

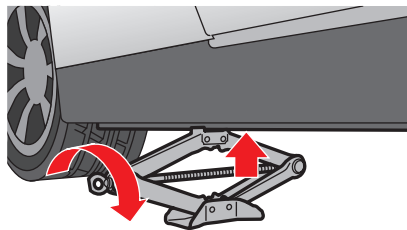
タイヤの外しかた

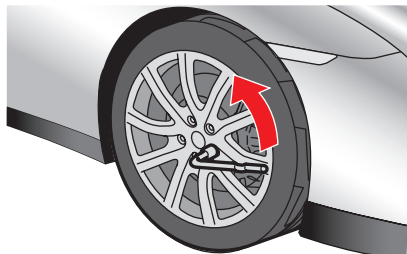
ジャッキ◎とジャッキハンドルバー◎は、ディーラーオプション設定のため標準で搭載されていません。必要に応じて準備してください。
ジャッキ、ジャッキハンドルバーのご購入については、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

注意

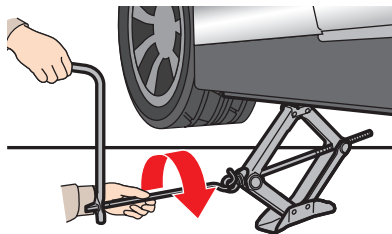
- タイヤを外すときは、軍手などを着用して作業してください。
  走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

❶交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車します。
・人や荷物を降ろします。
・必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（又は停止表示灯）を置きます。
・工具やジャッキ◎を取り出します。
ジャッキアップのしかた…P.6-23

❷ジャッキをセットします。
・ジャッキを手で回し、ジャッキの先端がジャッキアップポイント（P.6-25）に入るまで上げます。

GCE0051

❸ホイールナットレンチで、全てのナットを反時計まわりに約1回転ゆるめます。
ホイールロックナット付車は、ロックキーを使用してロックナットをゆるめます。
ホイールロックナット…P.6-22

GCE0073

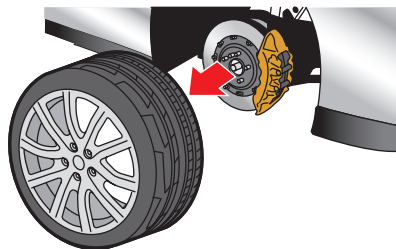
アドバイス

- タイヤを接地状態にして行います。

❹ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。

GCE0053

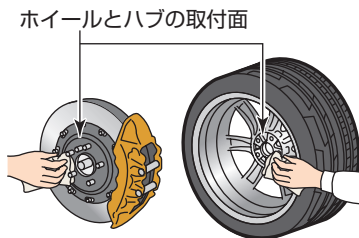
⚠ 注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

❺ナットを外し、タイヤを外して車体の下に置きます。

GCE0074

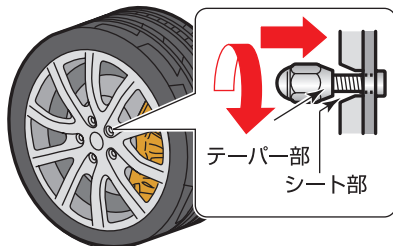
アドバイス

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。

❻ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、タイヤを取り付けます。

GCE0059

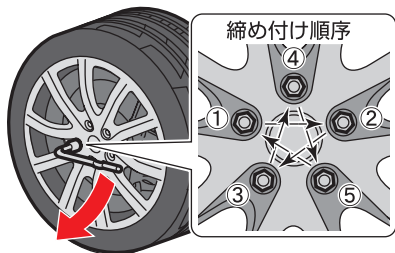
⚠ 注意

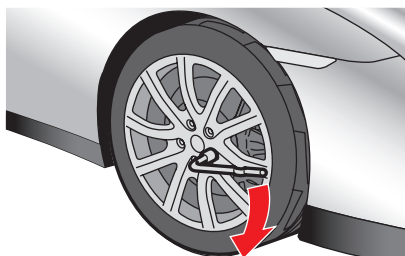
- 取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。

❼ナットのテーパー部が、ホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計まわりに回して締め付けます。

GCE0075

⚠ 警告

- ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリースなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。

❽ナットを、図の順序で2〜3回に分けて締め付けます。
ホイールロックナット付車は、ロックキーを使用してロックナットを締め付けます。
ホイールロックナット…P.6-22

GCE0076

❾ジャッキを下げます。
さらにナットを❽の締め付け順序で十分に締め付けます。
ホイールロックナット付車は、ロックキーを使用してロックナットを締め付けます。
ホイールロックナット…P.6-22
- ホイールナット締め付けトルク
  132N・m（13.5kg・m）

GCE0077

注意

- ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- スポーツ走行や長時間走行した後でロードホイールが熱い場合は、十分冷えてからホイールナットを締め付けてください。

アドバイス

- ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。ボルトが折れるおそれがあります。

❿使用した工具やジャッキなどを格納場所に格納します。

注意

- タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみや車体の振動などの異常がないか確認してください。

パンクしたときは

この車両は、パンクした場合でも一時的に走行できるランフラットタイヤが装着されています。

タイヤについて…P.5-20

- パンクしたときは、タイヤ空気圧警告灯（P.3-17）の点灯及び車両情報ディスプレイの警告表示（P.3-31）と合わせて警報が鳴ります。
- 次のことを守って走行し、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場でタイヤ交換を依頼してください。
  - ・急加速、急ハンドル、急ブレーキを避ける。
  - ・時速80km/h以下で走行する。
  - ・タイヤ交換まで80km以上走行しない。
  - ・段差などの乗り越えに注意する。

⚠ 注意

- パンクした状態での走行は一時的な応急用です。NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場で早急にタイヤを交換してください。
- 走行中に異常を感じる場合はトレーラーに車載してください。
- パンクした状態での走行可能距離は外気温や路面状況、その他の走行条件により変化します。

⚠ 注意

- 正常時に比べ、走行安定性が損われるため、規定の速度内においても急加速や急ブレーキ、急旋回は避けて注意して走行してください。
- パンク修理剤は使用しないでください。ホイール内の空気圧センサーが故障するおそれがあります。
- パンクした状態で、タイヤチェーンは使用しないでください。
- パンクした状態で、洗車機に入れないでください。車が洗車機と干渉し、損傷するおそれがあります。

知識

- マルチファンクションディスプレイで、4輪のタイヤ内圧を確認することができます。
  マルチファンクションディスプレイ…別冊

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。

※NHPCへの連絡先については、メンテナンスノート『サービス網について』をお読みください。

サービスデータ

■点検・整備について

メンテナンスノートに、点検・整備及び保証の内容について記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

また、この車両は従来の日産車とは異なり、特別指定部品や特別点検がありますので、GT-R特別項目（P.1-2）も合わせてお読みください。

- 点検・整備の実施、記録、保存は法律で義務づけられています。
- 点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。
  故障や車両火災につながるおそれがあります。

■点検値

項目		点検値
オルタネーター・エアコンコンプレッサー・パワーステアリングポンプベルト		調整不要
ブレーキペダル	遊び	3～11mm
	床板とのすき間 約490N（約50kg）で踏んだとき	109mm以上
パーキングブレーキ	引きしろ 約196N（約20kg）で引いたとき	5～6ノッチ

※ベルトオートテンショナー（自動張力調整機構）を採用しており、ベルト張力調整は不要です。詳しくは、NHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

■交換油脂類

油脂類の交換は、下記の指定油脂（規格品）を規定量で必ずご使用ください。
また、交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。
なお、詳しくはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

項　目	適　用	規定量（ℓ）※1		指定油脂
		オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換	
エンジンオイル	VR38	4.5	5.0	Mobil 1（API：SN、SAE：0W−40）※2

※1：規定量はドレーンプラグからオイルを抜いた場合の量で、エンジンの内部に残ったオイル量を差し引いた目安の量です。よって、レベルゲージにより確認を行ってください。規定量は、エンジンオイルレベルゲージのHレベルから約10mm分（約0.5ℓ）減らした量としています。
※2：必ず指定の油脂をご使用ください。指定以外の油脂を使用したことに起因する不具合については保証の対象になりません。

項　　目	規定量(ℓ)※1	指定油脂
トランスミッションオイル	9.4	ミッションオイルR35スペシャル※2
フロントデファレンシャルオイル	0.65	デファレンシャルオイルR35 COMPETITION type 2189E（API：GL-5、75W－140）※2
リヤデファレンシャルオイル	1.35	デファレンシャルオイルR35 COMPETITION type 2189E（API：GL-5、75W－140）※2
パワーステアリングフルード	1.1	日産純正パワーステアリングフルード
ブレーキフルード	－	ブレーキフルードR35スペシャルⅡ（DOT4）※2
冷却水	11.3 ※3	日産純正スーパーロングライフクーラント（エンジンクーラント）
ウオッシャー液	1.5	日産純正ウインドウオッシャー液 ● 外気温に応じて濃度を調節してください。

※1：規定量は目安ですので、レベルゲージにより確認を行ってください。
なおレベルゲージで確認できないものについては、NHPC又は日産販売会社へご相談ください。

※2：必ず指定の油脂をご使用ください。指定以外の油脂を使用したことに起因する不具合については保証の対象になりません。

※3：加圧式ラジエーターリザーバータンクを含みます。

■電球（バルブ）の容量

<table>
<tr><th colspan="2">電球（バルブ）</th><th>容量（V−W）</th><th>バルブタイプ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">前照灯（ヘッドランプ）</td><td>ロービーム</td><td>キセノンバルブ12−35</td><td>D2S</td></tr>
<tr><td>ハイビーム</td><td>12−65</td><td>H9</td></tr>
<tr><td colspan="2">車幅灯</td><td>12−5</td><td>W5W</td></tr>
<tr><td colspan="2">番号灯</td><td>12−5</td><td>W5W</td></tr>
<tr><td colspan="2">制動灯</td><td>LED</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">尾灯</td><td>LED</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハイマウントストップランプ</td><td>LED</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">後退灯</td><td>12−16</td><td>W16W</td></tr>
<tr><td rowspan="3">方向指示器 兼 非常点滅表示灯</td><td>前面</td><td>12−21（アンバー）</td><td>WY21W</td></tr>
<tr><td>側面</td><td>12−5（アンバー）</td><td>WY5W</td></tr>
<tr><td>後面</td><td>12−21（アンバー）</td><td>WY21W</td></tr>
<tr><td colspan="2">LEDハイパーデイライト</td><td>LED</td><td>−</td></tr>
<tr><td colspan="2">LEDリヤフォグランプ</td><td>LED</td><td>−</td></tr>
</table>

■タイヤサイズ

専用のタイヤを必ず使用してください。適応以外のタイヤを使用したことに起因する不具合は、保証の対象になりません。

<table>
<tr><th colspan="2">サイズ</th></tr>
<tr><td>前輪</td><td>255/40ZRF20</td></tr>
<tr><td>後輪</td><td>285/35ZRF20</td></tr>
</table>

■タイヤ設定一覧表

◎：標準装備（保証対象）
○：使用可能（保証対象）
×：保証対象外

タイヤ種類			車種			
			GT-R Pure edition	GT-R Black edition	GT-R Premium edition	GT-R EGOIST
タイヤ種類	本車両設定タイヤ	DUNLOP SP SPORT MAXX GT 600 DSST CTT	◎	◎	◎	◎
		GT-R専用スタッドレスタイヤ　※1（DUNLOP GRASPIC DSX）	○	○	○	○
	従来車両設定タイヤ	DUNLOP SP SPORT 600 DSST	×	×	×	×
		BRIDESTONE POTENZA RE070R（“R2”刻印無）	×	×	×	×
		BRIDESTONE POTENZA RE070R（“R2”刻印有）	×	×	×	×
		BRIDESTONE POTENZA（GT-R SpecV専用タイヤ“V1”刻印有）	×	×	×	×

標準装備及び使用可能なタイヤ以外を使用したことに起因する不具合については保証の対象になりません。
※1　GT-R専用に設定されているディーラー推奨タイヤです。

■タイヤ交換時の注意

本車両はDUNLOP SP SPORTS MAXX GT 600 DSST CTTを標準設定しています。

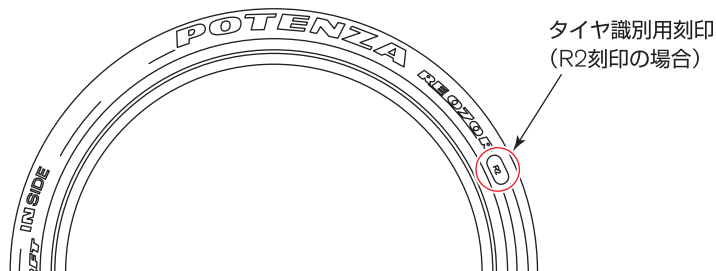
- 本車両では、“DUNLOP SP SPORT 600 DSST”、“BRIDESTONE POTENZA RE070R（刻印無）”、“BRIDESTONE POTENZA RE070R（“R2”刻印有）※1”は使用できませんのでご注意ください。

タイヤ設定一覧表（P.7-5）で組み合わせをご確認のうえ、ご使用ください。詳しくはNHPC又はNISSAN GT-R特約サービス工場にご相談ください。

知識

本車両以前に生産された車両（車体番号：R35-000001～、R35-020001～、OWNER'S MANUAL資料番号※2：R35-04以前）でもDUNLOP SP SPORT MAXX GT 600 DSST CTTを使用すると、タイヤ性能向上の効果があります。

※1：BRIDESTONE POTENZA RE070Rにはタイヤのサイドウォールにタイヤ識別用刻印があります。
※2：資料番号は裏表紙をご確認ください。

GTI0006

■ロードホイールサイズ

専用のロードホイールを必ず使用してください。適応以外のロードホイールを使用したことに起因する不具合は、保証の対象になりません。

サイズ		リムサイズ	P.C.D	インセット
前輪	20インチ	9.5J	114.3（5穴）	45
後輪	20インチ	10.5J	114.3（5穴）	25

■ロードホイール設定一覧表

◎：標準装備（保証対象）
○：使用可能（保証対象）
×：保証対象外

		車種			
		GT-R Pure edition	GT-R Black edition	GT-R Premium edition	GT-R EGOIST
ロードホイール種類	GT-R用（本車両用10本スポークホイール）※1	◎	◎	◎	○
	GT-R用（従来車両用）（従来車両用7本スポークホイール）※2	×（○※3）	×（○※3）	×（○※3）	×（○※3）
	オプション用（6本スポークホイール）	◎※4	◎※5	○	○
	GT-R EGOIST用（6本スポークホイール）	○	○	○	◎
	GT-Rディーラーオプション用（10本スポークホイール）	○	○	○	○

※1　車体番号：R35-030001～（OWNER'S MANUAL資料番号：R35-05以降）の車両に正規設定されているホイール
※2　車体番号：R35-000001～、R35-020001～（OWNER'S MANUAL資料番号：R35-04以前）の車両に正規設定されているホイール
※3　GT-R専用スタッドレスタイヤの使用に限る。
※4　TRACK PACKオプション装着車に設定されているホイール
※5　Black editionにオプション設定されているホイール

■タイヤ空気圧　kPa（kg/cm^2）

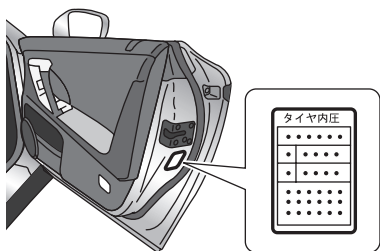
タイヤサイズ	内　圧	
	前輪	後輪
255/40ZRF20	200（2.0）	－
285/35ZRF20	－	200（2.0）

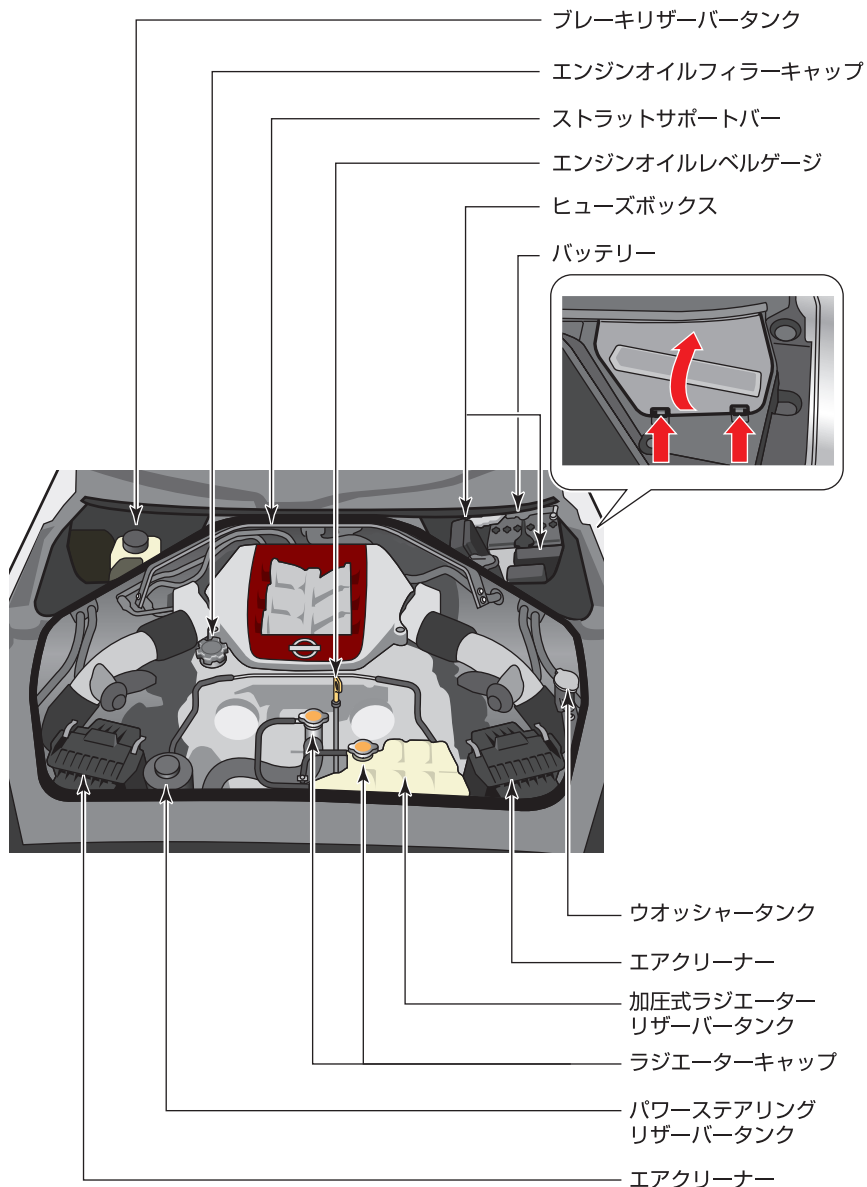
GSD0010

※タイヤの内圧は運転席ドアに貼り付けられているラベルを確認してください。
　また、この車両は窒素ガスが充填されています。窒素ガスの充填については、NHPC又は日産販売会社にご相談ください。

※高速走行やスポーツ走行時など、タイヤ温度が高くなったときに、前後のタイヤ剛性バランスをより均等にするために、タイヤ内圧を以下のように調整してください。

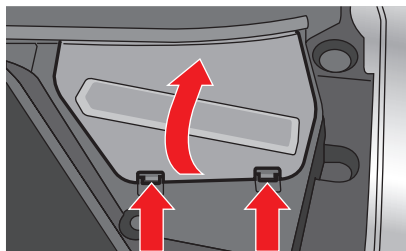
・走行スタート時（タイヤが冷えているとき）
　前輪　210～220kPa　後輪　200kPa

・タイヤ内圧上昇時（タイヤが温まっているとき）
　前輪　270kPa　後輪　260kPaを超えないように調整してください。

■エンジンルーム内配置図

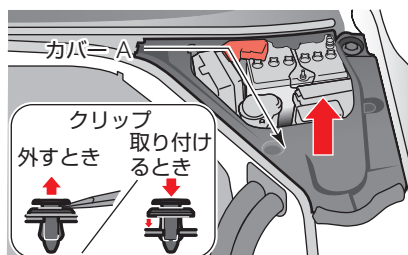
※バッテリー、ブレーキリザーバータンクは、カバーの下にあります。

※この車両はエンジン側と加圧式ラジエーターリザーバータンク側にラジエーターキャップがあります。取り付け位置を間違えないでください。また、この車両指定以外のラジエーターキャップは使用しないでください。取り付け位置を間違えたり、指定以外のキャップを使用すると、冷却性能が下がりオーバーヒートの原因となります。

■カウルトップカバーの外しかた

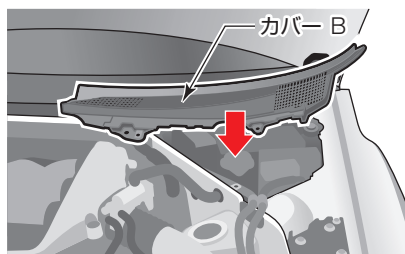
バッテリーやヒューズを交換するときに外します。

❶バッテリーカバーを外します。

GCE0015

❷カウルトップカバーAを外します。

・クリップを5個外し、上に引き上げて外します。

GTI0002

❸カウルトップカバーBを外します。

1）クリップを3個外し車両前方に引いて外します。

GTI0003

2）カバー裏側に固定されているウオッシャーホース2ヶ所を外します。

GTI0004

※元に戻すときは取り外したときと逆の手順で取り付けます。

さくいん

■五十音さくいん

＊赤色文字は、万一のときや困ったときについての項目です。

※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

オ

カ

キ

ク

※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

ケ

コ

サ

シ

ス

※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

ユ

ヨ

ラ

リ

ル

レ

ロ

ワ

※別冊：MULTI FUNCTION DISPLAY OWNER'S MANUALをお読みください。

■アルファベットさくいん

A

C

E

G

I

K

L

M

N

P

R

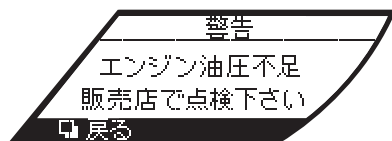
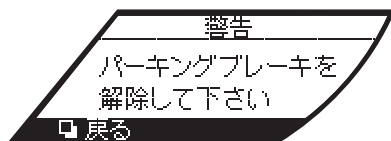
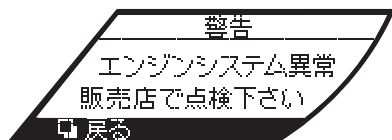
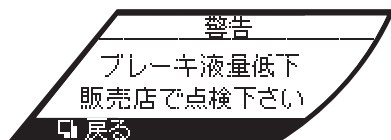
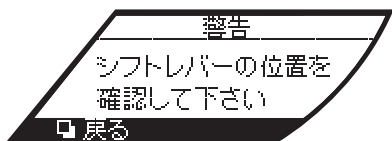
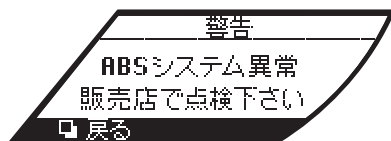
S

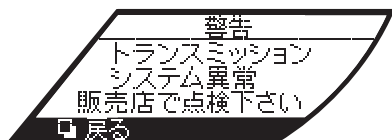
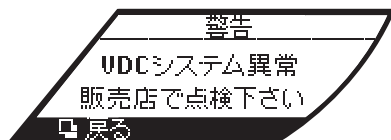
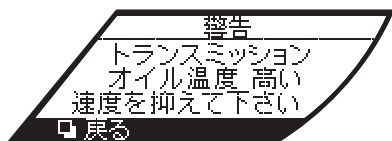
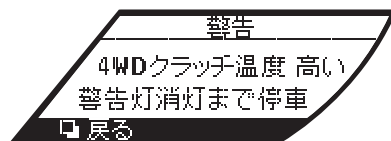
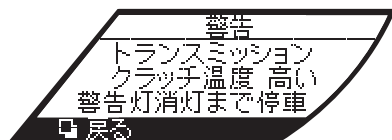
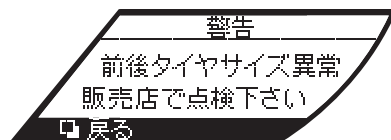
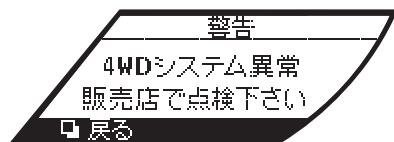
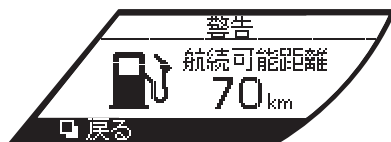
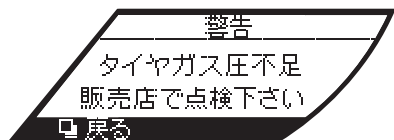
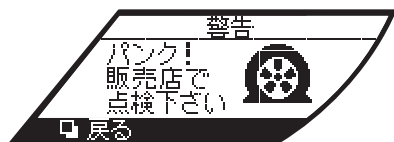
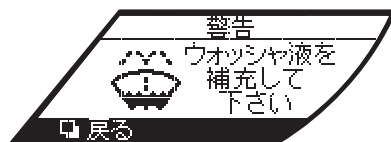
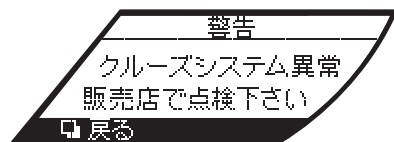
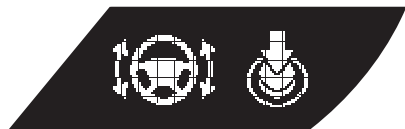
V

W

■警告灯・警告表示・操作表示さくいん

警告が点灯又は点滅したときや車両情報ディスプレイに警告表示、操作表示したときは、すみやかに適切な処置をしてください。
下記は警告灯及び警告表示、操作表示のみ記載しています。
その他の表示についてはメーター（P.3-2）、ドライブコンピューター（P.3-7）、表示灯（P.3-15）をお読みください。

警告灯	
充電警告灯 P.3-20	故障警告灯（MIL） P.3-25
シートベルト警告灯 P.3-20	トランスミッション警告灯 P.3-25、3-26
SRSエアバッグ警告灯 P.3-21	ブレーキ警告灯 P.3-27、3-28
ポップアップエンジンフード警告灯 P.3-21	ABS警告灯 P.3-28
KEY警告灯 P.3-22	VDC警告灯 P.3-28
ブレーキ摩耗警告灯 P.3-23	4WD警告灯 P.3-29、3-30
マスターウォーニング P.3-24～3-33	タイヤ空気圧警告灯 P.3-29、3-30
油圧警告灯 P.3-24	クルーズ警告灯 P.3-32

警告表示

警告表示

4WDシステム異常 P.3-30
警告
4WDシステム異常
販売店で点検下さい
戻る
燃料残量警告 P.3-32
警告
航続可能距離
70km
戻る
タイヤ内圧点検 P.3-30
警告
タイヤガス圧不足
販売店で点検下さい
戻る
ドア・トランク開き P.3-33
警告
ドアとトランク
が開いて
います
戻る
タイヤパンク P.3-31
警告
パンク！
販売店で
点検下さい
戻る
ウオッシャー液不足 P.3-33
警告
ウオッシャ液を
補充して
下さい
戻る
タイヤ空気圧警報システム異常 P.3-31
警告
タイヤ空気圧警報
システム異常
販売店で点検下さい
戻る
キー持ち出し P.3-34
警告
キーが見つかりません
戻る
クルーズシステム異常 P.3-32
警告
クルーズシステム異常
販売店で点検下さい
戻る

操作表示
エンジン始動操作 P.3-35
BRAKE
インテリジェントキー挿入 P.3-37
P戻し忘れ P.3-35
P
SHIFT
Pレンジに
して下さい
戻る
インテリジェントキー抜き取り P.3-37
電源ポジションOFF忘れ P.3-36
PUSH
インテリジェントキー電池切れ P.3-38
F
E
ステアリングロック未解除 P.3-36

日産車の環境保全への取組みを詳細に紹介した「車種別環境情報」をインターネットでご覧いただけます。

（http://www.nissan.co.jp/INFO/E_NOTE/）

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

お客さま相談室

0120-315-232

受付時間：**9:00〜17:00**

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上のために記録し活用させていただいております。
なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客さまにご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホームページ（http://www.nissan.co.jp）にて掲載しています。

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号